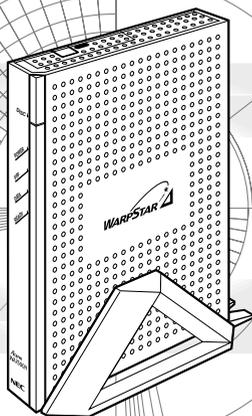


Aterm® WA7500H ワイヤレスLANセット **カードタイプ** PA-WA7500/ACC

取扱説明書



準備編	1	お使いになる前に
導入編	2	WARPSTARに接続しよう
	3	WARPSTARを設定する
応用編	4	アクセスマネージャでインターネットに接続する
	5	クイック設定Webを使った設定のしかた
	6	WARPSTARを活用しよう
ご参考	7	お困りのときには
	8	付録

「ソフトウェアのご使用条件」は、前文-3ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度はAterm WA7500HワイヤレスLANセット（カードタイプ）をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

WARPSTARベースAterm WA7500H（以下、親機と称します。）は、ワイヤレス通信の無線カードAterm WL54ACを装着することによってWARPSTARサテライトAterm WL54AC（以下、子機と称します。）とIEEE802.11aに準拠したワイヤレス通信を行うことができるワイヤレスブロードバンドルータです。

本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと大切に保管してください。

マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つなぎかたガイド(小冊子)

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



取扱説明書(本書)

本商品の基本機能についての説明書です。



機能詳細ガイド(CD-ROM:HTMLファイル)

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。



用語解説(CD-ROM:HTMLファイル)

本書で使われている用語や、本商品を活用するために知っておきたい用語の解説を五十音順で検索することができます。



お困りのときには(CD-ROM:HTMLファイル)

本商品の利用中にトラブルが起きたときの対処法について書かれています。

CD-ROMの操作方法について(●P前文-17「電子マニュアルの見かた」)



本書の見かた

必要に応じて、以下の順番でお読みください。また本書をご覧になる前に、別紙「つなぎかたガイド」をぜひご覧ください。

準備編 お使いになる前に

1章 お使いになる前に

本商品のできることや、ご使用になる前に知っておいてほしいことを記載しています。最初に必ずお読みください。

導入編 インターネットに接続しよう

2章 WARPSTARに接続しよう

↓ 本商品を設置して、回線に接続します。

3章 WARPSTARを設定する

↓ パソコンを接続し、らくらくアシスタントで必要な設定を行います。

4章 アクセスマネージャでインターネットに接続する

アクセスマネージャでインターネットに接続します。

本商品に接続したパソコンからインターネットに接続するまでの説明を記載しています。

応用編 本商品をさらに使いこなそう

5章 クイック設定 Web を使った設定のしかた

Web 設定 (クイック設定 Web) を使った設定のしかたを記載しています。

6章 WARPSTAR を活用しよう

セキュリティ設定の説明など本商品でご利用いただけるルータ機能について説明しています。

本商品をさらに使いこなすための説明を記載しています。

ご参考

7章 お困りのときには

8章 付録

困ったときのトラブルシューティングやお問い合わせ先などを記載しています。



お知らせ

本書に書かれていないデータ通信機能の詳細や、「用語解説」「お困りのときには」は添付 CD-ROM をご覧ください。

本文中では、Aterm WA7500H (WARPSTAR ベース) を「親機」、Aterm WL54AC (WARPSTAR サテライト) を「子機」と呼びます。

ワイヤレス機器の使用上の注意

本商品をご使用の際は、下記の点に注意してください。

本商品は 5.2GHz 帯域の電波を使用しています。屋外での使用は電波法により禁じられています。

2.4GHz 帯使用の IEEE802.11b/Bluetooth 機器との通信はできません。

本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変える、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

電波干渉の事例によりお困りの場合は、NEC Aterm（エーターム）インフォメーションセンタまたは NEC 保守サービス拠点までお問い合わせください。

Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Mac ロゴ、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
iMac、Power Macintosh G3 は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
Netscape Communicator は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
“Play Station®” は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2002、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2002

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求め頂きありがとうございます。
本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客さまによるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意を頂けない場合は添付の CD-ROM を開封せずに、お求めになった取扱店に CD-ROM を含めた本製品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本製品の代金をお返します。添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1 ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的のみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

- (2) お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
 - (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。
4. 許諾プログラムの移転等
- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
 - (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。
5. 逆コンパイル等
- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。
6. 保証の制限
- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行ないません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
 - (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限り、お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
 - (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限り、）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。
7. 責任の制限
- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。
8. その他
- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
 - (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **危険** : 人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

設置場所

風呂、シャワー室への設置禁止
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



水のかかる場所への設置禁止
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



電源

商用電源以外の使用禁止
AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



電源コードの取り扱い注意
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。



ぬれた手での操作禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



たこ足配線の禁止
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



警告

こんなときは

発煙した場合

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



水が装置内部に入った場合

万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。



破損した場合

万一、落としたり破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



警告

禁止事項

本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。



分解・改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ぬらすことの禁止

本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。



ぬれた手でのご操作禁止

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他のご注意

使用禁止区域での注意* 1

航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。



ペースメーカーを装着されている方の注意* 1

植込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本商品をペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。



異物を入れないための注意

本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



* 1 : 拡張カードスロットにWL54AC/WL11CAを挿入して、ワイヤレスLAN対応に拡張した場合。

⚠ 注意

設置場所

火気のそばへの設置禁止

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。



- ・横向きに寝かせる
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きでご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。



温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



風通しの悪い場所への設置禁止

本商品を風通しの悪い場所に置かないでください。風通しの悪い場所に設置すると本商品内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。



注意

電源

プラグの取扱注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



移動させるときの注意

移動させる場合は、本体の電源スイッチを切ったあと、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



アース線の取付

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。



長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



禁止事項

乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



その他のご注意

雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



取扱説明書に従って接続してください。

間違えると接続機器が故障することがあります。



STOP お願い

設置場所

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
- ・高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所

本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しでWL54ACを装着した場合は12m～90m程度、WL11CAを装着した場合は50m～100m程度です。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。*1

本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。*1

*1：拡張カードスロットにWL54AC/WL11CAを挿入して、ワイヤレスLAN対応に拡張した場合。

禁止事項

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

日ごろのお手入れ

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

無線LAN/USB-LANに関する注意

無線LANやUSB-LAN接続では、通信速度がETHERNETポートに接続した場合と比べ遅くなる場合があります。

目次

本書の見かた	前文-1
ソフトウェアのご使用条件	前文-3
安全に正しくお使いいただくために	前文-5
目次	前文-12
「機能詳細ガイド」目次	前文-15
電子マニュアルの見かた	前文-17

準備編

お使いになる前に

1 章 お使いになる前に	1-1
1-1 本商品でできること	1-1
1-2 箱の中身を確認しよう	1-7
1-3 各部の名前とはたらき	1-8
WA7500H (親機)	1-8
WL54AC (親機装着用、子機用)	1-10
1-4 あらかじめ確認してください	1-11
回線契約とプロバイダの加入について	1-11
パソコンの準備	1-12
1-5 設定方法を選ぶ	1-18

導入編

インターネットに接続しよう

2 章 WARPSTAR に接続しよう	2-1
2-1 セットアップの流れ	2-1
2-2 親機を設置する	2-2
親機の置き場所を決めよう	2-2
縦置きスタンドを取り付ける	2-2
2-3 親機に無線カード (WL54AC) を取り付ける	2-3
2-4 電源を接続する	2-4
2-5 FTTH 回線終端装置またはブロードバンド (ADSL/CATV) モデムと接続する	2-5
3 章 WARPSTAR を設定する	3-1
3-1 らくらくアシスタントをインストールする	3-1
3-2 Step1 PC と WARPSTAR ベース (親機) 間の通信を確立する	3-6
親機の ETHERNET ポートにパソコンを接続する場合	3-6
親機の USB ポートにパソコンを接続する場合	3-9
子機で無線 LAN 接続する場合	3-12

3-3	Step2 接続回線とWARPSTARベース(親機)の動作モードを設定する	3-28
	外付けADSLモデム(PPPoE利用ブリッジタイプ)接続を設定する	3-29
	外付けADSLモデム(ルータタイプ)接続を設定する	3-32
	CATVケーブルモデム接続を設定する	3-35
	FTTH・光ファイバ接続を設定する	3-37
	既存のネットワークに本商品を追加するための設定をする	3-39
3-4	Step3 インターネット接続先の登録	3-42
4章	アクセスマネージャでインターネットに接続する	4-1
4-1	インターネットに接続する	4-1
4-2	インターネットを切断する	4-6
応用編 本商品をさらに使いこなそう		
5章	クイック設定Webを使った設定のしかた	5-1
5-1	クイック設定Webセットアップの流れ	5-1
5-2	本商品の設定をする	5-2
5-3	インターネットの接続設定をする	5-4
5-4	インターネットに接続する	5-7
6章	WARPSTARを活用しよう	6-1
6-1	セキュリティ対策をする	6-1
	セキュリティ機能について	6-1
	ワイヤレスLANネットワーク内のセキュリティ機能	6-2
6-2	子機の通信の設定をする(サテライトマネージャの使い方)	6-11
	サテライトマネージャで設定する	6-11
6-3	ネットワーク対応アプリケーション(ネットワークゲームなど)を利用する	6-15
	アプリケーションプロファイリング	6-15
	PPPoEブリッジ機能	6-19
6-4	HUBとして使う	6-21
6-5	ダイヤルアップ接続・マルチライン接続を利用する	6-25
	TA/アナログモデムを接続する	6-26
	らくらくアシスタントをインストールする	6-27
	らくらくアシスタントで設定する	6-27
	インターネットに接続する	6-31

	ブロードバンド接続とダイヤルアップ接続を切り替えて インターネットする (マルチライン).....	6-31
6-6	TV電話をする (Windows Messenger を利用する).....	6-35
6-7	親機をバージョンアップする.....	6-36
6-8	子機を増設する.....	6-42

ご参考

7 章	お困りのときには.....	7-1
7-1	トラブルシューティング.....	7-1
	設置に関するトラブル.....	7-1
	ユーティリティに関するトラブル.....	7-15
	ダイヤルアップ接続に関するトラブル.....	7-19
	ご利用開始後のトラブル.....	7-20
	添付の CD-ROM に関するトラブル.....	7-23
7-2	親機を初期化する.....	7-24
	らくらくアシスタントで初期化する.....	7-24
	クイック設定 Web で初期化する.....	7-25
	ディップスイッチで初期化する.....	7-26
7-3	自己診断.....	7-27
	自己診断を行う.....	7-27
8 章	付録.....	8-1
8-1	製品仕様.....	8-1
	WA7500H (親機) ハードウェア仕様.....	8-1
	WA7500H (親機) ソフトウェア仕様.....	8-2
	WA7500H のディップスイッチ.....	8-3
	WA7500H の USB ポートインタフェース.....	8-4
	WA7500H の ETHERNET ポートインタフェース.....	8-4
	WL54AC (子機) 仕様.....	8-5
8-2	別売りオプション.....	8-6
8-3	お問い合わせ・アフターサービス.....	8-7
	ホームページ「Aterm Station」.....	8-7
	インフォメーションサービス.....	8-7
	PC クリーンスポットの訪問サポート.....	8-8
	修理について.....	8-9
	持ち込み修理先一覧.....	8-10
8-4	用語解説.....	8-15
8-5	索引.....	8-17

「機能詳細ガイド」目次

添付 CD-ROM「ユーティリティ集」には本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、前文-17 ページを参照してください。

電子マニュアルの見方

安全に正しくお使いいただくために

LAN 機能

機能一覧

- ルータ機能
 - ブロードバンドルータ機能
 - マルチライン機能
 - アドバンスド NAT (IP マスカレード)
 - アドバンスド NAT オプション (ポートマッピング)
 - IP パケットフィルタリング
 - ダイナミックポートコントロール機能
 - DHCP サーバ機能
 - DHCP クライアント機能
 - DNS フォワーディング
 - 不正アクセス検出機能
 - アクセスログ機能
 - アプリケーションプロファイル
 - HUB モード
 - UPnP 機能 (Windows Messenger や MSN Messenger を使う)
 - DMZ ホスティング機能
 - WAN 側機能
 - PPPoE ブリッジ
 - 複数固定 IP サービス対応
 - 無通信監視タイマ
 - シングルユーザアクセスモード
 - VPN (PPTP) パススルー機能
 - パソコンインターフェース
 - 100BASE-TX 対応スイッチング HUB (4 ポート)
 - USB-LAN
 - 無線 LAN 機能
 - IEEE 802.11a 無線 LAN
 - WEP と 128bitWEP/152bitWEP
 - MAC アドレスセキュリティ機能
 - WAP 機能 (無線 HUB モード)

その他の機能
管理者パスワードの変更
日時の設定
通信確認（疎通確認）テスト
情報表示（装置情報、状態表示）
ファームウェアの更新
ファイルとプリンタの共有（Windows®）
外部にサーバを公開する
複数台の親機によるネットワーク拡張
パソコン間通信（アドホックモード）

ユーティリティの使いかた

らくらくアシスタントで設定する
アクセスマネージャの使いかた
サテライトマネージャの使いかた
設定内容の確認と保存
バージョンアップ

クイック設定 Web の使いかた

ドライバの手動インストール（Windows®）

親機の USB-LAN ドライバをインストールする
子機（WL54AC）のドライバをインストールする

電子マニュアルの見かた

「機能詳細ガイド」や、「用語解説」、「お困りのときには」は、添付 CD-ROM（ユーティリティ集）の電子マニュアルをご覧ください。

1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM（ユーティリティ集）を CD-ROM ドライブにセットする

Windows® の場合は、自動的にメニュー画面が表示されます。

Macintosh の場合は、[MENU] アイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が表示されます。

ユーティリティや電子マニュアルのメニューが表示されます。

2 読みたいファイルのボタンをクリックする

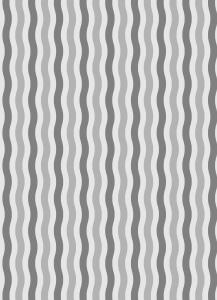


画面は Windows® の例です。



お知らせ

「用語解説」または「機能詳細ガイド」、「お困りのときには」をご覧になるには、WWW ブラウザがインストールされている必要があります。



準備編

お使いになる前に

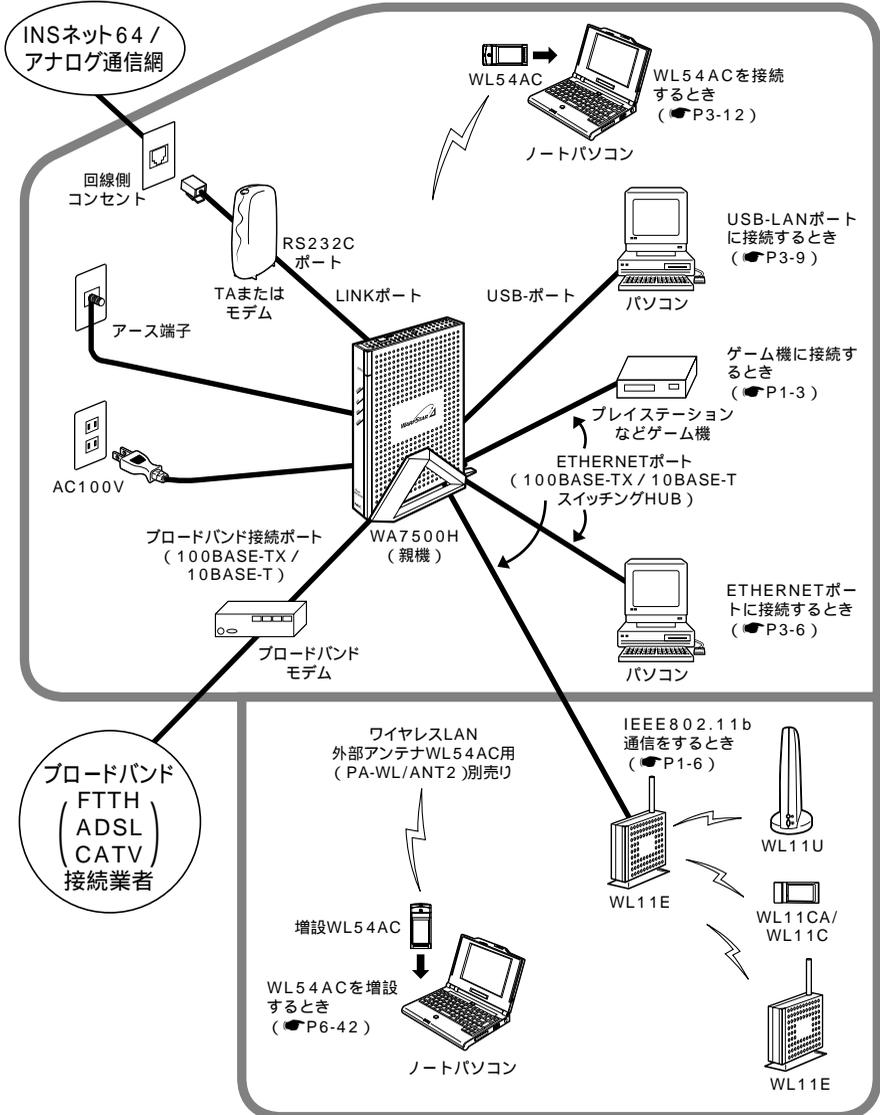
1

1 章	お使いになる前に	1-1
1-1	本商品でできること	1-1
1-2	箱の中身を確認しよう	1-7
1-3	各部の名前とはたらき	1-8
1-4	あらかじめ確認してください	1-11
1-5	設定方法を選ぶ	1-18

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

1-1 本商品でできること

本商品は、FTTH 回線終端装置 / 外付け ADSL モデム / CATV ケーブルモデムを接続してブロードバンド (FTTH/ADSL/CATV 網) インターネットを利用できるブロードバンドルータです。



本商品は次のような機能をご利用になれます。設定についてはそれぞれの参照先をご覧ください。

セキュリティ対策をしたい		参照ページ
親機と子機間の無線通信のセキュリティ対策	ネットワーク名 ネットワーク名 (ESSID) が一致した装置のみの無線通信を行います。	「6-1 セキュリティ対策をする」ワイヤレス LAN ネットワーク内のセキュリティ機能 ● P6-2
	暗号化 (WEP) 暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになります。	「6-1 セキュリティ対策をする」ワイヤレス LAN ネットワーク内のセキュリティ機能 ● P6-2
	MAC アドレスセキュリティ機能 親機に MAC アドレスが登録された子機のみ無線通信ができるようになります。	「6-1 セキュリティ対策をする」ワイヤレス LAN ネットワーク内のセキュリティ機能 ● P6-2
ブロードバンド回線側へのセキュリティ対策	IP パケットフィルタリング ブロードバンド回線側からの IP パケットのアクセスを制限します。	● 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」
	IP マスカレード機能 (アドバンスド NAT) ブロードバンド回線側から本商品に接続したパソコンのプライベート IP アドレスが見えないよう 1 つのグローバル IP アドレスを複数のプライベートアドレスに変換します。	● 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」
	不正アクセス検出 外部からの不正なアクセスを監視して、アクセスログに残します。アクセスログを見ることができます。	● 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」
	ダイナミックポートコントロール機能 ローカルネットワーク上のパソコンからのリクエストパケットに応じて、通信開始時に WAN 側ポートを開き、セッション終了時または内部タイマが満了すると自動的に WAN 側ポートを閉じる機能です。	● 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」
本商品を HUB として使う (ルータに接続する場合など)		参照ページ
HUB モード	ルータタイプのブロードバンドモデム (ADSL モデム / CATV モデム) やルータと接続するときに使用します。親機のディップスイッチを HUB モードに切り替えることにより、内部のルータ機能を OFF にしてスイッチング HUB として使用します。また、無線部分も HUB として動作します。	「6-4 HUB として使う」 ● P6-21

ブロードバンド接続 (ADSL / CATV) とダイヤルアップ接続 (ISDN / アナログ回線) を同時に使用したい。		参照ページ
マルチライン	アクセスマネージャで、ブロードバンド接続 (ADSL / CATV) とダイヤルアップ接続 (ISDN / アナログ回線) を同時に使用したり、切り替えて使用することができます。	「6-5 ダイヤルアップ接続・マルチライン接続を利用する」●P6-25

ゲーム機と接続したい	参照ページ
インターネット接続ができる状態で、親機とゲーム機を ETHERNET 接続します。 使用するゲーム機やゲームが PPPoE での通信を前提としている場合は PPPoE ブリッジ機能で接続できます。ポートマッピングの設定が必要な場合があります。	「6-3 ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど) を利用する」 PPPoE ブリッジ機能 ●P6-19、ポートマッピング ●P6-18

パソコンのネットワークゲームや、TV電話を利用したい		参照ページ
アプリケーションプロファイリング	ネットワークゲームなどのアプリケーションの TCP/UDP ポートなどの複雑な設定を接続先にあわせて登録し、アクセスマネージャで切り替えて使用できます。	「6-3 ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど) を利用する」アプリケーションプロファイリング ●P6-15
PPPoE ブリッジ	PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルを搭載しているパソコンを接続することができます。親機が PPPoE モードのときに使用することができます。	「6-3 ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど) を利用する」 「PPPoE ブリッジ機能」 ●P6-19
TV電話を利用する (Windows Messenger)	Windows® XP の "Windows Messenger" サービスなど、UPnP 機能対応アプリケーションを使用して TV 電話などの機能をご利用いただくことができます。	「6-6 TV 電話をする」 ●P6-35

ファイルやプリンタを他のパソコンと共有したい	参照ページ
本商品に接続したパソコン同士でファイルやプリンタを共有できます。	●機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「ファイルとプリンタの共有」

ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開したい		参照ページ
アドバンスドNATオプション（ポートマッピング）	IP アドレスのみをあらかじめ登録した設定テーブルに従って固定的に変換することにより、サーバとして公開するパソコンのプライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスをつなぎます。	☛ 機能詳細ガイド（HTMLファイル） 「機能一覧」
IP パケットフィルタリング	セキュリティ対策などでIP パケットフィルタリングの設定を行っている場合は、サーバとして公開するパソコンへ外部からのアクセスを許可する設定を行います。	☛ 機能詳細ガイド（HTMLファイル） 「機能一覧」
DMZ ホスティング機能	DMZ（Demilitarized Zone）とは、ファイアウォールによって外部（インターネット）からも内部（ローカルネットワーク）からも隔離された領域のことです。DMZ 機能を使用することにより、外部にサーバ公開するときに既存のローカルネットワークに対して高度なセキュリティを確保することが可能です。	☛ 機能詳細ガイド（HTMLファイル） 「機能一覧」

複数のグローバル固定 IP アドレスを付与するサービスを利用したい		参照ページ
複数固定 IP サービス対応	プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定 IP アドレスを、本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバル IP アドレスによるサブネットワークを構築できます。	☛ 機能詳細ガイド（HTMLファイル） 「機能一覧」

複数のアクセス先を設定したい		参照ページ
アクセスマネージャ、クイック設定 Web	複数のプロバイダの利用を切り替えて使用したり、ブロードバンドとダイヤルアップを切り替えて使用するマルチライン機能や、利用するアプリケーションごとにポートを指定するアプリケーションプロファイリングなどの機能を利用できます。アクセスマネージャ、クイック設定 Web で接続先の設定が必要です。	アクセスマネージャ 「3-4 Step3 インターネット接続先の登録」☛P3-42 クイック設定 Web 「5-3 インターネットの接続設定をする」 ☛P5-4

インターネットの通信を切断する		参照ページ
アクセスマネージャ	アクセスマネージャを使って手動で切断することができます。アクセスマネージャアイコンを右クリックして (Macintosh の場合は、ファイルの中のメニューバーから) [切断] を選択します。	「4-2 インターネットを切断する」アクセスマネージャ ☞P4-6
クイック設定 Web	クイック設定 Web を使って手動ですべて切断することができます。[情報] - [現在の状態] で [全切断 接続拒否] をクリックします。	☞機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「クイック設定 Web の使いかた」
無通信監視タイム	インターネットへのアクセスが一定時間ないときに、通信を切断し、セキュリティを守ります。うっかりした切断忘れを防止できます。	☞機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」
DISC スイッチ	親機の前面にある DISC スイッチを 5 秒以上押し続けると、親機に接続しているすべてのポートを切断します。	「4-2 インターネットを切断する」DISC スイッチ ☞P4-7

インターネット接続を占有したい		参照ページ
シングルユーザアクセスモード	ゲームなどのアプリケーションを利用する場合に設定する TCP / UDP ポートが不明な時や他の人からの相乗りを禁止したい時などに、一時的に全ポートを独占利用できます。	☞機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」

会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続したい		参照ページ
VPN (PPTP) パススルー機能	VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) に PPTP で接続できます。	☞機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」

親機をバージョンアップしたい		参照ページ
各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、親機に新しい機能を追加したり、場合によっては親機の動作を改善します。		「6-7 親機をバージョンアップする」☞P6-36

親機の設定を保存したい		参照ページ
らくらくアシスタント、クイック設定 Web で、現在の親機の設定内容を保存できます。親機を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから親機に設定内容を復元することができます。		☞機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「らくらくアシスタントの使いかた」 「クイック設定 Web の使いかた」

親機を初期化する		参照ページ
親機の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。親機がうまく動作しない場合や、もう一度初めから親機を設定したいときにお使いいただけます。		「7-2 親機を初期化する」☞P7-24

親機を経由しないで子機同士で通信したい		参照ページ
アドホックモード	親機を経由せずに子機同士でパソコン間のデータ通信がご利用になります。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル) パソコン間通信 (アドホックモード)

IEEE802.11b のワイヤレス通信がしたい		参照ページ
IEEE802.11a 通信と IEEE802.11b 通信を両方使う	親機に WL11E をアクセスポイントとして接続すると、WL54AC の IEEE802.11a の他に WL11CA/WL11C/WL11U/WL11E の IEEE802.11b 通信を行うことができます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」
IEEE802.11b 通信のみ使用する	親機に WL11CA を装着し、さらに IEEE802.11b に準拠した子機 (WL11CA/WL11C/WL11U/WL11E) をご利用になることで IEEE802.11b に準拠したワイヤレス LAN 通信がご利用になります。 WL54AC は、WL11CA/WL11C/WL11U/WL11E とは無線規格が異なるため、WL11CA/WL11C/WL11U/WL11E とは通信できません。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」

子機を増設したい	参照ページ
子機として WL54AC を増設できます。	「6-8 子機を増設する」☞ P6-42

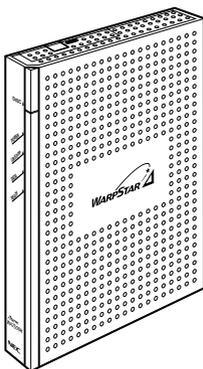
SOHO で使用するとき便利な機能		参照ページ
DMZ ホスティング機能	DMZ (Demilitarized Zone) とは、ファイアウォールによって外部 (インターネット) から内部 (ローカルネットワーク) から隔離された領域のことを言います。DMZ 機能を使用することにより、外部にサーバ公開するときに既存のローカルネットワークに対して高度なセキュリティを確保することが可能です。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」
固定 IP アドレス対応 (複数アドレス拡張)	プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定 IP アドレスを、親機および親機に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバル IP アドレスによるサブネットワークを構築できます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」
VPN (PPTP) パススルー機能	会社のネットワークなど VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) に PPTP で接続できます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル) 「機能一覧」

1-2 箱の中身を確認しよう

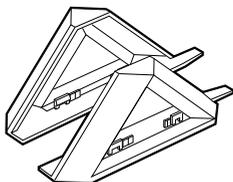
設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

構成部品

WA7500H (親機)

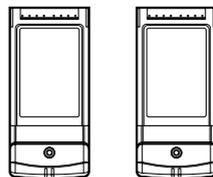


縦置きスタンド

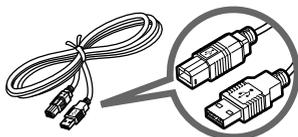


WL54AC (2枚)

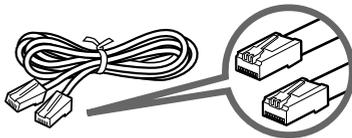
親機装着用と子機用として2枚同梱されています。



USB ケーブル

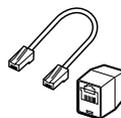


ETHERNET ケーブル (ストレート)



複数台のパソコンを接続する場合は市販のETHERNETケーブル (ストレート) をご購入ください。

クロス変換アダプタ / ケーブル

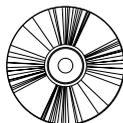


ケーブルはストレートケーブルです。外付けのADSLモデムやCATVケーブルモデムに接続する場合にご利用いただけます。

取扱説明書 (本書)



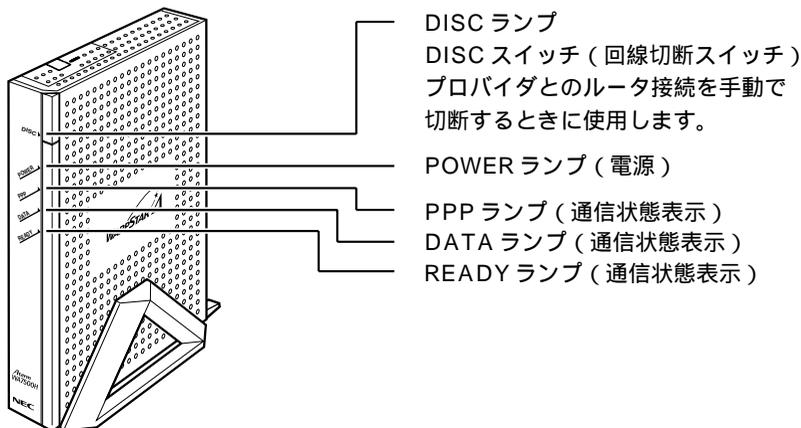
つなぎかたガイド

CD-ROM
(ユーティリティ集)

保証書

WA7500H (親機)

前面図

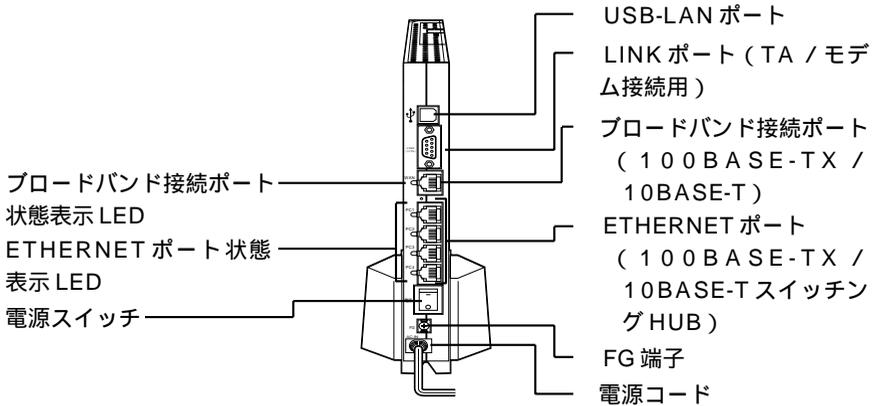


【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた(色)	本商品の状態
DISC ランプ	緑 (点灯)	WAN 側 (ADSL モデム / CATV ケーブルモデムなど) と接続中
	赤 (点灯)	DISC スイッチによって WAN 側との接続を不可にしているとき
POWER ランプ (電源)	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	橙 (点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき
	赤 (点滅)	バージョンアップが失敗したとき
PPP ランプ (通信状態表示)	緑 (点灯)	PPPoE 接続、ダイヤルアップ接続で PPP リンクが確立しているとき
DATA ランプ (通信状態表示)	緑 (点滅)	LAN で接続されたパソコンでデータ送受信中
READY ランプ (通信状態表示)	緑 (点灯)	USB ポートにパソコンが接続されているとき (USB ドライバが正しくインストールされているとき)

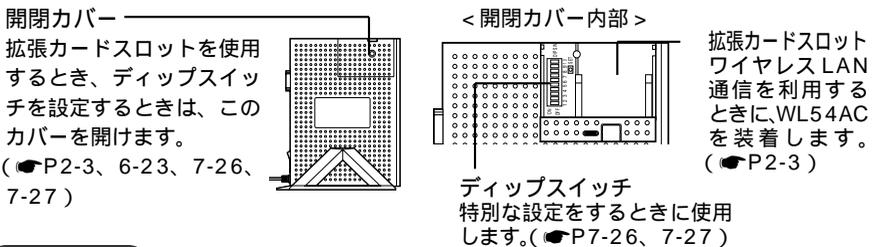
このままではご利用になれません。お近くの NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります。

背面図



名称	説明
USB-LAN ポート	添付の USB ケーブルを使って、パソコンの USB ポートとの接続に使用します。
LINK ポート (TA / モデム接続用)	外付けのモデムや TA との接続に使用します。
ブロードバンド接続ポート (100BASE-TX / 10BASE-T)	ブロードバンドモデムとの接続に使用します。
ETHERNET ポート (100BASE-TX / 10BASE-T スイッチング HUB)	パソコンまたはハブとの接続に使用します。
FG 端子	アース線を取り付ける端子です (アース線は添付されていません)。
電源コード	AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。
ブロードバンド接続ポート状態表示 LED	緑点灯 ブロードバンドモデムと接続され、リンクが確立しているとき
	緑点滅 ブロードバンドモデムとデータ送受信中
ETHERNET ポート状態表示 LED	パソコンまたはハブが接続され、リンクが確立しているときに点灯します。
電源スイッチ	電源の入 / 切を切り替えるスイッチです。電源を入れるときは「 ▶ 」側を押します。電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔をあけてください。

側面図



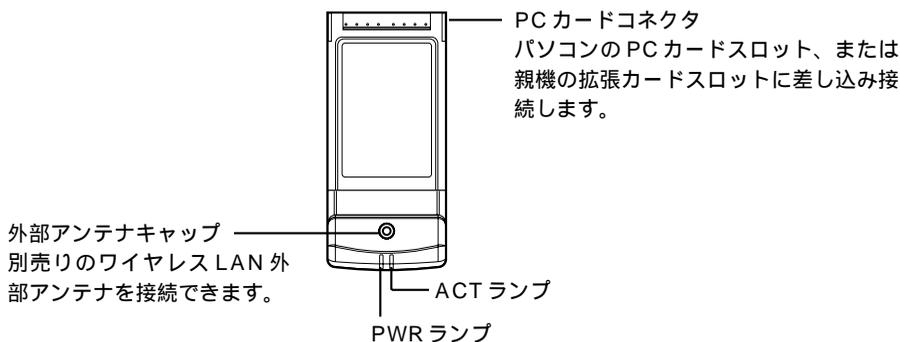
お願い

拡張カードスロットに WL54AC (子機) を装着する際は、必ず親機の電源を切ってから装着してください。
WL54AC は WL11CA とは無線規格が異なるため、通信できません。

1

お使いになる前に

WL54AC（親機装着用、子機用）



【ランプ表示】

PWR ランプ、ACT ランプのつきかた	WL54AC の状態
2 つのランプが同時に点滅	通信中 (通信量により点滅速度が変化します)
2 つのランプが同時に遅く点滅	通信待機中 (通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません)
2 つのランプが交互に遅く点滅	無線接続が確立されていません 親機との通信を確立してください (P3-12)
2 つのランプが消灯	WL54AC (子機) に電源が供給されていません

お願い

PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

1-4 あらかじめ確認してください

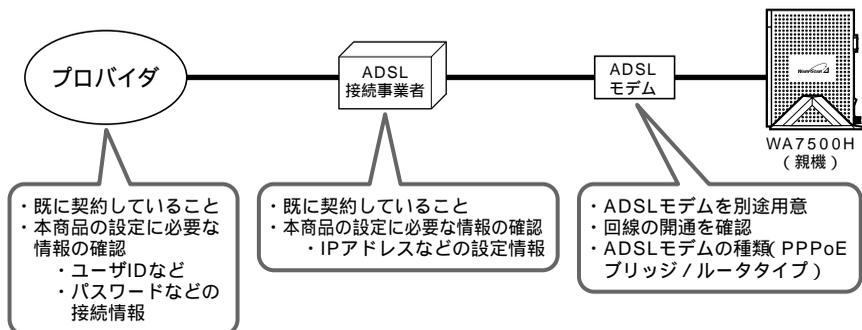
本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

ADSL 接続の場合

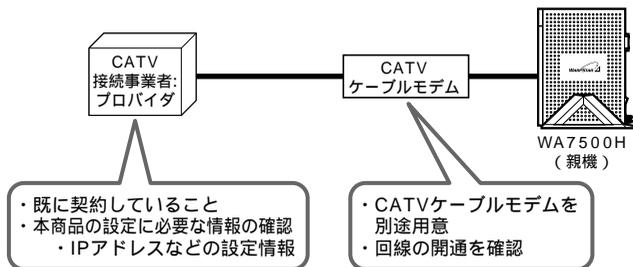
ADSL 接続をご利用になる場合は、あらかじめ、ADSL 接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。

ADSL 接続事業者によっては、プロバイダ契約が不要な場合があります。



CATV (ケーブルテレビ) インターネット接続の場合

CATV インターネット接続をご利用になる場合は、あらかじめ CATV インターネット接続事業者との契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。



FTTH 接続の場合

FTTH サービスをご利用になる場合は、あらかじめ FTTH サービスの契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。

また、回線終端装置は別途ご用意ください。

接続できるサービスについては、ホームページ Aterm Station の「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか確認してください。

有線で接続する場合

- ・ ETHERNET ポート (LAN ポート) または USB ポートを装備していること (USB-LAN 接続は Windows® パソコンのみ可能です。) ETHERNET ポートをご利用になる場合は、次ページの「LAN ポートの準備」を確認してください。
- ・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、添付の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。
- ・ パソコンのネットワークの設定を確認すること (●P1-13)

無線で接続する場合

- ・ カードバス準拠のインタフェースが装備されていること

接続可能な機器

	親機 (ETHERNET ポート)	親機 (USB-LAN ポート)	子機 (WL54AC)
Windows®		Windows® XP/Me/ 2000 Professional/ 98SE/98 (日本語版)	Windows® XP/Me/ 2000 Professional/ 98SE (日本語版)
Macintosh		x	x
ゲーム機		x	x

Windows® 98 SE で WL54AC をご利用になるには、らくらくアシスタントでのドライバのインストール (Step 1) の前にマイクロソフト社のホームページから Windows Management Instrumentation (WMI) をダウンロードする必要があります。(●P3-27)

お使いのパソコンにプロキシの設定がされている場合や、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。ファイアウォールなどの動きによって、本商品との通信に必要なポートが止められている可能性があるためです。本商品設定の際には、プロキシの設定やファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトをいったん停止してください。



お知らせ

OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ Aterm Station から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

ETHERNET ポート (LAN ポート) の準備

ETHERNET ポートで接続する場合は、パソコンに LAN ポート (100BASE-TX / 10BASE-T ポート) が必要です。お使いのパソコンに LAN ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX / 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。

パソコンのネットワークの設定

パソコンのネットワークの設定が Windows® の場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」、Macintosh の場合は、「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンを購入したままの状態でお使いの場合は必要ありません。

Windows® をご利用の場合 ● P1-13 ~ P1-15

Macintosh をご利用の場合 ● P1-16

Windows® をご利用の場合

< Windows® XP をご利用の場合 >

以下は、あらかじめダイヤルアップアイコンが登録されている場合の例です。Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

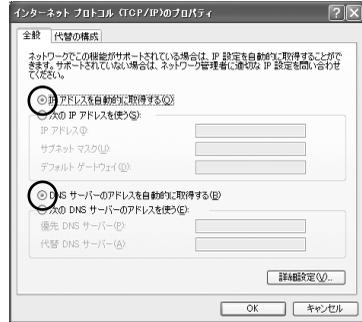
1 [スタート] から [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする



お知らせ

本書では、Windows® XP の通常表示モード (カテゴリー表示モード) を前提に記述しています。

1

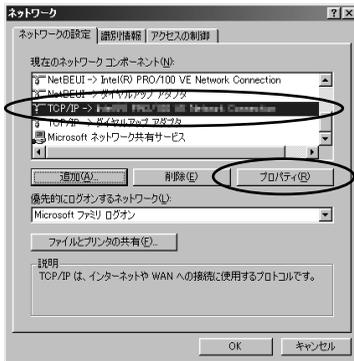
お
使
い
に
な
る
前
に

< Windows® Me/98SE/98 をご利用の場合 >

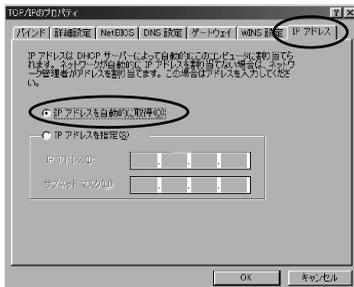
1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

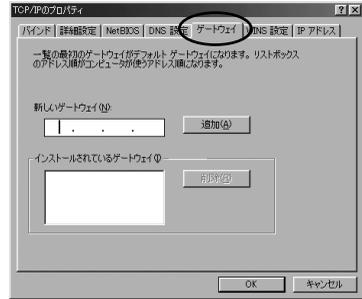
3 リストの [TCP/IP->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



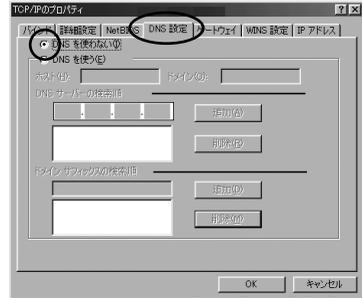
4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択する



7 [OK] をクリックする

8 [OK] をクリックする

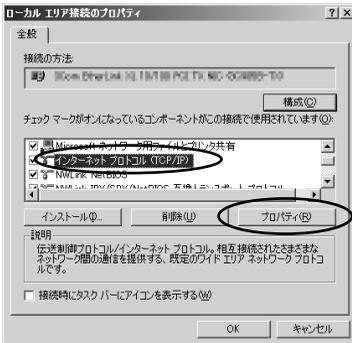
< Windows® 2000 をご利用の場合 >

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

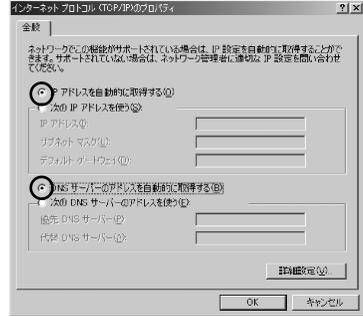
2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする

3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IP アドレスを自動的に取得] と [DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

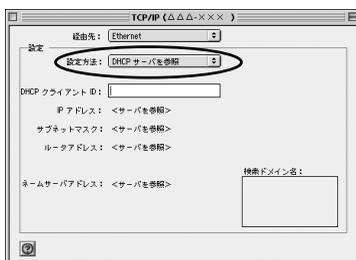
1

お使いになる前に

Mac OS をご利用の場合

< Mac OS 8.x/9.x をご利用の場合 >

- 1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く
- 2 [経路先] を [Ethernet] にする
- 3 [設定方法] を [DHCP サーバを参照] にし、[DHCP クライアント ID] と [検索ドメイン名] を空白にし、ウィンドウを閉じる

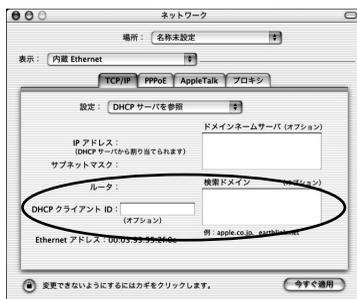


画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

- 4 確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

< Mac OS X をご利用の場合 >

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[設定] を [DHCP サーバを参照] にする
- 3 [DHCP クライアント ID] と [検索ドメイン] を空白にする



- 4 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

WWW ブラウザの設定変更

WWW ブラウザ (Internet Explorer 等) の設定を「ダイヤルアップ接続しない」に変更します。

以下は Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98 で Internet Explorer 6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境(プロバイダやソフトウェア等) によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。

[ツール] の [インターネットオプション] を選択します。

[接続] タブをクリックします。

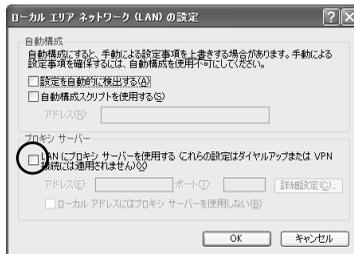
ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択してください。



[LAN の設定] をクリックします。

[LAN にプロキシサーバーを使用する] の をはずします。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



お知らせ

プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム (プロバイダへの申し込みソフト) は、ダイヤルアップ接続 (モデムやターミナルアダプタの接続) 専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

1-5 設定方法を選ぶ

本商品を設定するには、ユーティリティで設定する方法と、WWWブラウザで設定する方法があります。それぞれの設定でできることは次の通りです。ご利用の環境に合わせて設定を行ってください。

ユーティリティでの設定

らくらくアシスタント……………インターネット接続設定などの親機の設定ができます。

アクセスマネージャ……………らくらくアシスタントで設定したインターネット接続先に接続する場合は、必ず使用します。

サテライトマネージャ……………子機で利用します。親機・子機間の無線通信を設定します。

WWWブラウザでの設定

クイック設定 Web を起動して設定します。(「5章 クイック設定 Web を使った設定のしかた」●P5-1)

< 設定方法での違い >

設定方法		ユーティリティで設定	WWWブラウザで設定
設定できる環境		Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98 (日本語版) Mac OS 8.6J/9.0J/9.1J/9.2J/X (クラシックモード) ただし、Macintoshでは「サテライトマネージャ」はご利用になれません。Windows® XPではWindows® XPに内蔵されているワイヤレスネットワークの設定をご利用ください。	WWWブラウザの対応バージョンは次の通りです。(日本語版) Microsoft Internet Explorer 4.0以上 (推奨 5.5以上) Netscape communicator 4.0以上 (推奨 6.1以上) Net Front for (デルタ) (株式会社ACCESS) ("Play Station®2"用ブラウザ)
ドライバのインストール (USB-LANドライバ、子機用ドライバ)			×
インターネット接続		アクセスマネージャが必ず必要です。	自動接続 (アクセスマネージャは必要ありません。ただし、アプリケーションプロファイル、マルチラインは利用できません。)
親機の設定	子機に接続したパソコン (無線LAN)		「ドライバのインストール」と「親子機間の通信の設定」をらくらくアシスタントで行ったあと利用できます。
	USB-LANポートに接続したパソコン		「ドライバのインストール」をらくらくアシスタントで行ったあと利用できます。
	ETHERNETポートに接続したパソコン		
子機の設定	子機 (無線LAN)	サテライトマネージャまたはWindows® XPワイヤレスネットワーク接続の設定	

導入編

インターネットに接続しよう

2

3

4

- 2章 WARPSTARに接続しよう2-1
 - 2-1 セットアップの流れ.....2-1
 - 2-2 親機を設置する2-2
 - 2-3 親機に無線カード (WL54AC) を取り付ける2-3
 - 2-4 電源を接続する2-4
 - 2-5 FTTH 回線終端装置またはブロードバンド (ADSL/CATV) モデムと接続する2-5

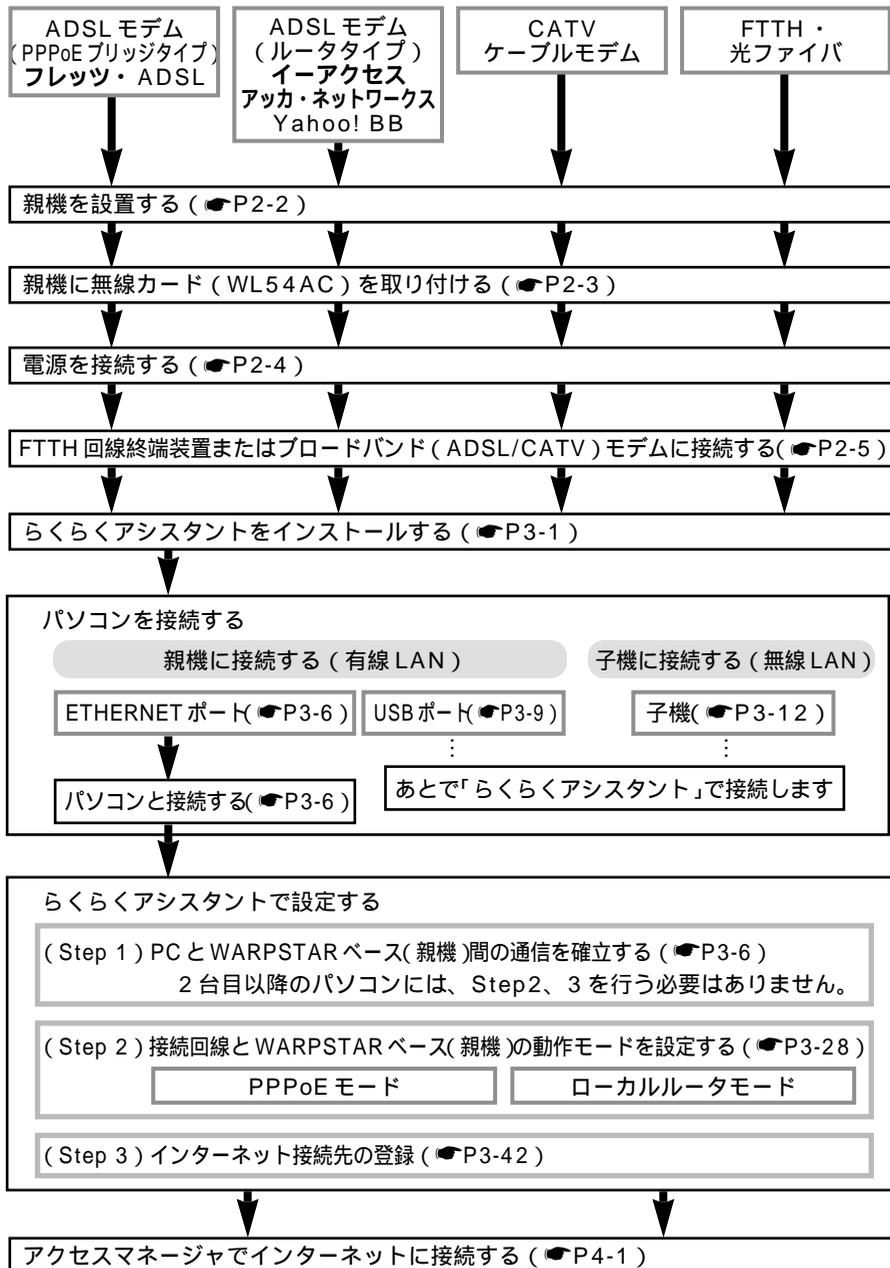
- 3章 WARPSTAR を設定する3-1
 - 3-1 らくらくアシスタントをインストールする ...3-1
 - 3-2 Step1 PCとWARPSTAR ベース(親機)間の通信を確立する3-6
 - 3-3 Step2 接続回線とWARPSTAR ベース(親機)の動作モードを設定する3-28
 - 3-4 Step3 インターネット接続先の登録 ...3-42

- 4章 アクセスマネージャでインターネットに接続する4-1
 - 4-1 インターネットに接続する4-1
 - 4-2 インターネットを切断する4-6

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

2-1 セットアップの流れ

本商品を接続してインターネットに接続できるようになるまでの基本的な流れを示します。本商品の接続回線やLANの構成によって手順が異なりますので手順に従って接続設定を行ってください。



2-2 親機を設置する

親機の置き場所を決めよう

親機には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

親機はADSLモデム / CATVケーブルモデムのそばに置こう

親機用の電源コンセントはありますか？

親機用の電源コンセントを確保しましょう。

子機は親機から無線で電波の届く距離に置こう

ただし、設定が完了するまでは親機のそばに置いておきます。



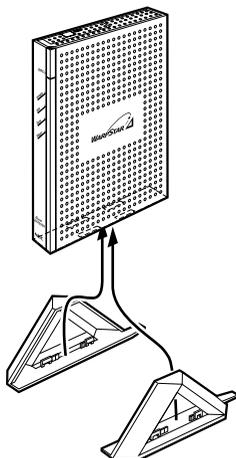
お知らせ

親機にWL54ACを装着した場合、ワイヤレスで届く範囲は見通し（間に障害物が何も無い状態）で次のとおりです。（ ）内の速度は目安です。壁や家具、什器など周囲の環境により変動します。

屋内 12m（54Mbps）～ 90m（6Mbps）

縦置きスタンドを取り付ける

図のように親機に縦置きスタンドを取り付けます。



お願い

親機は絶対に横置きに設置しないでください。内部に熱がこもり、破損する可能性があります。また、壁などに近づけて設置しないでください。

2-3 親機に無線カード(WL54AC)を取り付ける

同梱されている2枚のWL54ACのうち、1枚を親機に取り付け、もう1枚を子機として登録設定することでワイヤレスLANがご利用になれます。

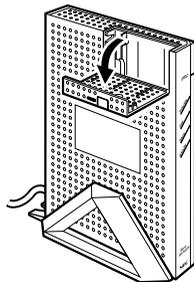
本体のUSBポートやETHERNETポートに接続したパソコンの他、子機を接続したパソコンから、ワイヤレスでインターネットに接続したり、パソコン間でのデータの共有が可能となります。

お願い

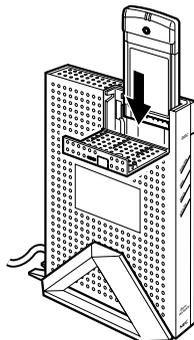
親機の電源を切った状態で取り付けてください。

拡張カードスロットに無線カードを取り付ける

- 1 親機側面の開閉カバーを開く



- 2 無線カード(WL54AC)を拡張カードスロットに装着する



- 3 開閉カバーを閉める

2-4 電源を接続する

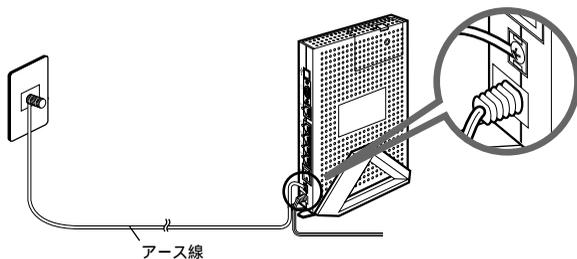
アース線と電源をそれぞれ接続します。

1

親機のFG端子と壁のアース端子をアース線で接続する

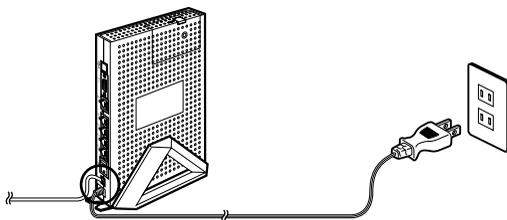
アース線は添付されていませんので、別途購入してください。

アース線は漏電や落雷などが起こった場合に、人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。



2

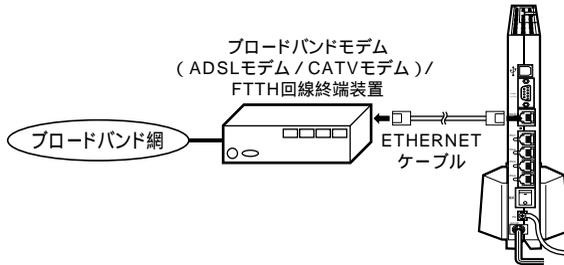
親機の電源コードを壁の電源コンセントに接続する



2-5 FTTH 回線終端装置またはブロード
バンド(ADSL/CATV)モデムと接続する

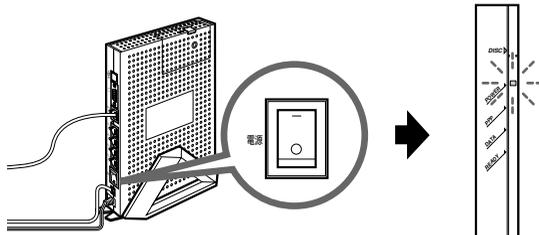
親機にFTTH回線終端装置や外付けブロードバンド(ADSL/CATV)モデムを接続する場合は、次の手順で接続します。

- 1 FTTH回線終端装置またはブロードバンドモデムが、回線に正しく接続されていることを確認する
ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。
- 2 親機のブロードバンド接続ポートとFTTH回線終端装置またはブロードバンドモデムをETHERNETケーブルで接続する

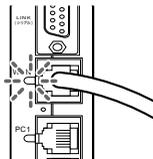


添付のETHERNETケーブルは1本のみです。添付のケーブルをパソコンとの接続に使用する場合は、市販のETHERNETケーブルを使用するか、クロス変換ケーブル/アダプタのケーブルを使用してください。

- 3 親機の電源スイッチを入れる(「-」側を押す)
前面の各ランプが点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯します。



- 4 ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑点灯することを確認する
(点灯しない場合は次ページを参照してください。)



お願い

親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあげてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しないときは

ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しないときは、親機と FTTH 回線終端装置 / ブロードバンドモデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

ETHERNET の接続を確認する

親機のブロードバンド接続ポートが FTTH 回線終端装置またはブロードバンドモデムに ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。

ブロードバンドモデムが回線と正しく接続されていることを確認する

ETHERNET ポートを搭載したパソコンをお持ちの場合は、ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ブロードバンドモデムおよび通信回線に問題があります。ご契約の通信事業者にご相談ください。

～ を行っても解決しない場合は、親機を初期化する

親機の設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「7-2 親機を初期化する」(●P7-24)を参照してください。

親機の自己診断を行う

「7-3 自己診断」(●P7-27)を参照して、親機の自己診断を行ってください。

～ を行っても問題が解決しないときは、親機が故障している場合があります。最寄りの NEC 保守サービス受付拠点 (●P8-10) へお問い合わせください。



お知らせ

TA やアナログモデムを接続してダイヤルアップ接続をご利用になる場合は、「6-5 ダイアルアップ接続・マルチライン接続を利用する」(●P6-25)に進んでください。

3-1 らくらくアシスタントをインストールする

本商品を設定するために必要なユーティリティ「らくらくアシスタント」をパソコンにインストールします。

Windows® で設定する場合には

1 Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98 を起動する

Windows® XP/2000 の場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。それでもインストールできないときは、添付のCD-ROM (ユーティリティ集)「お困りのときには」を参照してください。

2 添付のCD-ROM (ユーティリティ集)をCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

メニューが表示されないときは (P3-2)

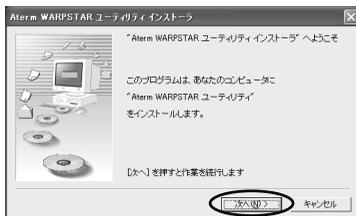
3 [らくらくアシスタントのインストール]をクリックする



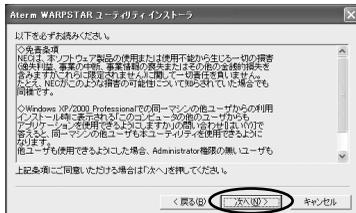
4 [次へ]をクリックする



5 [次へ]をクリックする

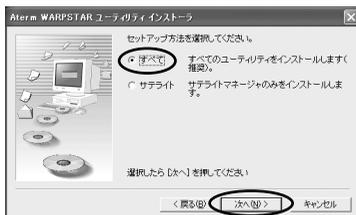


6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする

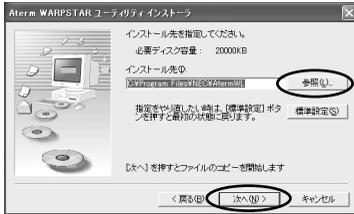


7 [すべて]を選択し[次へ]をクリックする

[サテライト]を選択するとサテライトマネージャのみをインストールします。

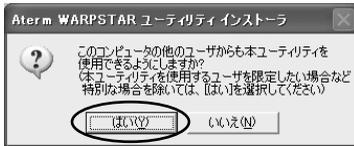


- 8 表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ]をクリックする
インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



- 9 [はい]をクリックする
インストールが開始されます。

- 10 [はい]をクリックする



- 11 [READMEの表示] にチェックが入っている (☑) ことを確認し、[完了]をクリックする



らくらくアシスタント、アクセスマネージャ、サテライトマネージャがインストールされました。

- 12 READMEをよく読み、[README]画面を閉じる
インストールが完了し、らくらくアシスタントが起動します。

- 13 CD-ROMのメニュー画面の[終了]をクリックする
CD-ROMのメニュー画面の後ろにらくらくアシスタント画面が隠れている場合があります。その場合は、タスクバーの[らくらくアシスタント]をクリックして表示してください。

- 14 CD-ROMをパソコンから取り出す



「3-2 Step1 PCとWARPSTARベース（親機）間の通信を確立する」（P3-6）に進みます。

らくらくアシスタントを起動するには

らくらくアシスタントを終了させたあとに、再度らくらくアシスタントを起動するときは、[スタート]をクリックし、[プログラム]—[Aterm WARPSTAR ユーティリティ]—[らくらくアシスタント]をクリックします。



お知らせ

添付のCD-ROMをセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows®の[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]を選択する名前の欄に、CD-ROMドライブ名と¥Menu.exeと入力し、[OK]をクリックする（例：CD-ROMドライブ名がQの場合、Q:¥Menu.exe）

Macintosh で設定する場合には

らくらくアシスタントのインストール

- 1 Macintosh の電源を入れ、添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブ にセットする

ウィンドウが開きます。
ウィンドウが開かないときは、CD-ROM のアイコンをダブルクリック してください。

- 2 [MENU] アイコンをダブルクリックする

メインメニュー画面が表示されます。

- 3 [らくらくアシスタントのインストール] をクリックする



- 4 画面の表示に従ってインストールを行う

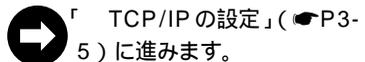
インストールが完了すると、[WARPSTAR ブロードバンド] フォルダにらくらくアシスタントなどのアイコンが作成されます。
らくらくアシスタント、アクセスマネージャがインストールされました。



「Mac OS X では以下の項目が自動で実行されません」の画面が表示されたときは次ページの手順で手動設定してください。

- 5 CD-ROM のメニュー画面の [終了] をクリックする

- 6 CD-ROM をパソコンから取り出す



3

W
A
R
P
S
T
A
R
を
設
定
す
る

❓ らくらくアシスタントを起動するには

[WARPSTAR ブロードバンド] フォルダの [WD らくらくアシスタント] アイコンをダブルクリックします。

② Mac OS X のクラシックモードでご利用になる場合

下記の「TCP/IP の設定」「アクセスマネージャの自動起動」「らくらくアシスタント」を手動で行ってください。

TCP/IP の設定

[アップルメニュー] - [システム環境設定] - [ネットワーク] を選択し、次の項目を設定します。

[設定 :]

[内蔵 Ethernet] を選択します。

[TCP/IP] タブの [設定 :]

[DHCP サーバを参照] を選択します。

[OK] をクリックします。

アクセスマネージャの自動起動

パソコン起動時に「アクセスマネージャ」が自動的に起動されるようにします。

[アップルメニュー] - [システム環境設定] - [ログイン] を選択します。[ログイン項目] タブの [追加] を開き、[WARPSTAR ブロードバンド] フォルダ内の [WD アクセスマネージャ] をクリックして指定します。

[OK] をクリックします。

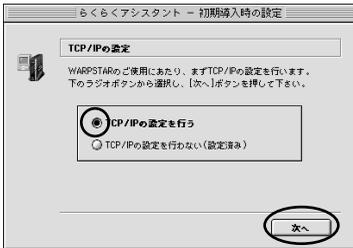
ユーティリティのインストール終了後、ユーティリティを起動した際に、ユーティリティ集のメニュー画面が開かれたままになっていた場合は、ユーティリティの表示が見えなくなることがあります。

【対策】ユーティリティを起動する前に必ずメニューを終了させてください。また、上記状態になった場合は、いったん、メニューを終了して Macintosh を再起動してください。

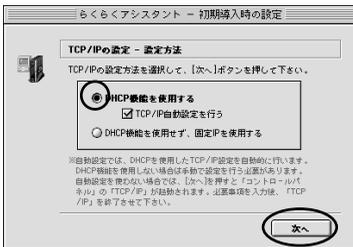
TCP/IP の設定

Macintosh の TCP/IP の設定を行います。

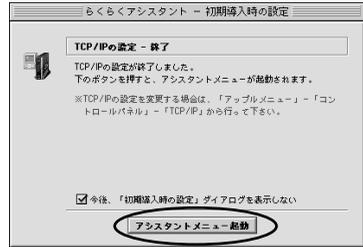
- 1 [TCP/IP の設定を行う] を選択し、[次へ] をクリックする
既に TCP/IP の設定を行っている場合は、[TCP/IP の設定を行わない] を選択して手順 3へ進みます。



- 2 [DHCP 機能を使用する] を選択し、[次へ] をクリックする
DHCP 機能を使用せずに手動で設定する場合は、手動で設定を行ってください。



- 3 設定が終了したら、[アシスタントメニュー起動] をクリックする



- 4 続けてらくらくアシスタントで [初期導入時の設定] を行う

- ➡ 「3-3 Step2 接続回線と WARPSTAR ベース(親機)の動作モードを設定する」(P3-28)に進みます。



らくらくアシスタントの設定内容は Windows® の場合とほぼ同じです。ただし、Windows® の「Step1 PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する」は、Macintosh にはありません。3-3 章からの Windows® の説明を参照し、[Step2 接続回線と WARPSTAR ベースの動作モードの設定]、[Step3 インターネット接続先の登録] の設定を行ってください。

3-2 Step1 PCとWARPSTAR ベース（親機）間の通信を確立する

接続の方法にあわせてパソコンと接続します。

親機のETHERNETポートにパソコンを接続する場合（☛下記）

親機のUSBポートにパソコンを接続する場合（☛P3-9）

子機で無線LAN接続する場合（☛P3-12）

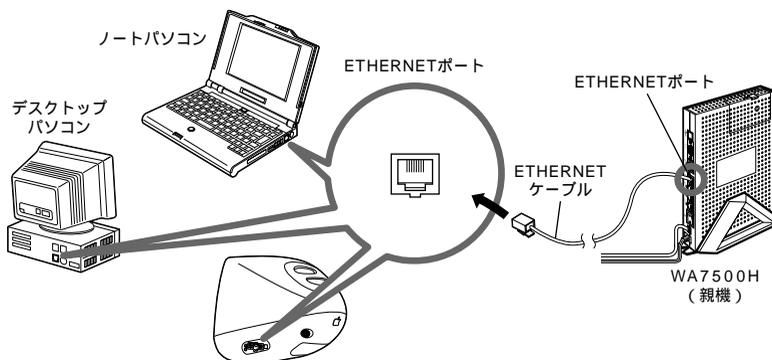
・ Windows® XPの場合（☛P3-13）

・ Windows® Me/2000 Professional/98SEの場合（☛P3-18）

親機のETHERNETポートにパソコンを接続する場合

親機（WA7500H）のETHERNETポートにパソコンを接続するときは、パソコンの接続 LANの設定の順で設定を行っていきます。LANの設定は、[クイック設定Web]または[らくらくアシスタント]で行います。パソコンを接続したら、らくらくアシスタントを起動してください。

1 親機のETHERNETポートとパソコンのETHERNETポートを本商品に添付のETHERNETケーブル（ストレート）で接続する



添付ケーブルは1本のみです。ブロードバンドモデムとの接続に使用した場合や2台目以降は、市販のETHERNETケーブル（ストレート）をご購入ください。

2 ETHERNETポート状態表示LEDが緑点灯することを確認する

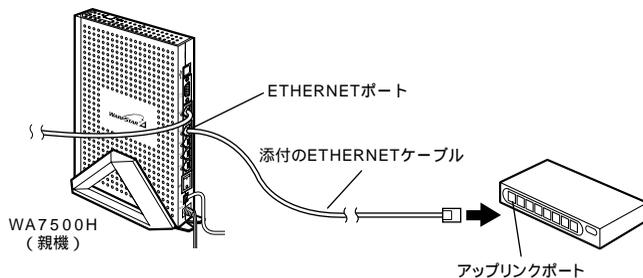
お願い

あらかじめ、お使いのパソコンにLANカードの組み込みをしておく必要があります。LANカードの組み込みは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

❗ ハブと接続するには

<ハブのアップリンクポートを接続する場合>

親機のETHERNETポートとハブのアップリンクポートを添付のETHERNETケーブル(ストレート)で接続する



ETHERNETポート状態表示LEDが緑点灯することを確認する

ハブにアップリンクポートがない場合は、添付のクロス変換アダプタ/ケーブルを取り付けて接続するか、市販のETHERNETケーブル(クロスケーブル)で接続してください。

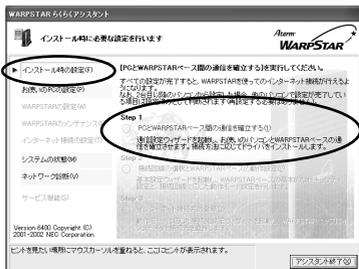
らくらくアシスタントで設定する

1 らくらくアシスタントを起動する (☞P3-2)

2 [次へ]をクリックする



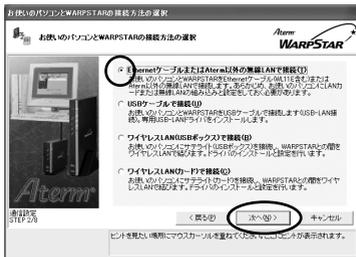
3 [インストール時の設定]の [Step1 PCとWARPSTARベース間の通信を確立する]をクリックする



4 [次へ]をクリックする



5 [ETHERNET ケーブルまたは Aterm 以外の無線 LAN で接続] を選択し、[次へ]をクリックする



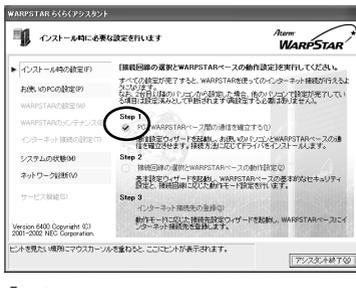
6 お願い

あらかじめ、お使いのパソコンに LAN カードの組み込みをしておく必要があります。LAN カードの組み込みは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

6 [設定終了]をクリックする



7 らくらくアシスタント画面に戻り、Step1 に☑がつくことを確認する



!が表示されたときは (☞P3-23)

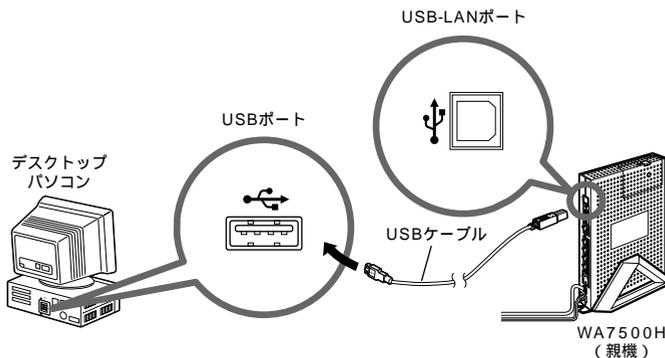
➡ 「3-3 Step2 接続回線と WARPSTAR ベース(親機)の動作モードを設定する」(☞P3-28)に進みます。

親機のUSBポートにパソコンを接続する場合

親機のUSBポートにパソコンを接続するときは、まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールして、らくらくアシスタントを起動してください。

USBドライバのインストール パソコンの接続 LANの設定の順で設定を行っていきます。

USBケーブルは、ユーティリティの指示があるまで接続しないでください。



お願い

USB接続でご使用いただく場合、ご使用になるパソコンによっては、スタンバイやサスペンド機能が使用できない場合があります。

あらかじめサスペンド機能を無効にご使用いただくことをお勧めします。

ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させないとUSB-LANドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらくアシスタントで設定を行ってください。(☞P3-24、3-25)

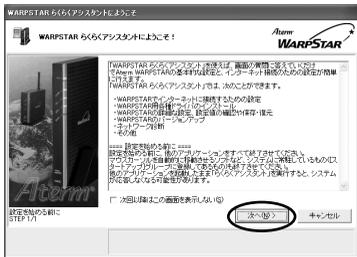
らくらくアシスタントで設定する

お願い

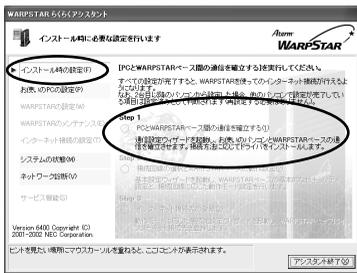
手順 8 の画面が表示されるまで、パソコンに USB ケーブルを接続しないでください。

1 らくらくアシスタントを起動する (P3-2)

2 [次へ] をクリックする



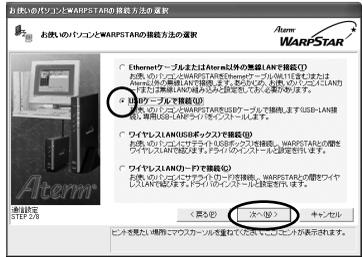
3 [インストール時の設定] の [Step1 PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する] をクリックする



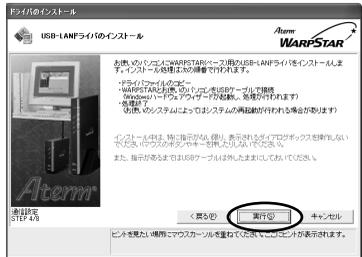
4 [次へ] をクリックする



5 [USB ケーブルで接続] をクリックし、[次へ] をクリックする

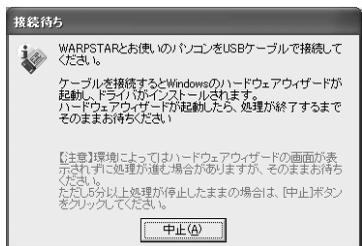


6 次の画面が表示されたら、[実行] をクリックする

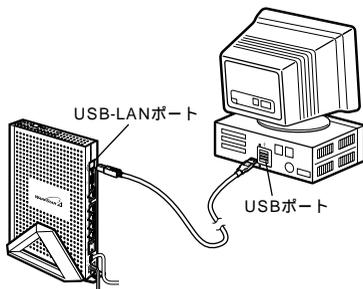


7 親機の電源が入っていることを確認する

8 次の画面が表示されたら、パソコンを添付の USB ケーブルで本商品の USB-LAN ポートに接続する



コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。



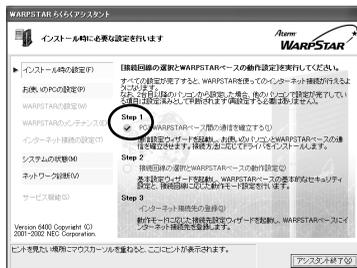
WA7500H
(親機)

USB ドライバが自動的にインストールされます。

9 [設定終了] をクリックする



10 しばらくアシスタント画面に戻り、Step1 に ✓ がつくことを確認する



! が表示されたときは (P3-23)

➡ 「3-3 Step2 接続回線と WARPSTAR ベース(親機)の動作モードを設定する」(P3-28)に進みます。



お知らせ

以降の設定をクイック設定 Web で行うこともできます。(「5章 クイック設定 Web を使った設定のしかた」P5-1)

? USB ドライバをアンインストールするには

しばらくアシスタントを起動する

[お使いの PC の設定] をクリックし、[各種ドライバのアンインストール] をクリックする

画面の指示に従ってしばらくアシスタントを終了する

画面の指示に従って USB ケーブルを取りはずし、[OK] をクリックする

アンインストールするドライバを選択する

画面の指示に従ってアンインストールを行う

CD-ROM のメニュー画面から「ドライバのアンインストール」をクリックしてもドライバのアンインストールが行えます。

3
W
A
R
P
S
T
A
R
を
設
定
す
る

子機で無線 LAN 接続する場合

子機 (WL54AC) をパソコンに接続するときは、子機のドライバのインストール
パソコンの接続 LAN の設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてら
らくらくアシスタントで行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタ
ントをインストールしてください。

子機を接続できるのは Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE のみです。
Macintosh ではご利用になれません。

PC カードスロットがあるパソコンに、子機を取り付けることができます。
ここではまだ接続しないでください。

Windows® XP のパソコンに接続する場合 (●P3-13)

Windows® ME/2000 Professional/98SE のパソコンに接続する場合
(●P3-18)

親機との通信状態を確認するには (●P3-25)

子機の取扱いについて (●P3-22)

お願い

子機はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等
により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを差し直す必要がある場合があります。
あらかじめサスペンド機能を無効にご使用いただくことをお勧めします。

ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合、LAN カードおよび LAN ボード
機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールできない場合があります。
LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、らくらくアシスタントで設定を行っ
てください。(●P3-24、3-25)

Windows® XPのパソコンに接続する場合

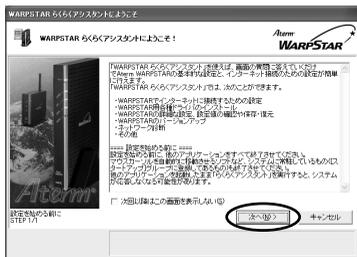
ここではWindows® XPで設定する場合を説明しています。Windows® Me/2000 Professional/98SEを利用している場合は、設定手順が異なります。P3-18を参照してください。



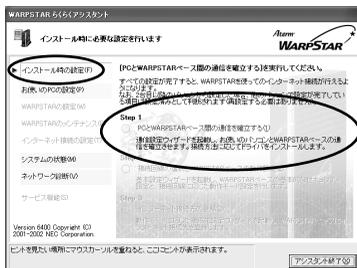
子機は、手順8の画面が表示されるまでパソコンとは接続しないでください。

1 しばらくアシスタントを起動する (P3-2)

2 [次へ]をクリックする



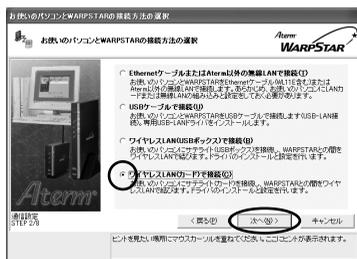
3 [インストール時の設定]の [Step1 PCとWARPSTARベース間の通信を確立する] をクリックする



4 [次へ]をクリックする



5 [ワイヤレスLAN(カード)で接続]を選択し、[次へ]をクリックする



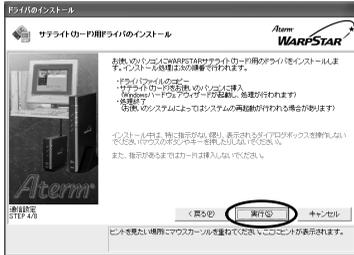
6 [WL54AC]を選択して[次へ]をクリックする



WL11CA/WL11Cを子機としてお使いになる場合は、「機能詳細ガイド」(HTMLファイル)を参照してください。

3 WARPSTARを
設定する

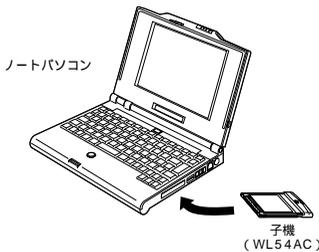
7 [実行]をクリックする



8 次の画面が表示されたら、子機をパソコンに取り付ける

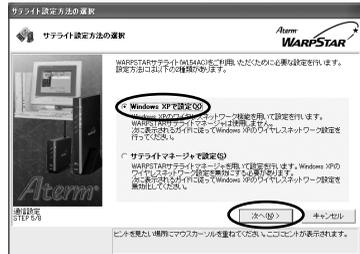


パソコンのカードスロットに子機を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。



ドライバが自動的にインストールされます。
子機の取りはずしかた (●P3-22)

9 [Windows XPで設定]を選択し、[次へ]をクリックする



152bitWEPを使用する場合は、[サテライトマネージャで設定]を選択し、[次へ]をクリックします。サテライトマネージャで設定を行う場合は、「Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには」(●P3-17)に進んでください。

10 下図のような画面が表示されたら、この画面を残したままにしておく

[ガイド表示]をクリックするとワイヤレスネットワークについての説明が表示されます。

・ワイヤレスネットワーク接続の設定が完了するまで、[次へ]はクリックしないでください。



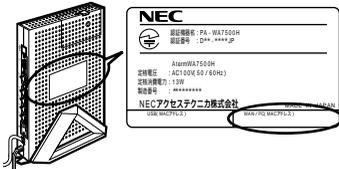
11 パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバルーンが表示される



12 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

13 「利用できるネットワーク」を選択する

- 工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」（xxxxxxは、親機の側面に記載されているWAN/PC（MACアドレス）の下6桁）です。

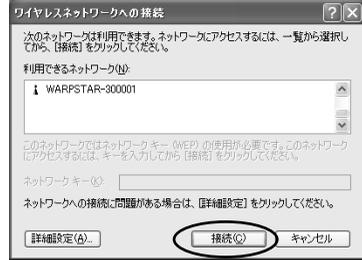


- 「利用できるネットワーク」に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順4からやり直してください。



親機に「暗号化」を設定している場合には、「6-1 セキュリティ対策をする」を参照して設定を行ってください。（P6-1）

14 [接続]をクリックする

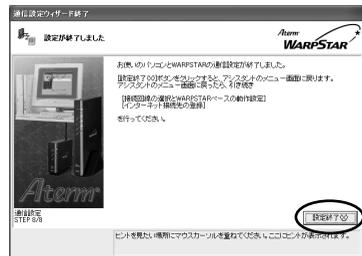


15 手順10で表示したままの画面で[ガイドの内容を確認済み]をチェック☑して、[次へ]をクリックする

- ガイドを表示した場合は[ガイドの内容を確認済み]が☑になっていることを確認します。

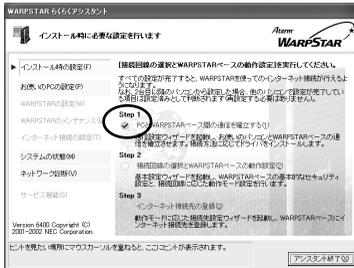


16 [設定終了]をクリックする



3 WARPSTARを
設定する

17 らくらくアシスタント画面に戻り、Step1に✓がつくことを確認する



！が表示されたときは (P3-23)

➡ 「3-3 Step2 接続回線とWARPSTARベース(親機)の動作モードを設定する」(P3-28)に進みます。

！ **タスクトレイにサテライトマネージャが表示された場合は**
サテライトマネージャアイコンを右クリックし、[Windows 起動時に自動的に起動]のチェックをはずし、[終了]をクリックします。

お願い

Windows® XP でお使いの無線 LAN 環境に接続可能なネットワークが複数存在する場合に、次のような現象が発生したときには添付 CD-ROM に収録されている「Windows® XP のワイヤレスネットワーク接続をご利用になっているお客様へのご注意」を参照してください。

- ・らくらくアシスタントの設定などで親機の再起動が行われると接続されるネットワーク名が変わってしまう。
- ・らくらくアシスタントの設定などで親機の再起動が行われるとそれ以降、らくらくアシスタントの設定が行えなくなる。
- ・親機に接続できなくなる。

お知らせ

以降の設定をクイック設定 Web で行うこともできます。(「5章 クイック設定 Web を使った設定のしかた」(P5-1))

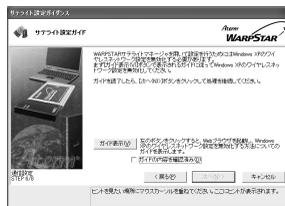
暗号化の設定を行う場合は、「6-1 セキュリティ対策をする」(P6-1)を参照して設定してください。

❗ Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには

Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには、Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定を停止する必要があります。

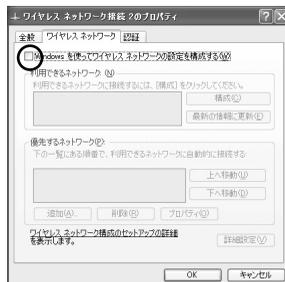
次の画面が表示されたら、この画面を残したままにしておく

[ガイド表示]をクリックすると、ワイヤレスネットワーク設定を無効にする説明が表示されます。



パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする
[詳細設定]をクリックする

[Windowsを使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する]のチェックをはずす



[OK]をクリックする

手順 4 で表示したままの画面で [サイトの内容を確認済み] をチェック して、[次へ] をクリックする



以上の設定を行うとWindows® XPでサテライトマネージャが使用できるようになります。以降は、「Windows® Me/2000 Professional/98SEのパソコンに接続する場合」の手順10からの設定を行ってください。(●P3-19)

Windows® XPでサテライトマネージャがご利用いただけるのは、WL54ACのみです。他の子機(WL11CA/WL11C/WL11U)ではWindows® XPでサテライトマネージャはご利用になれません。

3
W
A
R
P
S
T
A
R
を
設
定
す
る

Windows® Me/2000 Professional/98SE のパソコンに接続する場合

お願い

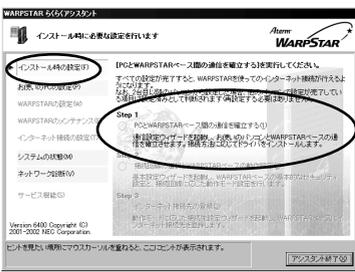
子機は、手順 8 の画面が表示されるまでパソコンとは接続しないでください。
Windows® 98SE で子機をご利用になるには、らくらくアシスタントでのドライバのインストール (Step1) の前に Windows Management Instrumentation (WMI) をダウンロードする必要があります。
(☞P3-27)

1 らくらくアシスタントを起動する (☞P3-2)

2 [次へ] をクリックする



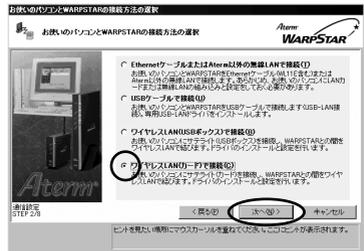
3 [インストール時の設定] の [Step1 PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する] をクリックする



4 [次へ] をクリックする



5 [ワイヤレス LAN (カード) で接続] を選択し、[次へ] をクリックする

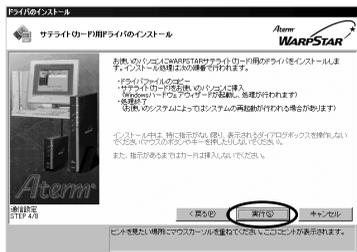


6 [WL54AC] を選択して [次へ] をクリックする

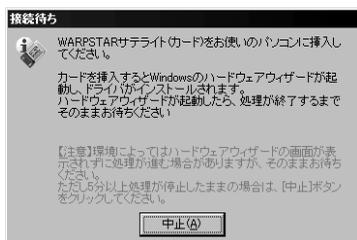


WL11CA/WL11C を子機としてお使いになる場合は、機能詳細ガイド (HTML ファイル) を参照してください。

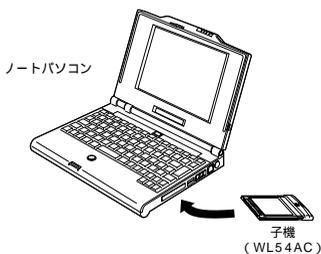
7 [実行]をクリックする



8 次の画面が表示されたら、子機を取り付ける

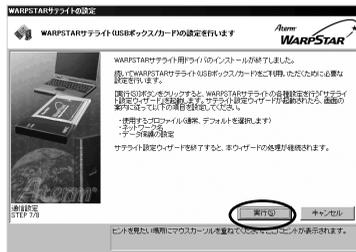


パソコンのカードスロットに子機を取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

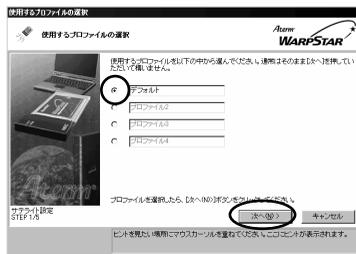


ドライバが自動的にインストールされます。
子機の取りはずしかた (P3-22)

9 [実行]をクリックする

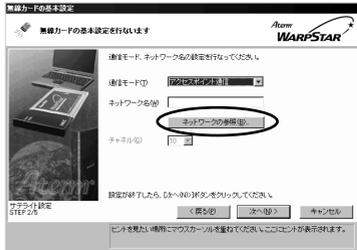


10 使用するプロファイルを選択し、[次へ]をクリックする 通常はそのまま [次へ] をクリックします。



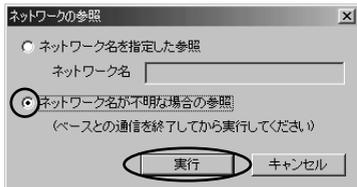
3 WARPSTARを
設定する

11 親機の POWER ランプが点灯していることを確認し、[ネットワークの参照] をクリックする

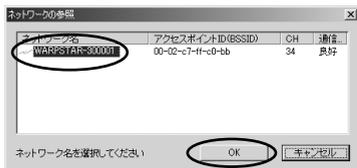


親機を検索します（ネットワークの参照といいます）。

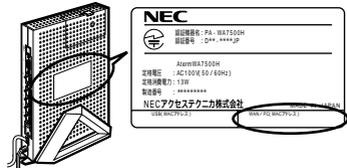
12 次の画面が表示されたときは [ネットワーク名が不明な場合の参照] を選択し、[実行] をクリックする



13 接続する親機のネットワーク名をクリックし、[OK] をクリックする

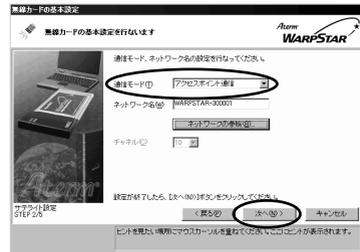


工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-x x x x x x」（x x x x x x は親機の側面に記載されている WAN / PC (MAC アドレス) の下 6 桁) です。



「ネットワークが見つかりません。」と表示された場合は [OK] をクリックして手順 11 の画面で [ネットワークの参照] をクリックしてください。それでもみつからない場合は、[ネットワーク名] の欄に直接ネットワーク名を入力してください。

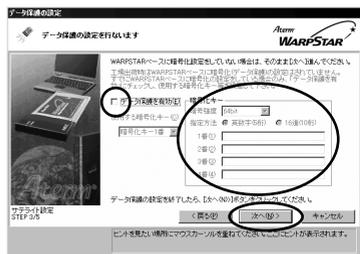
14 [次へ] をクリックする [通信モード] は [アクセスポイント通信] の設定のままにしてください。



親機に暗号化 (WEP) の設定がされている場合、手順 14 の画面が表示されます。手順 14 の画面が表示されない場合は、手順 15 に進みます。

15 次の画面が表示されたときは、親機の設定に合わせて暗号化の設定を行う

すでに親機に暗号化(WEP)の設定をしている場合(☞P6-4)のみデータ保護の設定を行います。



- [データ保護を有効] をチェックする
- [はい] をクックする
- [使用する暗号化キー] を選択します。
- 暗号強度を [64bit][128bit][152bit] から選択します。
- [指定方法] から暗号化キーの種類を [英数字] または [16進数] のどちらかを選択します。
- [使用する暗号化キー] を [暗号化キー 1番 ~ 4番] で選択します。
- [1番 ~ 4番] に暗号化キーを入力します。
- [次へ] をクリックします。

16 設定内容を確認し、[登録]をクリックする

設定内容をお使いのシステムに登録します。



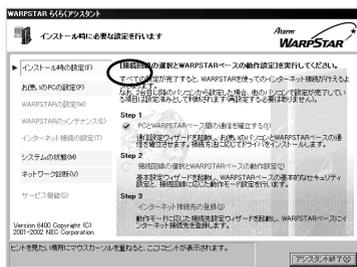
17 [無線設定終了]をクリックする



18 [設定終了]をクリックする



19 徐々にアシスタント画面に戻り、Step1に☑がつくことを確認する



!が表示されたときは(☞P3-23)

➡ 「3-3 Step2 接続回線とWARPSTARベース(親機)の動作モードを設定する」(☞P3-28)に進みます。



お知らせ

以降の設定をクイック設定 Web で行うこともできます。(「5章 クイック設定 Web を使った設定のしかた」☞P5-1)

3 WARPSTARを
設定する

子機の取り扱いについて

取り付けるとき

- ・子機のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

取りはずすとき

- ・子機を取りはずすときは、以下の操作で PC カードを取りはずせる状態にしてから取りはずしてください。

タスクトレイの PC カードアイコンをクリックする

[NEC AtermWL54AC (PA-WL/54AC) Wireless Network Module の停止] をクリックする (Windows® XP の場合は [AtermWL54AC (PA-WL/54AC) Wireless Network Module を安全に取り外します] をクリックする)

「 NEC AtermWL54AC (PA-WL/54AC) Wireless Network Module ’ は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、[OK] をクリックする (Windows® XP の場合は  をクリックして画面を閉じる)

子機を取りはずす

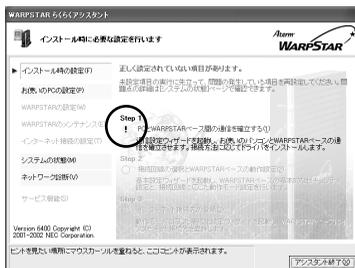
 お願い

子機の実取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けてください。

① こんなときは

らくらくアシスタントのメニュー画面 Step1 に **!** マークが表示された場合は、下記 ~ を確認してください。

パソコンのタスクトレイに [アクセスマネージャ] アイコンが表示されている場合は、 ~ の操作の前に、[アクセスマネージャ] アイコンを右クリックし、[終了] をクリックしてアクセスマネージャを終了させてから行ってください。



[ネットワーク診断] [LAN側 (PC WARPSTARベース) のネットワーク診断] をクリックする

[IPアドレス情報 (LAN)] の [アダプタ] のプルダウンウィンドウの **▼** をクリックし、[WL54AC (PC-WL/54AC)] を選択する

[すべて解放] をクリックする

[再取得] をクリックする

IPアドレスが [192.168.0. x x x] になることを確認する

[OK] をクリックする

! マークが消えない場合は、「7-1 トラブルシューティング」の「らくらくアシスタントで「親機が見つかりません」と表示されている」(P7-3) を参照してください。

お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。ファイアウォールなどの働きによって、本商品との通信に必要なポートが止められている可能性があるためです。本商品設定の際には、プロキシの設定や、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトをいったん停止してください。

② 子機のドライバをアンインストールするには

らくらくアシスタントを起動する

[お使いのPCの設定] をクリックし、[各種ドライバのアンインストール] をクリックする

画面の指示に従ってらくらくアシスタントを終了する

画面の指示に従って子機を取りはずし、[OK] をクリックする

アンインストールするドライバを選択する

画面の指示に従ってアンインストールを行う

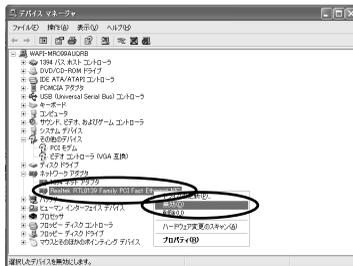
CD-ROMのメニュー画面から [ドライバのアンインストール] をクリックしてもドライバのアンインストールが行えます。

② LAN カードおよびLAN ボード機能を停止させるには

ETHERNET インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カードおよびLAN ボード機能を停止させないと USB-LAN や子機が使用できない場合があります。以下の操作で LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、らくらくアシスタントで設定を行ってください。

Windows® XP の場合

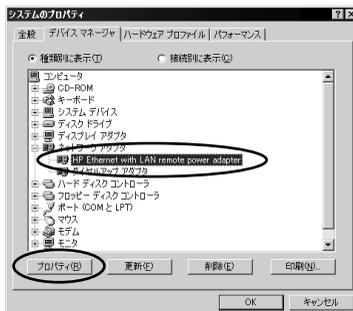
- [スタート] [コントロールパネル] をクリックする
- [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- [システム] アイコンをダブルクリックする
- [ハードウェア] タブをクリックする
- [デバイスマネージャ] をクリックする
- [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する



- [はい] をクリックする

Windows® Me/98SE の場合

- [スタート] [設定] [コントロールパネル] をクリックする
- [システム] アイコンをダブルクリックする
- [デバイスマネージャ] タブをクリックする
- [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- 不要なネットワークアダプタを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする

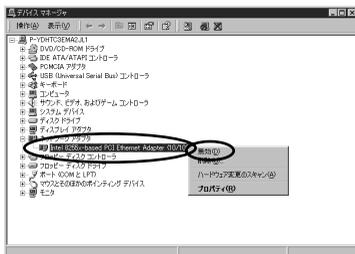


- [全般] タブの [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックし、[OK] をクリックする

② LANカードおよびLANボード機能を停止させるには

Windows® 2000 Professionalの場合

- [スタート] [設定] [コントロールパネル] をクリックする
- [システム] アイコンをダブルクリックする
- [ハードウェア] タブをクリックする
- [デバイスマネージャ] をクリックする
- [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する



[はい] をクリックする

親機との通信状態を確認するには

Windows® XP の場合は次の手順で通信状態を確認できます。

- 1 パソコン画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックする
- 2 [状態] をクリックし、[全般] タブで確認する

- 3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・[状態] は「接続」になっていること
- ・[速度] が「6 ~ 54Mbps」になっていること



3
WARPSTARを
設定する

サテライトマネージャで確認する
サテライトマネージャを起動すると、親機と子機の通信状態を確認することができます。

1 タスクトレイの [サテライトマネージャ] アイコンを右クリックする



2 [状態] をクリックする
親機と子機の通信状態が表示されます。

-  子機が正しく接続されていません。
-  親機が見つかりません。
-  親機が正しく検出できていません。

3 通信状態を確認し、[閉じる] をクリックする



無線の通信状態が「良好」となることを確認してください。「良好」と表示されないときは、「良好」と表示される位置までパソコンを移動してください。



お知らせ

本商品は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。(「6-1 セキュリティ対策をする」P6-1)

❗ Windows® 98SEでWL54ACをご利用になるには

らくらくアシスタントでのドライバのインストールをする前にマイクロソフト社のホームページからWindows Management Instrumentation (WMI) をダウンロードする必要があります。インターネット接続ができる環境が必要です。本商品に添付のCD-ROM (ユーティリティ集) が必要です。

WMIが既にインストールされているかどうかは、次の方法で確認できます。

Windows® がインストールされているドライブの [Windows] - [system] - [wbem] フォルダに [wbem comn.dll] というファイルがある場合は、WMIが既にインストールされていますので以下の手順は必要ありません。

Windows® 98SE を起動する

マイクロソフト社のホームページ (URL <http://www.microsoft.com/japan/default.asp> 2002年7月現在) を表示する

ホームページの右側にある「製品情報」のメニューから [ダウンロード] をクリックする

ダウンロードセンターのホームページが表示されます。

「ダウンロード検索」で下記のように選択および入力し、[検索] をクリックする

- 次の条件で検索 : [キーワード] を選択する
- キーワード : [Management] を入力する
- オペレーティングシステム : [Windows 98] を選択する
- リリース : すべてを選択する

ダウンロードの検索

次の条件で検索 製品 カテゴリ キーワード ダウンロードセンターの使い方

キーワード
Management

オペレーティングシステム リリース
Windows 98 すべて

上方法 タイトル 日付

Microsoft U.S. ダウンロードセンターも検索する (検索結果は で表示)

日付	タイトル	バージョン	サイズ/時間 (@ 28.8)
----	------	-------	------------------

ダウンロード検索の結果が下に表示されます。

タイトル欄に表示された [Windows Management Instrumentation (WMI) SDK 1.5 (Windows 95/98/NT 4.0)] をクリックする

ダウンロード画面が表示されます。

ダウンロード画面をよく読んで [今すぐダウンロードする] の [wmicore.EXE-6,695 Kb] をクリックする

画面の指示に従ってインストールします。

お願い

Windows Management Instrumentation (WMI) のインストールについては、マイクロソフト社にお問い合わせください。

3

W
A
R
P
S
T
A
R
を
設
定
す
る

3-3 Step2 接続回線とWARPSTARベース(親機)の動作モードを設定する

接続回線にあわせて本商品の動作モードを設定します。

ADSL 回線に接続する場合

接続する ADSL モデムの種類によって設定が異なります。

外付け ADSL モデム (PPPoE 利用ブリッジタイプ) を利用する (●P3-29)

外付け ADSL モデム (ルータタイプ) を利用する (●P3-32)

接続事業者 (例)	本商品の動作モード
NTT 東日本 西日本 フレッツ・ADSL	PPPoE モード
イー・アクセス	ローカルルータモード または HUB モード
アッカ・ネットワークス	ローカルルータモード または HUB モード
Yahoo BB !	ローカルルータモード

「イー・アクセス」や「アッカ・ネットワークス」に接続する場合で ADSL モデムのルータ機能を利用する場合は、HUB モードでご使用いただけます。(●P6-21)
また、ADSL モデムをブリッジとして使用する場合は、本商品の動作モードは「PPPoE モード」に設定してご利用ください。

CATV 回線に接続する

CATV ケーブルモデム接続を設定する (●P3-35)

FTTH ・光ファイバに接続する

FTTH ・光ファイバ接続を設定する (●P3-37)

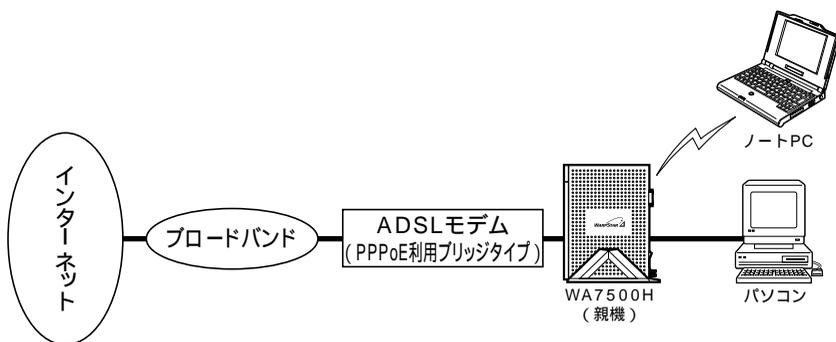
接続事業者 (例)	本商品の動作モード
NTT 東日本 / 西日本 B フレッツ	PPPoE モード
東京電力 TEPCO ひかり	
ケイ・オブティコム eo ホームファイバー	
IP 接続で接続する事業者の場合	
	ローカルルータモード

既存のネットワークに本商品を接続する

既存のネットワークに本商品を追加するための設定をする (●P3-39)

外付けADSLモデム（PPPoE利用ブリッジタイプ）接続を設定する

ここではフレッツ・ADSLなどPPPoEに対応したADSLモデムに接続してインターネット接続する場合を説明しています。



3

WARPSTARを
設定する

お知らせ

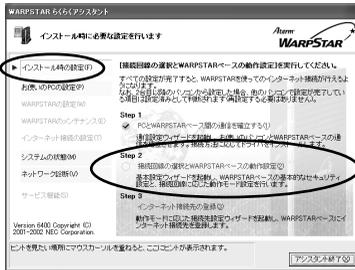
パソコンにADSLモデムに添付されていたPPPoE接続専用ソフトを入れたまま使用していたり、Windows® XPのPPPoE機能を使用している場合、ADSLサービスによっては、パソコンを1台しかインターネットに接続できません。

複数のパソコンを同時に接続できるADSLサービスを契約せずに、同時に2台以上接続したい場合は、ADSLモデム用のPPPoE接続専用ソフトウェアやWindows® XPのPPPoE機能の使用は止めて、再度、本商品のユーティリティで設定し直してください。ダイヤルアップを併用してTAを利用する場合、回線干渉の問題があり、ADSLの通信速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

1

[Step2 接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定] をクリックする

らくらくアシスタントの [インストール時の設定] から選択します。



2

[次へ] をクリックする

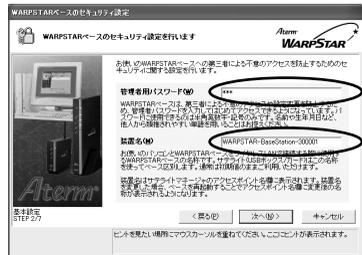


3

セキュリティの設定を入力する

[管理者用パスワード] に親機の設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

[装置名] には、親機の名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままかまいません。



管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えてください。

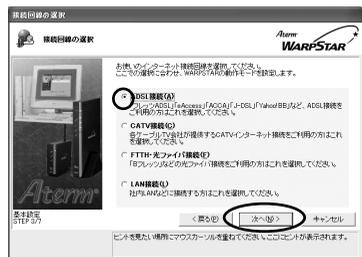
管理者用パスワード

4

[次へ] をクリックする

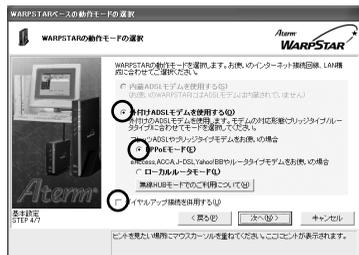
5

[ADSL 接続] を選択し、[次へ] をクリックする



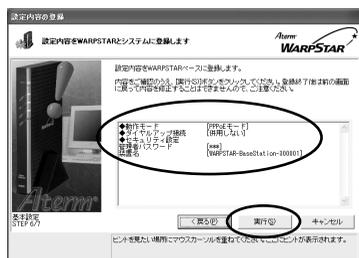
6 [外付けADSLモデムを使用する]と[PPPoEモード]を選択する

ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、[ダイヤルアップ接続を併用する]にします。
(●P6-25)



7 [次へ]をクリックする

8 設定内容を確認し、[実行]をクリックする
設定内容を親機に登録します。

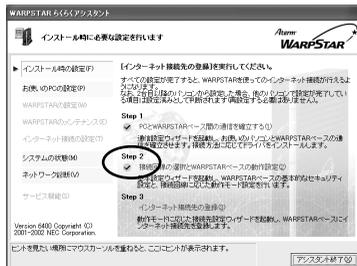


パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して[OK]をクリックします。

9 [設定終了]をクリックする



10 しばらくアシスタント画面に戻り、Step2にマークがつくことを確認する



3 WARPSTARを
設定する

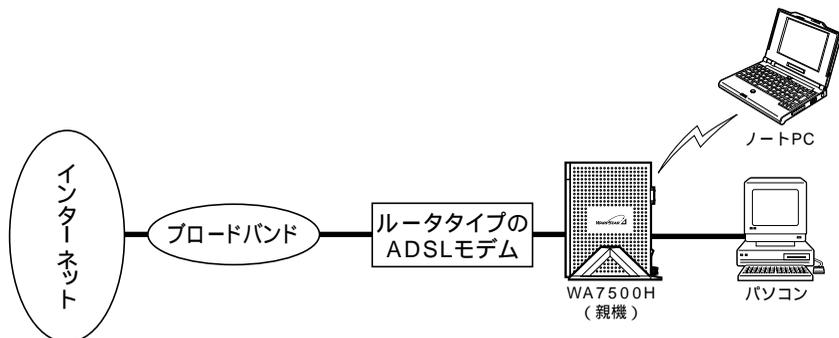
➡ 「3-4 Step3 インターネット接続先の登録」の「PPPoEモードの場合」(●P3-42)に進みます。

🔊 お知らせ

管理者パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。(●P7-26)

外付け ADSL モデム（ルータタイプ）接続を設定する

ここではルータタイプおよび PPPoE 利用以外のブリッジタイプの ADSL モデムに接続してローカルルータモードでインターネット接続する場合を説明しています。



お知らせ

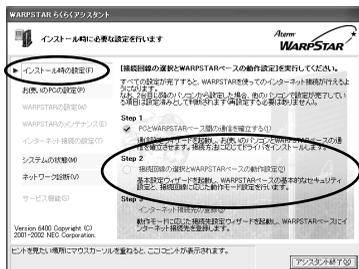
外付けルータタイプのモデムと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて使用する HUB（無線 HUB）モードをご利用ください。（☛ P6-21）

- ・ ADSL モデムと本商品の IP アドレスが競合していて、本商品と接続できないとき
- ・ 本商品の持つルータ機能を使用しないとき
- ・ ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

ダイヤルアップを併用して TA を利用する場合、回線干渉の問題があり、ADSL の通信速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

1 [Step2 接続回線の選択と WARPSTARベースの動作設定] をクリックする

らくらくアシスタントの [インストール時の設定] から選択します。



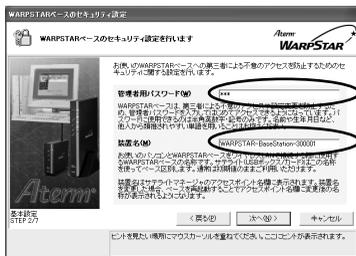
2 [次へ] をクリックする



3 LAN の設定を入力する

[管理者用パスワード] に親機の設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

[装置名] には、親機の名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままかまいません。



管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えてください。

管理者用パスワード

3 WARPSTARを
設定する

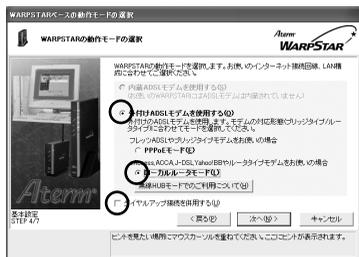
4 [次へ] をクリックする

5 [ADSL 接続] を選択し、[次へ] をクリックする



6 [外付けADSLモデムを使用する]と[ローカルルータモード]を選択する

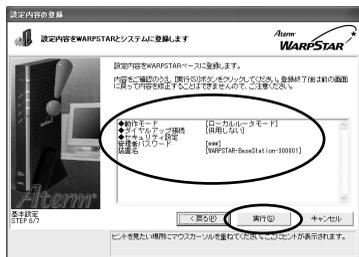
ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、[ダイヤルアップ接続を併用する]にします。(☞P6-25)



7 [次へ]をクリックする

8 設定内容を確認し、[実行]をクリックする

設定内容を親機に登録します。

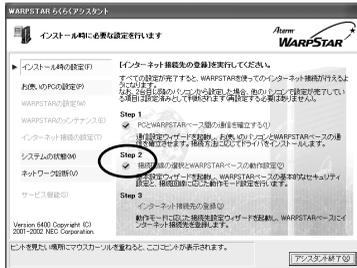


パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して[OK]をクリックします。

9 [設定終了]をクリックする



10 しばらくアシスタント画面に戻り、Step2に✓マークがつくことを確認する



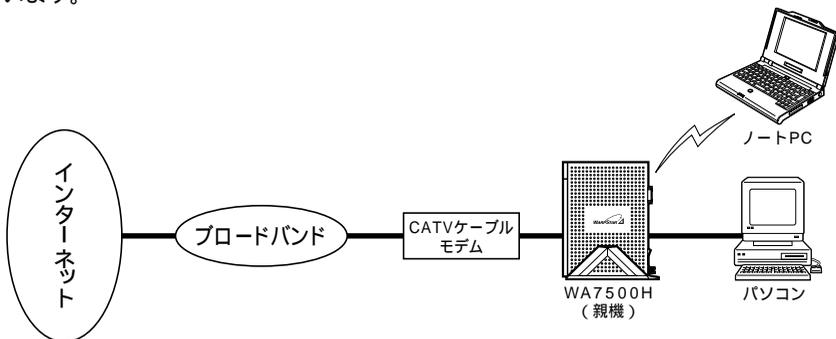
➡ 「3-4 Step3 インターネット接続先の登録」の「ローカルルータモードの場合」(☞P3-44)に進みます。

🔍 お知らせ

管理者パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。(☞P7-26)

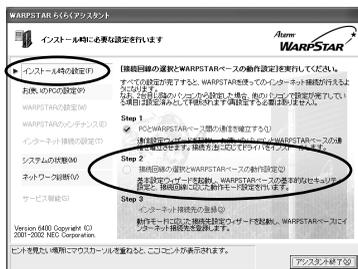
CATV ケーブルモデム接続を設定する

ここでは、CATV ケーブルモデムに接続してインターネットに接続する場合を説明しています。



1 [Step2 接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定] をクリックする

らくらくアシスタントの [インストール時の設定] から選択します。



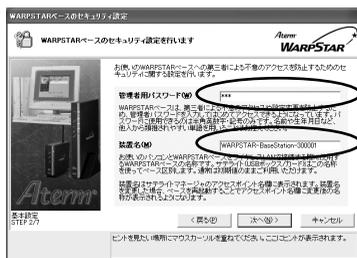
2 [次へ] をクリックする



3 LAN の設定を入力する

[管理者用パスワード] に親機の設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

[装置名] には、親機の名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままかまいません。



管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード

4 [次へ] をクリックする

3
設定する
WARPSTARを

5 [CATV 接続] を選択し、[次へ] をクリックする



6 [ローカルルータモード] を選択する

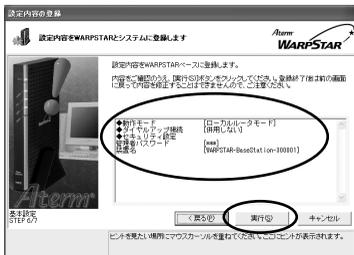
ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、[ダイヤルアップ接続を併用する]にします。(●P6-25)



7 [次へ] をクリックする

8 設定内容を確認し、[実行] をクリックする

設定内容を親機に登録します。

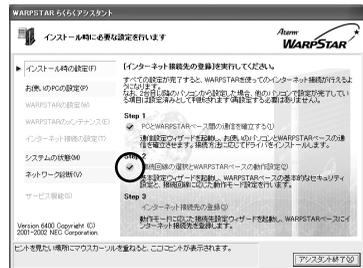


パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して[OK]をクリックします。

9 [設定終了] をクリックする



10 しばらくアシスタント画面に戻り、Step2に✓マークがつくことを確認する



「3-4 Step3 インターネット接続先の登録」の「ローカルルータモードの場合」(●P3-44)に進みます。

お知らせ

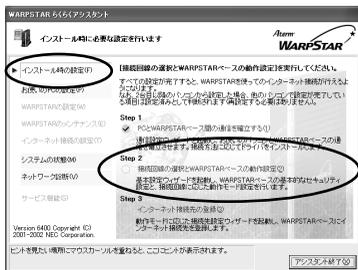
管理者パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。(●P7-26)

FTTH・光ファイバ接続を設定する

ここではBフレッツなどのFTTH・光ファイバに接続する場合を説明しています。

1 [Step2 接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定] をクリックする

らくらくアシスタントの [インストール時の設定] から選択します。



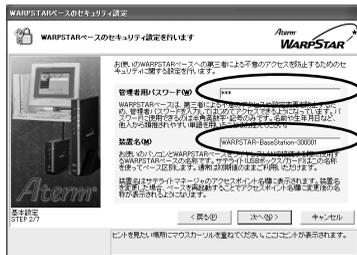
2 [次へ] をクリックする



3 LAN の設定を入力する

[管理者用パスワード] に親機の設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 64 文字まで入力できます。

[装置名] には、親機の名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままかまいません。



管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード

4 [次へ] をクリックする

(次ページに続く)

3 WARPSTARを
設定する

お知らせ

管理者用パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。(P7-26)

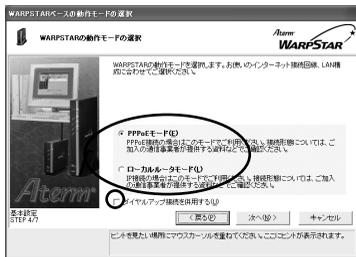
5

[FTTH・光ファイバ接続] を選択し、[次へ] をクリックする



6

[PPPoE モード] または [ローカルルータモード] を選択するダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、[ダイヤルアップ接続を併用する] に します。(●P6-25)



どちらを選択するかは接続事業者に確認してください。

Bフレッツの場合は PPPoE モードを選択します。

7

[次へ] をクリックする

8

設定内容を確認し、[実行] をクリックする

設定内容を親機に登録します。



手順 6 で選択したモードにあわせて「3-4 Step3 インターネット接続先の登録」の「PPPoE モードの場合」(●P3-42) または「ローカルルータモードの場合」(●P3-44) に進みます。

9

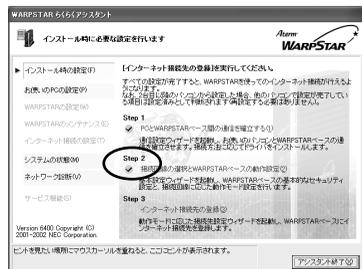
[設定終了] をクリックする



パスワード入力の画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して [OK] をクリックします。

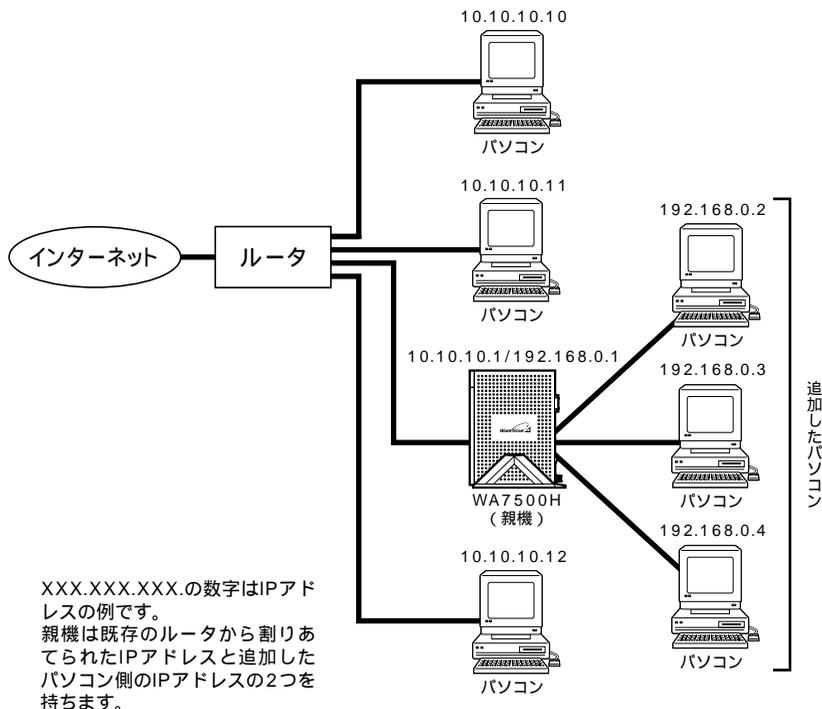
10

らくらくアシスタント画面に戻り、Step2 に マークがつくことを確認する



既存のネットワークに本商品を追加するための設定をする

ここでは、既にあるネットワークにに次のような構成で本商品を接続する場合を説明しています。



お願い

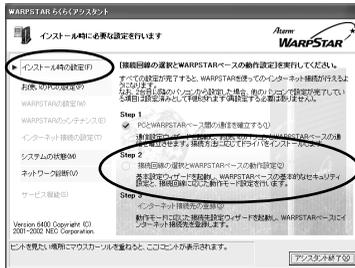
既存のルータのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合、（パソコンで192.168.0.2～254のIPアドレスを使う場合は、本商品のIPアドレスを変更する必要があります。（P3-47）

既存のルータの機能をそのままご使用になる場合は、アクセスポイントとしてHUB（無線HUB）モードに設定してご使用ください。

1

[Step2 接続回線の選択と WARPSTAR ベースの動作設定] をクリックする

らくらくアシスタントの [インストール時の設定] から選択します。



2

[次へ] をクリックする

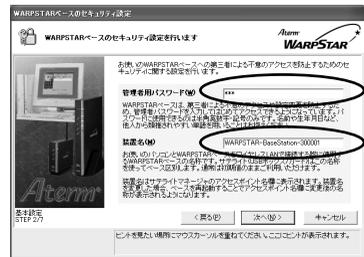


3

LAN の設定を入力する

[管理者用パスワード] に親機の設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字 6 4 文字まで入力できます。

[装置名] には、親機の名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままかまいません。



管理者用パスワードは、親機を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード

4

[次へ] をクリックする

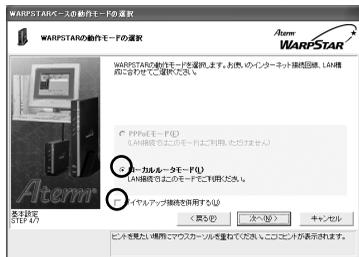
5

[LAN 接続] を選択し、[次へ] をクリックする



6 [ローカルルータモード] を選択する

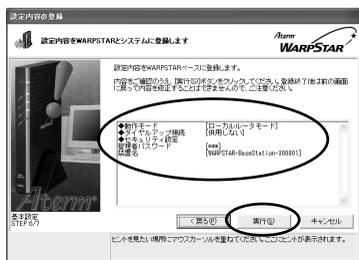
ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、[ダイヤルアップ接続を併用する]にします。(☛P6-25)



7 [次へ] をクリックする

8 設定内容を確認し、[実行] をクリックする

設定内容を親機に登録します。

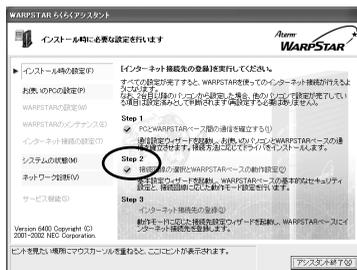


パスワード入力が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して[OK]をクリックします。

9 [設定終了] をクリックする



10 徐々にアシスタント画面に戻り、Step2にマークがつくことを確認する



3 WARPSTARを
設定する



「3-4 Step3 インターネット接続先の登録」の「ローカルルータモードの場合」(☛P3-44)に進みます。



お知らせ

管理者用パスワードを忘れた場合は、ディップスイッチを使って親機の設定を初期化してください。(☛P7-26)

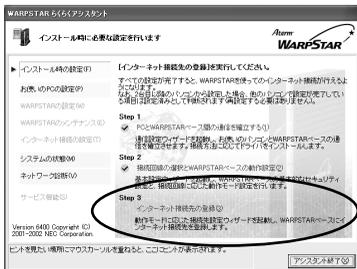
3-4 Step3 インターネット接 続先の登録

接続回線にあわせてインターネット接続先の登録を行います。

- 外付け ADSL モデム (PPPoE ブリッジタイプ) に接続 PPPoE モード (☛ 下記)
- 外付け ADSL モデム (ルータタイプ) に接続 ローカルルータモード (☛ P3-44)
- CATV 接続 ローカルルータモード (☛ P3-44)
- FTTH・光ファイバ接続 PPPoE モード (☛ 下記)
- ローカルルータモード (☛ P3-44)
- 既存のネットワークに本商品を追加する ローカルルータモード (☛ P3-44)

PPPoE モードの場合

1 [Step3 インターネット接続
先の登録] をクリックする
ららくらくアシスタントの [インスト
ール時の設定] から選択します。

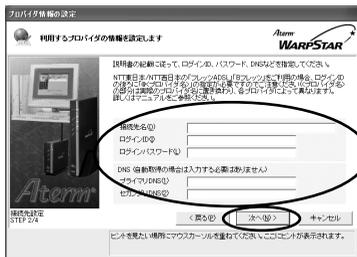


2 [次へ] をクリックする



3 プロバイダに接続するための情
報を入力し、[次へ] をクリック
する

[接続先名] にプロバイダの名称な
ど接続先としてわかる名称を入力
します。好きな名称で構いません。
接続事業者 / プロバイダからの情
報に従って「ログインID」(接続
ユーザー名) (例 : XXXXX@
biglobe.ne.jp など) と「パスワ
ード」を入力します。
[プライマリ DNS] [セカンダリ
DNS] を半角英数字で入力します。

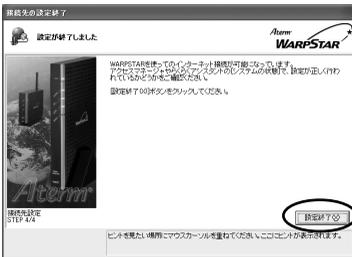


4 設定内容を確認し、[実行]をクリックする



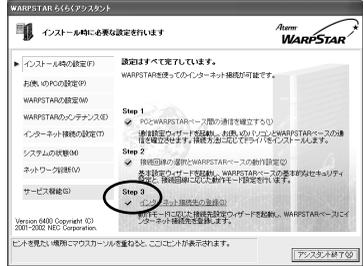
親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

5 [設定終了]をクリックする
らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。



登録したインターネット接続先の設定を変更したい場合はアクセスマネージャで変更します。(P3-48)

6 らくらくアシスタント画面に戻り、Step3に✓マークがつくことを確認する



7 [アシスタント終了]をクリックし、らくらくアシスタントを終了する



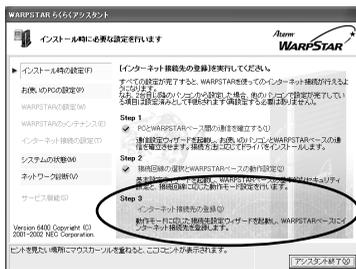
「4章 アクセスマネージャでインターネットに接続する」(P4-1)に進みます。

3

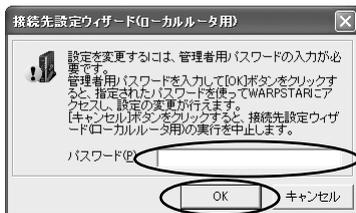
WARPSTARを
設定する

ローカルルータモードの場合

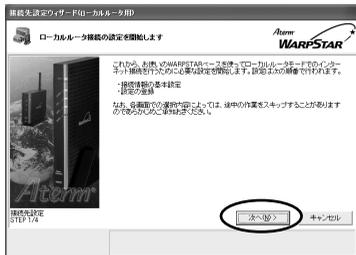
- 1 [Step3 インターネット接続先の登録]をクリックする
ららくアシスタントの[インストール時の設定]から選択します。



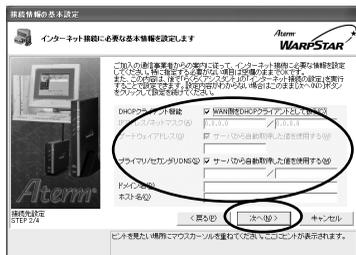
- 2 設定した管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックする



- 3 [次へ]をクリックする



- 4 ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定を入力し、[次へ]をクリックする
ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。通常は何も設定する必要はありません。



DHCPクライアント機能：

本商品のWAN側をブロードバンド通信網のDHCPクライアントとして利用する場合は[WAN側をDHCPクライアントとして扱う]にします。本商品のWAN側に固定のIPアドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IPアドレス/ネットマスク：

WAN側に固定IPアドレスを使用する場合は、親機のWAN側のIPアドレス、ネットマスクを設定します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：

親機のWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままかまいません。

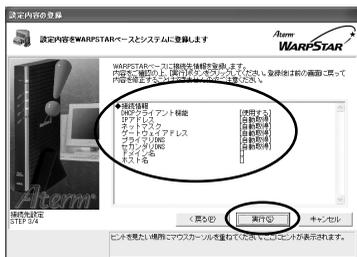
プライマリ/セカンダリDNS：

親機のWAN側のDNSサーバアドレスを設定します。

ドメイン名/ホスト名:

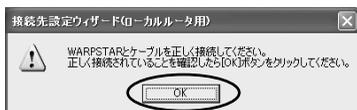
親機のWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままでもかまいません。

5 設定内容を確認し、[実行]をクリックする



親機の設定が自動的に行われ、親機が再起動します。

6 親機とブロードバンドモデムの接続が正しく行われたことを確認し、[OK]をクリックする



お知らせ

ブロードバンドモデム(ADSLモデム/CATVモデム)と親機を並べて設置する場合は、添付のクロス変換アダプタ/ケーブルを使用すると便利です。

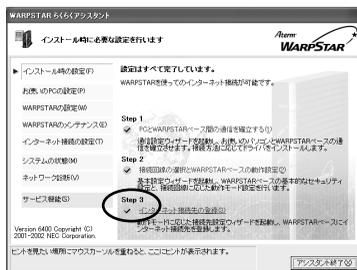
7 WAN側IPアドレスの欄にIPアドレスが表示されていることを確認する



WAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデム(ADSLモデム/CATVモデム)のIPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていることが考えられます。この場合は、「❗ブロードバンドモデムのIPアドレスと親機のIPアドレスが同じときは」(▶P3-47)を参照してください。それでもWAN側IPアドレスが表示されない場合は「❓WAN側IPアドレスが正しく設定されていない場合」(▶P3-47)をご覧ください。

8 [設定終了]をクリックする

9 らくらくアシスタント画面に戻り、Step3に☑マークがつくことを確認する



3 WARPSTARを
設定する

10 [アシスタント終了]をクリックし、らくらくアシスタントを終了する



「4章 アクセスマネージャでインターネットに接続する」(●P4-1)に進みま
す。



登録したインターネット接続先の設定を変更したい場合は、アクセスマネージャで
変更します。(●P3-48)



お知らせ

ルータタイプのADSLモデムなどで、WWWブラウザを使ってインターネット接続のための設定が必要な場合は、アクセスマネージャを使ってインターネット接続状態(●P4-1)にしてから、ブロードバンド(ADSL / CATV)モデムの取扱説明書に従って設定してください。

設定後、一時的にWAN側IPアドレスが取れなくなって切断される場合があります。アクセスマネージャの[状態]メニューから[IP再取得]を行ってIPアドレスを取り直してください。

② WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合

WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。らくらくアシスタントの [ネットワーク診断] をクリックし、[インターネット接続 (PC インターネット) の診断] をクリックします。

[IP アドレス情報 (WAN)] タブで IP アドレスが表示されているか確認してください (アクセスマネージャのメニュー [状態] で [ローカルルータ接続] タブをクリックし、[詳細] をクリックしても表示できます) [再取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデム (ADSL モデム / CATV モデム) がエラー表示していないか、または親機の背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。(P1-9、2-5)

IP アドレスがとれているとき

IP アドレスがとれていないとき



① ブロードバンドモデムの IP アドレスと親機の IP アドレスが同じときは

次の手順で親機の IP アドレスを変更してください。

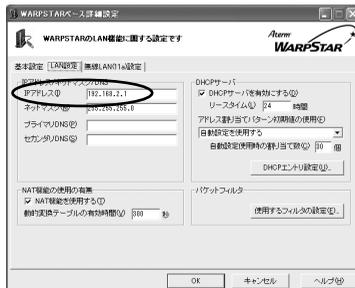
らくらくアシスタントを起動します。

[WARPSTAR の設定] - [WARPSTAR ベースの詳細設定] の順にクリックします。

[管理者パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。

[LAN 側設定] タブをクリックします。

[IP アドレス] 欄で「192.168.2.1」など IP アドレスの下から 2 桁目を変更します。



[OK] をクリックします。

[OK] をクリックします。

3

WARPSTARを
設定する

! 登録したインターネット接続先の設定確認 / 変更

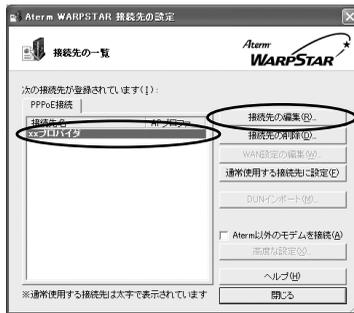
登録したインターネット接続先の設定の確認 / 変更は、アクセスマネージャで行います。

アクセスマネージャアイコンを右クリックします。

Windows® の場合 [その他のツール] [接続先の設定] を選択します。

Macintosh の場合 [接続先の設定] を選択します。

設定した接続先の名称を選択し、[接続先の編集] をクリックします。



接続先設定の確認 / 変更を行います。



設定を変更した場合は [上書き登録] をクリックします。

4-1 インターネットに接続する

アクセスマネージャで、らくらくアシスタントで設定したインターネット接続先に接続します。アクセスマネージャでのインターネット接続は次の点が便利です。

- ・フレッツ・ADSLなど、複数のプロバイダの利用を切り替えて使用できます。
- ・ブロードバンドとダイヤルアップを切り替えて使用するマルチライン機能が利用できます。
- ・利用するアプリケーションごとにポートを指定するアプリケーションプロファイリング機能をご利用になれます。
- ・アクセスマネージャを常駐させることで、インターネットからの接続、切断をコントロールできるのでセキュリティ面でも安心です。

Windows® の場合

1 タスクトレイの[アクセスマネージャ]アイコンを右クリックする



2 メニューから[ローカルルータへ接続]または[ダイヤルアップ接続][PPPoE接続]をクリックする

ここではPPPoEモードの場合を例に説明します。[ローカルルータへ接続]または[ダイヤルアップ接続]の場合も手順は同じです。

3 [接続]をクリックする



インターネット接続が開始されます。接続が完了すると[アクセスマネージャ]アイコンの表示が次のように変わります。

ブロードバンド
接続中ダイヤルアップ
接続中

4 WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを利用することができます。本商品には、インターネットアプリケーションは添付していません。Windows®に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

「! ページが見つかりません」と表示されたときは(●P4-4)

5 切断するときは、タスクトレイの[アクセスマネージャ]アイコンを右クリックする

6 [切断]をクリックする



タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンが下記の状態の間は、接続したままの状態が続いています(WWWブラウザなどのアプリケーションを終了しても自動的に切断されません)。セキュリティの向上のためインターネットを使用していないときは、アイコンを右クリックして[切断]をクリックして忘れずに切断してください。



アクセスマネージャのアイコン表示について(●P4-5)



お知らせ

本商品には、インターネット接続で一定時間アクセスがないと接続を切断する機能があります（無通信監視タイマ）。設定を変更するには、添付のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」（HTML ファイル）を参照してください。

クイック設定 Web の「基本設定」で「アクセスマネージャ接続に対する相乗り」を「する」に設定したときに、クイック設定 Web で自動接続中にアクセスマネージャで後から相乗りした場合は、NAT テーブルなどの設定により正常にアプリケーションが動作しないことがあります。

アクセスマネージャでの接続のみをご利用の場合は、クイック設定 Web の「基本設定」で「自動接続」を「しない」に設定してください。初期値は「する」になっています。

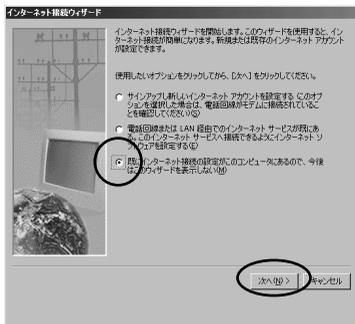
Windows® 98 をご使用の場合でデスクトップに WWW ブラウザソフト（Internet Explorer）アイコンがないときは、以下の手順で [Internet Explorer] アイコンを作成します。

デスクトップの [インターネットに接続] アイコンをダブルクリックします。

[インターネット接続ウィザード] 画面になります。



[既にインターネット接続の設定が・・・表示しない] を選択し、[次へ] をクリックします。



[インターネット接続ウィザード] を終了します。

デスクトップに [Internet Explorer] と [Outlook Express] のアイコンが表示されます。



お願い

接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。

Macintosh の場合

- 1 デスクトップに [アクセスマネージャ] アイコンが表示されていないときは、[WARPSTAR プロバンド] フォルダの [WD アクセスマネージャ] アイコンをダブルクリックする
デスクトップに [アクセスマネージャ] アイコンが表示されます。



- 2 アプリケーションメニューから [WARPSTAR アクセスマネージャ] を選択し、メニューバーの [ファイル] から [ローカルルータ接続] または [ダイアルアップ接続]、[PPPoE 接続] を選択する

[Aterm WARPSTAR アクセスマネージャ] 画面が表示されます。
表示される画面は、本商品の動作モードによって異なります。

- 3 [接続先] から接続先を選択する



- 4 [接続] をクリックする
インターネット接続が始まります。
接続が完了すると [アクセスマネージャ] アイコンの表示が次のように変わります。

プロバンド ダイアルアップ
接続中 接続中



- 5 WWW ブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、WWW ブラウザや電子メールなどのインターネットアプリケーションを利用することができます。

本商品には、アプリケーションは添付されていません。Mac OS に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

「! ページが見つかりません」と表示されたときは (P4-4)

4

アクセスマネージャで
インターネットに接続する

6 切断するときは、デスクトップの [アクセスマネージャ] アイコンをダブルクリックする

[Aterm WARPSTAR アクセスマネージャ] 画面が表示されます。

[アクセスマネージャ] アイコンがデスクトップにないときは、アプリケーションメニューから [WARPSTAR アクセスマネージャ] を選択し、メニューバーの [ファイル] から [状態] を選択してください。

7 切断する接続のタブをクリックし、[切断] をクリックする

お願い

インターネットに接続した直後、「! ページが見つかりません」と表示されることがあります。これは、WWW ブラウザ起動後、アクセスマネージャが起動されるまでの時間が長かったときにホストからのパケット応答が遅れタイムアウトするためです。アプリケーションプロファイリングやマルチラインをご利用にならない場合は、タイムアウトにならないクイック設定 Web で設定した自動接続での使用をお勧めします。(P5-1)

先に WWW ブラウザの起動を行う場合は、アクセスマネージャを自動接続にしてアクセスマネージャの起動時間を短縮すると改善されることがあります。 WWW ブラウザの [再読み込み] をクリックしてください。 あらかじめタスクトレイのアクセスマネージャのアイコンをダブルクリックし、事前に接続してから WWW ブラウザの起動を行ってください。

2 台目以降のパソコンから接続する

1 台目のパソコンでインターネット接続中に、別のパソコンから同じ接続方法でインターネット接続を追加することができます。

1 [スタート] - [プログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [アクセスマネージャ] を選択し、アクセスマネージャを起動する

2 [アクセスマネージャ] アイコンを右クリックし、接続方法を選択する

3 [接続] をクリックする

- ・ローカルルータへ接続中に、ローカルルータに接続を選択する場合
 - ・PPPoE 接続中に PPPoE 接続を選択する場合
- 現在の接続を共有できます。



接続状態を確認する

インターネットへの接続 / 切断の操作や回線状態の表示はタスクトレイの「アクセスマネージャ」で行います。

「アクセスマネージャ」のアイコン表示

	状態
	親機との通信が可能でインターネット接続されていない状態
	ダイヤルアップ接続でインターネットと接続中
	ブロードバンドでインターネットと接続中
	親機との通信ができない状態 (この状態のときはインターネットに接続できません。)
	クイック設定 Web で設定した接続先に自動接続中 (他のパソコンから自動接続中の場合もこのアイコンが表示されます。)

表示アイコンは、使用するユーティリティのバージョンにより変更となる場合があります。

アクセスマネージャの使いかた

Windows® の場合

タスクトレイの [アクセスマネージャ] アイコンを右クリックする
ポップアップメニューから、行いたい操作を選択する (表示される項目はモードにより異なります)

Macintosh の場合

アプリケーションメニューから [WD アクセスマネージャ] を選択する
メニューバーの [ファイル] から、行いたい操作を選択する

- ・ 状態 (接続状態を確認できます)
- ・ PPPoE 接続 (手動でインターネットへ PPPoE 接続を行います)
- ・ ローカルルータへ接続 (手動でローカルルータモードでインターネットへの接続を行います)
- ・ ダイヤルアップ接続 (手動でインターネットにダイヤルアップ接続します)
- ・ 切断 (手動で切断を行います)
- ・ オプションの設定 (オプションの設定画面を表示します)
- ・ 接続先の編集と AP プロファイル編集 (接続先の設定画面を表示します)
- ・ ログの表示 (親機の通信ログを表示します)
- ・ らくらくアシスタント (らくらくアシスタントを起動します)
- ・ Windows® 起動時に自動起動する (アクセスマネージャを Windows® 起動時に自動起動するよう登録または解除します)
- ・ ヘルプ (ヘルプを起動します)
- ・ 終了 (アクセスマネージャを終了します)

4-2 インターネットを切断する

アクセスマネージャで切断する

Windows® の場合

- 1 インターネット接続中に、タスクトレイの [アクセスマネージャ] アイコンを右クリックする



- 2 [切断] をクリックする

Macintosh の場合

- 1 インターネット接続中に、デスクトップの [アクセスマネージャ] アイコンをダブルクリックする

[Aterm WARPSTAR アクセスマネージャ] 画面が表示されます。

[アクセスマネージャ] アイコンがデスクトップにないときは、アプリケーションメニューから [WD アクセスマネージャ] を選択し、メニューバーの [ファイル] から [状態] を選択してください。

- 2 切断する接続のタブをクリックし、[切断] をクリックする

DISC スイッチで回線を切断する

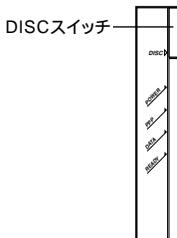
親機前面の DISC スイッチを使ってインターネット接続を切断し、CATV/ADSL 網などの WAN 側との接続を不可にすることができます。

アクセスマネージャを使用せずに回線に接続している場合でも、アクセスマネージャなしで、回線を切断できます。

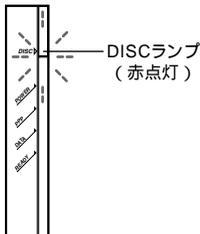
すべてのパソコンからの接続が切断されますのでご注意ください。

回線を切断する

- 1 インターネット接続中に、5 秒以上前面の DISC スイッチを押し続ける
インターネット接続中は DISC ランプが緑点灯しています。

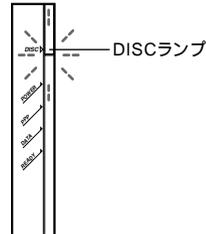


- 2 インターネットが切断される
(2 回ピッピッと鳴ります。)
DISC ランプが赤点灯します。



通常状態に戻すには

- 1 DISC ランプが赤点灯している状態で、DISC スイッチを 1 秒間押す
(ピーと鳴ります。)
DISC ランプが緑点灯し、通常状態に戻ります。



4

アクセスマネージャで
インターネットに接続する



お知らせ

DISC ランプが赤点灯しているときはインターネットに接続できません (アクセスマネージャで接続しようとすると、エラー 103 が表示されます)。

応用編

本商品をさらに使いこなそう

WWW ブラウザ (Internet Explorer 等) を使って本商品の設定を行います。

ETHERNET ポート以外のポートにパソコンを接続する場合は、らくらくアシスタントでドライバのインストールを行った後でクイック設定 Web を利用してください。

5 章 クイック設定 Web を使った設定のしかた ... 5-1

- 5-1 クイック設定 Web セットアップの流れ ... 5-1
- 5-2 本商品の設定をする 5-2
- 5-3 インターネットの接続設定をする 5-4
- 5-4 インターネットに接続する 5-7

6 章 WARPSTAR を活用しよう 6-1

- 6-1 セキュリティ対策をする 6-1
- 6-2 子機の通信の設定をする
(サテライトマネージャの使い方) 6-11
- 6-3 ネットワーク対応アプリケーション
(ネットワークゲームなど) を利用する ... 6-15
- 6-4 HUB として使う 6-21
- 6-5 ダイアルアップ接続・マルチライン接続
を利用する 6-25
- 6-6 TV 電話をする (Windows Messenger
を利用する) 6-35
- 6-7 親機をバージョンアップする 6-36
- 6-8 子機を増設する 6-42

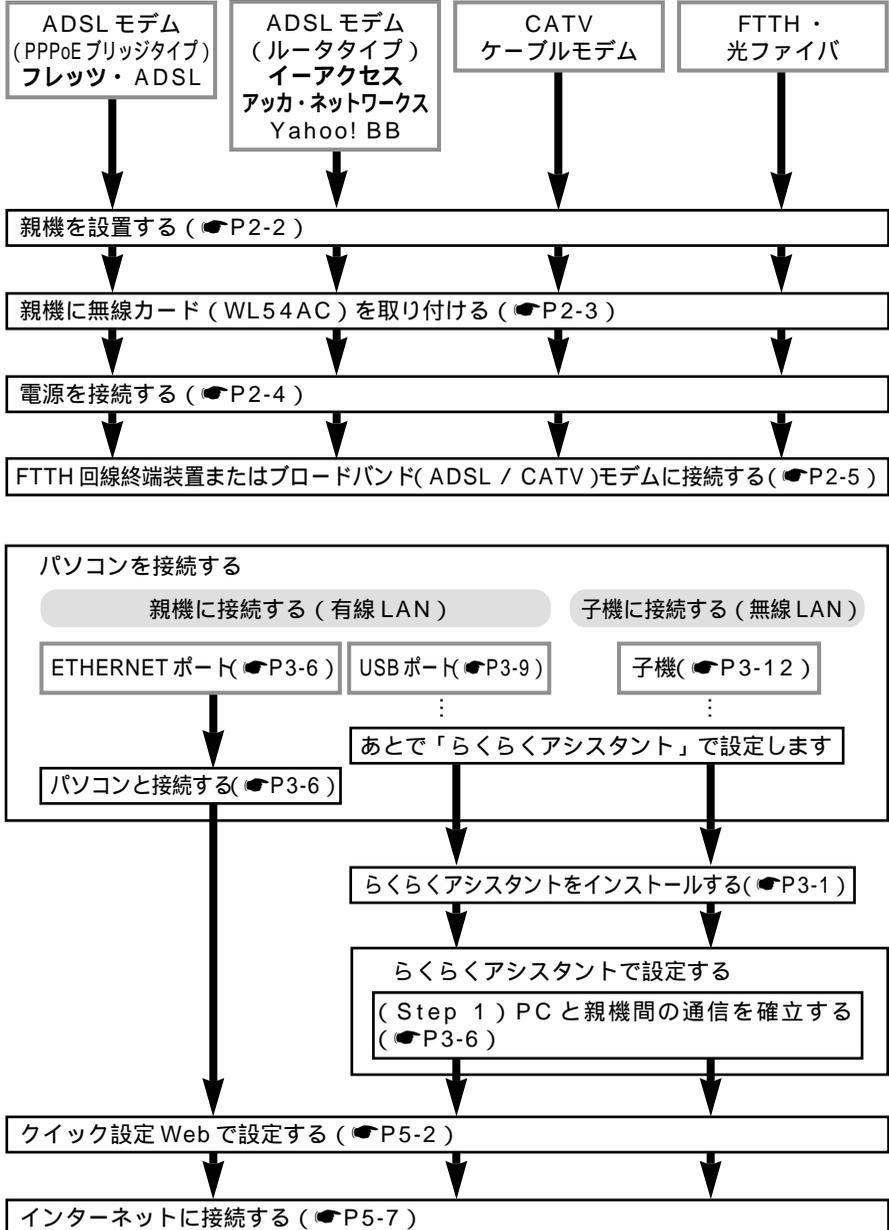
5

6

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

5-1 クイック設定 Web セットアップの流れ

クイック設定 Web でインターネットに接続するときの基本的な流れを示します。本商品の接続回線や LAN の構成によって手順が異なりますので本文の手順に従って接続設定を行ってください。



5-2 本商品の設定をする

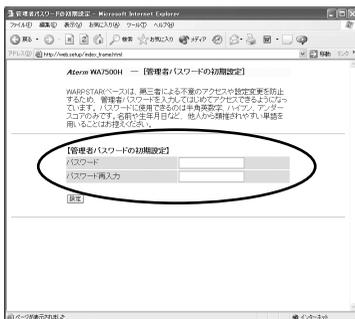
親機の ETHERNET ポートに接続している場合、またはらくらくアシスタントで Step1 が終わっている場合は、Internet Explorer や Netscape Navigator などの WWW ブラウザを使って本商品の基本的な設定をすることができます。

1 パソコンなどを起動する

2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く
親機の IP アドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：http://192.168.0.1/



3 管理者用パスワードの初期設定を行う
画面に従ってパスワードを設定してください。



4 [設定] をクリックする

5 ユーザ名とパスワードを入力する
ユーザ名には「admin」と入力し、パスワードには手順 3 で設定した管理者用パスワードを入力してください。
らくらくアシスタントですでに管理者パスワードを入力しているときは管理者パスワードを入力します。

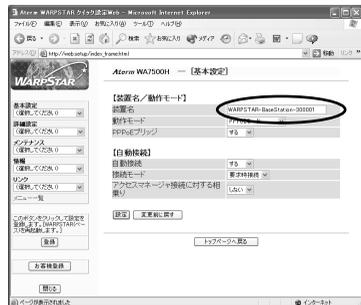


ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

6 [OK] をクリックする

7 [基本設定] の [▼] をクリックし、[基本設定] を選択する

8 [装置名] に親機の名称を入力する
通常はお買い上げ時の設定のままかまいません。



- 9** [動作モード]を設定する
接続している回線に合わせて親機の動作モードを設定します。

回線の種類	動作モード	
ADSL モデムに接続	フレッツ・ADSL など PPPoE に対応の ADSL モデムに接続する場合	[PPPoE モード]
	Yahoo! BB に接続する場合やルータータイプ ADSL モデムに接続する場合	[ローカルルータモード]
CATV ケーブルモデム	[ローカルルータモード]	
FTTH・光ファイバなど	B フレッツなど PPPoE 接続	[PPPoE モード]
	IP 接続	[ローカルルータモード]
既存の LAN	[ローカルルータモード]	

- 10** インターネットへの自動接続を行うかどうかの設定をする
通常 [する] を選択してください。
[しない] を選択すると、アクセスマネージャでのみ接続できるようになります。

- 11** 入力が完了したら、[設定] をクリックする



手順 9 で設定した動作モードに合わせて「5-3 インターネットの接続設定をする」(P5-4)に進みます。

お願い

クイック設定 Web の設定は、[登録] をクリックして親機を再起動してからでないと有効になりません。次ページのインターネット接続設定が完了してから [登録] をクリックしましょう。

5

クイック設定 Web を使った設定のしかた



お知らせ

説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。

クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。

PPPoE の外付け ADSL モデムを使用するとき、ADSL モデムに付属のユーティリティではパソコンを 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合は ADSL モデムに付属のユーティリティは使用しないでください。らくらくアシスタントまたはクイック設定 Web で設定をしてください。

5-3 インターネットの接続設定をする

インターネットに接続するための設定を行います。お使いのモードに合わせて設定を行ってください。

- PPPoE モード (● 下記)
- ローカルルータモード (● P5-6)

PPPoE モード接続の場合

ここでは PPPoE で接続する場合を説明します。

- 1 [基本設定] の ▼ をクリックし、[WAN 側自動接続設定] を選択する



- 2 [編集する接続先] の ▼ をクリックして、接続先を選択する

- 3 プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する接続先名:

接続先がわかるようにプロバイダの名称を任意に入力します。

ユーザー名:

接続事業者 / プロバイダの資料に従って「ログインID」(ユーザID) (例: xxxxx@biglobe.ne.jp など) を入力します。

パスワード:

接続事業者 / プロバイダの資料に従ってパスワードを入力します。力してください。

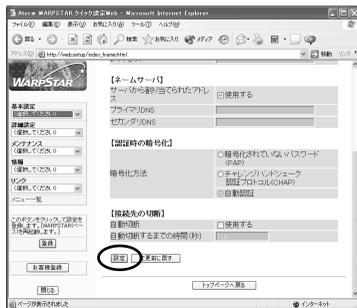
IP アドレス:

通常は [IP アドレスの自動取得] を [使用する] のまま使用します。IP アドレスの自動取得を利用しない場合は、チェックをはずし、IP アドレスを入力してください。

ネームサーバ:

通常は [サーバから割り当てられた IP アドレス] を [使用する] のまま使用します。使用しない場合はチェックをはずし、プライマリ DNS、セカンダリ DNS を入力してください。

- 4 入力が完了したら、[設定] をクリックする



- 5 [基本設定] の ▼ をクリックし、[自動接続先の選択設定] を選択する

6 手順 3 で登録した接続先を選択し、[切替]をクリックする



7 [OK]をクリックする



8 [登録]をクリックする 親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。



「5-4 インターネットに接続する」(P5-7)に進みます。

5

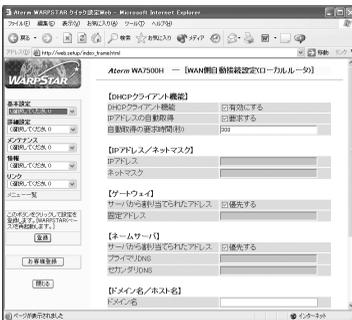
クイック設定Webを使った設定のしかた

ローカルルータモードで接続する場合

ここではローカルルータモードでインターネットに接続する場合の設定方法を説明しています。

1 [基本設定] の ▼ をクリックし、[WAN 側自動接続設定] を選択する

2 プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する



DHCPクライアント機能：

親機のWAN側をブロードバンド通信網のDHCPクライアントとして利用する場合は[DHCPクライアント機能]の[有効にする]をします。親機のWAN側に固定のIPアドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IPアドレス/ネットマスク：

[DHCPクライアント機能]の[有効にする]のをはずした場合で、WAN側に固定IPアドレスを使用する場合(プロバイダまたは接続事業者からIP/ネットマスクを指定されている場合)は、親機のWAN側のIPアドレス、ネットマスクを設定します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は、特に指定する必要はありません。

ゲートウェイアドレス：

プロバイダまたは接続事業者からデフォルトのゲートウェイが指定されている場合は、親機のWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままかまいません。

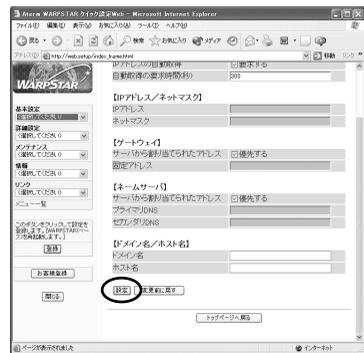
プライマリ/セカンダリDNS：

親機のWAN側のDNSサーバを設定します(DNSサーバが指定されているときに入力します)。

ドメイン名/ホスト名：

親機のWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままかまいません。

3 入力が完了したら、[設定]をクリックする



4 [登録]をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

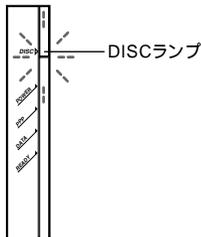


「5-4 インターネットに接続する」(P5-7)に進みます。

5-4 インターネットに接続する

クイック設定 Web で接続設定が完了してから外部のホームページを開いて、インターネットに接続できるか確認してみましょう。

- 1 WWWブラウザを起動する
- 2 外部のホームページを開く
例) ホームページ Aterm Station :
http://121 ware.com/aterm/
- 3 前面 DISC ランプが緑点灯していることで接続を確認する



クイック設定 Web で [現在の状態] をクリックして、接続状態の欄で接続されていることを確認することもできます。
インターネットに接続できないときは(「7-1 トラブルシューティング」参照 P7-1)



お知らせ

パソコンのタスクトレイにアクセスマネージャが常駐している場合は、終了してください。アクセスマネージャがパソコンのタスクトレイに常駐しているとアクセスマネージャの接続 / 切断が優先されるためクイック設定 Web での接続はできません。回線を強制的に切断する場合は、「4-2 インターネットを切断する」の「DISC スイッチで回線を切断する」を参照してください。(参照 P4-7)

相乗りを許可する設定にしたとき、アクセスマネージャで接続中にあとからクイック設定 Web で接続すると、NAT テーブルなどの設定によって正常にアプリケーションが動作しない場合があります。

接続を切り替える

PPPoE モードで接続先を複数登録した場合、接続する接続先を切り替えることができます。

- 1 パソコンを起動する
- 2 ブラウザを起動し、「http://web setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
- 3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 [基本設定] の ▼ をクリックし、[自動接続先の選択設定] を選択する

(次ページに続く) 5-7

5

接続する接続先を選択し、[切替] をクリックする

6

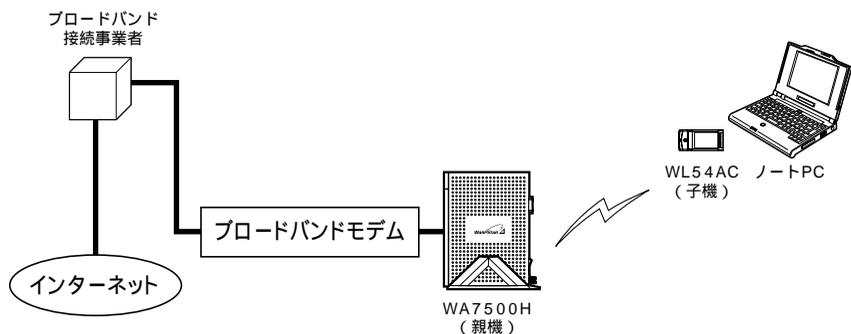
[OK] をクリックする



6-1 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（FTTH/ADSL/CATV 網）からの不正なアクセスを防ぐ WAN 側のセキュリティ機能と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないためのワイヤレス LAN 内ネットワークセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。
ブロードバンド回線側のセキュリティ対策については、機能詳細ガイド（HTML ファイル）を参照してください。



ブロードバンド回線側セキュリティ機能
機能詳細ガイドを参照
してください。

ワイヤレスLAN内ネットワークセキュリティ機能

- ・ WEP 64bit / 128bit / 152bit WEP
- ・ MACアドレスセキュリティ機能
- ・ ESSID（ネットワーク名）

② セキュリティ対策を行うことの重要性について

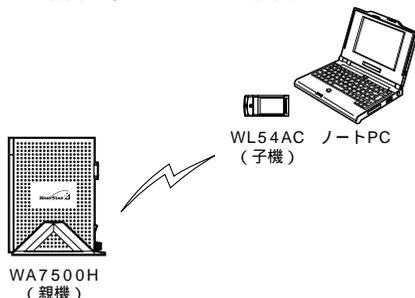
インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のあるものから、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、本商品の設定が改変されたり、パソコンのシステムやデータを破壊されることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。

本商品の機能を利用してセキュリティ設定を行ってください。

また、パソコン側のセキュリティ対策もあわせて行っていただくことをおすすめします。

ワイヤレス LAN ネットワーク内のセキュリティ機能

本商品は、本商品に接続されたパソコンで、ネットワーク内の無線データ通信を行うときに必要なセキュリティ機能として、ネットワーク名 (ESSID) が不明な場合の参照を拒否する機能、WEP (暗号化、データ保護) MAC アドレスセキュリティを搭載しています。子機が複数台ある場合は、それぞれの子機からセキュリティの設定を行う必要があります。



ネットワーク名 (ESSID) が不明な場合の参照を拒否する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (ESSID とも呼びます) を設定します。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名は検索することができますが、ネットワークの参照に回答しないようにすることができます。その場合は、親機側と子機側の設定が必要です。

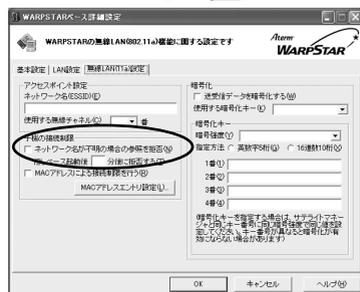
親機に、ネットワーク名が不明な場合の参照を拒否する設定をした場合、子機を接続したパソコンが Windows® XP のときには Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止して、サテライトマネージャでネットワーク名 ESSID を設定してください。(「① Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには」P6-14)

らくらくアシスタントで設定する

親機側の設定を行います。子機側の設定は親機側の設定後、P6-14 を参照して行ってください。

- 1 らくらくアシスタントを起動する
- 2 [WARPSTAR の設定] をクリックし、[WARPSTAR ベースの詳細設定] をクリックする
- 3 管理者パスワードを入力して、[OK] をクリックする
- 4 [無線 LAN 設定] タブをクリックする

- 5 [ネットワーク名が不明な場合の参照を拒否] に する



- 6 [OK] をクリックする

クイック設定 Web で設定する

親機側の設定を行います。子機側の設定は親機側の設定後、P6-14 を参照して行ってください。

1 パソコンを起動する

2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：http://192.168.0.1/

3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする

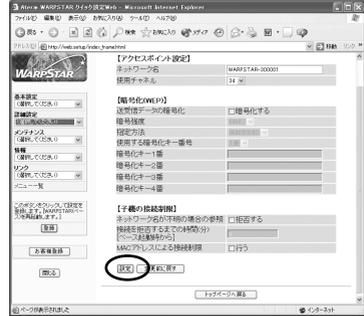
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [詳細設定] の ▼ をクリックし、[無線 LAN 側設定] を選択する

5 [ネットワーク名が不明な場合の参照] を [拒否する] に する



6 [設定] をクリックする



7 [登録] をクリックする

親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

6

WARPSTAR を
活用しよう

WEP / 128bit / 152bitWEP (暗号化、データ保護の設定)

ユーザが指定した任意の文字列 (暗号化キー) を親機と子機に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、親機と子機との間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からのぼう受や盗聴から守ります。

お願い

WEPの設定は必ず親機と子機で同じ設定にしてください。

WEPの設定 (親機)

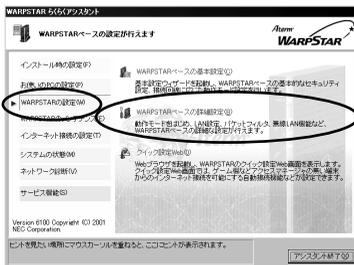
親機のWEPを設定するときは、以下の操作を行います。

親機 子機の順で設定してください。

らくらくアシスタントで設定する

1 らくらくアシスタントを起動する

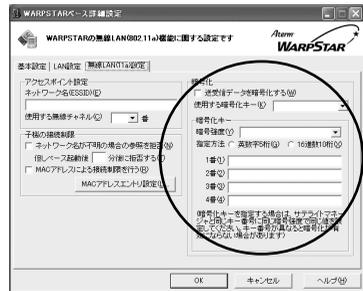
2 [WARPSTARの設定]をクリックし、[WARPSTARベースの詳細設定]をクリックする



3 管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

4 [無線LAN設定]タブをクリックする

5 [暗号化]欄で設定する



[送受信データを暗号化する]をします。

暗号強度を [64bit] [128bit] [152bit] から選択します。

[指定方法] から暗号化キーの種類を [英数字] または [16進数] のどちらかを選択します。

[使用する暗号化キー] を [暗号化キー1番~4番] で選択します。

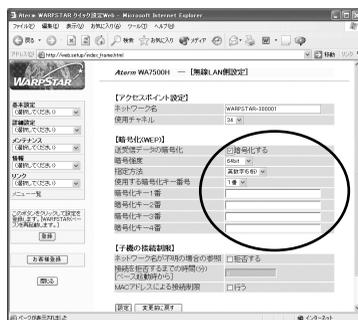
[1番~4番] に暗号化キーを入力します。

6 [OK]をクリックする

クイック設定 Web で設定する
親機の WEP の設定は、クイック設定 Web でも行うことができます。

- 1 パソコンを起動する
- 2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
親機の IP アドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例: http://192.168.0.1/
- 3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 [詳細設定] の ▼ をクリックし、[無線 LAN 側設定] を選択する

- 5 [暗号化 (WEP)] の項目で設定する



- 6 [暗号化する] を します。
暗号強度を [64bit] [128bit] [152bit] から選択します。
[指定方法] から暗号化キーの種類を [英数字] または [16 進] のどちらかを選択します。
[使用する暗号化キー番号] を 1 番 ~ 4 番で選択します。
[暗号化キー 1 番 ~ 4 番] に暗号化キーを入力します。

- 6 [設定] をクリックする

- 7 [登録] をクリックする
親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

WEP の設定 (子機)

以下の操作を子機に接続されたパソコンで行ってください。

1 タスクトレイの [サテライトマネージャ] アイコンを右クリックする

2 [設定] をクリックする

3 [データ保護] タブをクリックする



4 [データ保護を有効] を する

5 [はい] をクリックする

6 [暗号強度] から [64bit] [128bit] [152bit] をクリックする

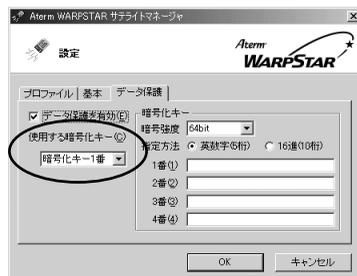
7 [指定方法] から [英数字] または [16進] をクリックし、キーを入力する

[1番] から [4番] の4種類のキーを設定することができます。

親機に登録されている暗号化キーを設定してください。

8 [使用する暗号化キー] から使用するキーを選択する

親機で使用するキー番号と同じキー番号を使用してください。キー番号が異なると通信できません。



9 [OK] をクリックする

お願い

2台目以降の子機を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キー番号と同じ暗号化キーを入力してください。

Windows® XP で設定する

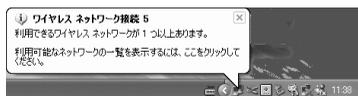
Windows® XP で子機をご利用になる場合は、次の手順で Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を行ってください。

ただし、以下の説明は、64bitWEP/128bitWEP をご利用になる場合の説明です。

152bitWEP をご利用になる場合は、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止して、サテライトマネージャをご利用になる必要があります。

(「**!** Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには」▶P6-14)

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする



2 「利用できるネットワーク」を選択する

- ・工場出荷時のネットワーク名は、「WARPSTAR-xxxxxx」(xxxxxx は、親機の側面に記載されている WAN/PC (MAC アドレス) の下 6 桁) です。
- ・[利用できるネットワーク] に使用する親機が表示されていない場合には、親機の電源を入れ直し、手順 4 からやり直してください。

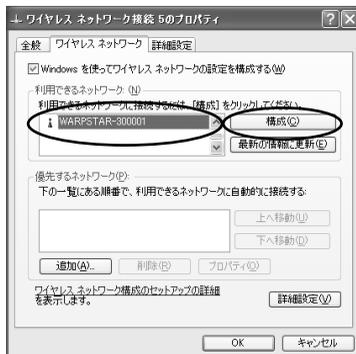


3 [詳細設定] をクリックする



4 手順 2 で選択したネットワーク名をクリックし、[構成] をクリックする

すでに手順 2 で選択したネットワーク名が [優先するネットワーク] に表示されている場合は、[優先するネットワーク] 欄からネットワーク名を選択し、[プロパティ] をクリックします。



6

WARPSTARを
活用しよう

～ の設定を行う

[データの暗号化]にチェックする
[キーは、自動的に提供される]の
チェックをはずす
[ネットワークキー]は、親機に入
力した暗号化キーを入力してくだ
さい。

キーの形式：

親機で「指定方法」を英数字と設
定した場合は、ASC 文字を選択
してください。

親機で「指定方法」を16進数と
設定した場合は、16進数を選択
してください。

キーの長さ：

親機で「暗号強度」を標準(64bit)
と設定した場合は、40ビットを選択
してください。

親機で「指定方法」を拡張(128bit)
と設定した場合は、104ビットを選択
してください。

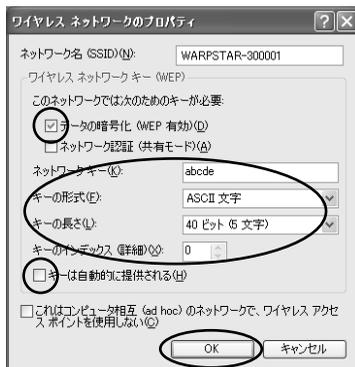
キーのインデックス：

お使いの親機の「使用する暗号化
キー」の番号から、1を引いた数
をキーの長さに入力する

(親機では、使用する暗号化キーは
1～4ですが、ワイヤレスネット
ワークでは、0～3となっている
ためです。双方のキーを設定する
“テーブル”を合わせないと、通信
が行えません。)

親機側確認方法は、らくらくア
シスタント [WARPSTAR の設
定] - [WARPSTAR の詳細設
定] - [無線 LAN 設定] タブま
たは、クイック設定 Web の
[無線 LAN 側設定] - [暗号化
(WEP)] で使用する暗号化キー
番号を確認してください。

[OK] をクリックする



MAC アドレスセキュリティ機能

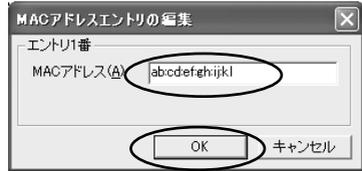
MACアドレスを使ってお使いの本商品が登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、他の子機からLANやインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

らくらくアシスタントで設定する

- 1 らくらくアシスタントを起動する
- 2 [WARPSTAR の設定] をクリックし、[WARPSTAR ベースの詳細設定] をクリックする
- 3 管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
- 4 [無線 LAN 設定] タブをクリックする
- 5 [MAC アドレスによる接続制限を行う] を する



- 6 [MAC アドレスエントリ設定] をクリックする
- 7 編集するエントリ番号を選び、[エントリ編集] をクリックする
- 8 接続を許可する子機の MAC アドレスを入力し、[OK] をクリックする



MAC アドレスは 2 文字ずつコロンで区切って入力してください。
例) xxxxxxxx と入力する場合
xx:xx:xx:xx と入力します。

- 9 [OK] をクリックする

6

WARPSTARを
活用しよう

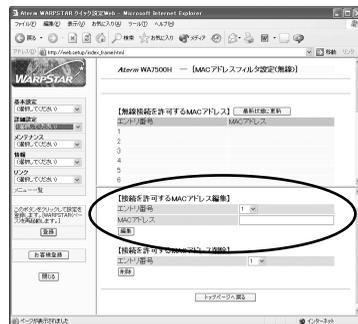
お知らせ

子機の MAC アドレスは子機の裏に記載されています。

クイック設定 Web で設定する

- 1 パソコンを起動する
- 2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
親機の IP アドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：http://192.168.0.1/
- 3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 [詳細設定] の ▼ をクリックし、[MAC アドレスフィルタ設定 (無線)] を選択する

- 5 [接続を許可する MAC アドレス編集] 欄で設定する



エントリ番号を入力します。
登録する子機の MAC アドレスを入力します。
MAC アドレスは 2 文字ずつコロンで区切って入力してください。
例) xxxxxx と入力する場合
xx:xx:xx と入力します。

- 6 [編集] をクリックする
- 7 [最新状態に更新] をクリックする
- 8 [登録] をクリックする
親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

6-2 子機の通信の設定をする (サテライトマネージャの使い方)

子機の無線通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線LANのデータ保護(暗号化)の設定はサテライトマネージャで行います。

ただし、Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になる場合は、Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定を停止する必要があります。(「❗Windows® XPでサテライトマネージャをご利用になるには」●P6-14)

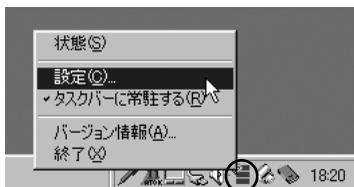
サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャは、「らくらくアシスタントのインストール」を参照してインストールしてください。(●P3-1)

サテライトマネージャを起動する

1 [スタート]—[プログラム]—[AtermWARPSTARユーティリティ]—
[サテライトマネージャ]をクリックする

2 タスクトレイの[サテライトマネージャ]のアイコンを右クリックする



3 [設定]を選択すると、サテライトマネージャの設定画面が表示される

サテライトマネージャの設定データ(プロフィール)の選択ができます。(●P6-12)



無線LANのセキュリティの設定をします。(●P6-6)

子機の基本設定をします。
(●P6-13)

プロフィールの設定

プロフィールとは、サテライトマネージャの「設定データ」を指します。サテライトマネージャでは「設定データ」を最大4つまで保存できます。子機の通信相手装置（親機または子機）が複数ある場合、それぞれの通信相手装置ごとのプロフィールを登録しておけば、通信相手を変えるたびに設定データを書き換えなくてもプロフィールの選択を切り替えるだけで接続先を変更できます。



【使用例】

会社と自宅で2台の親機を使用したい場合

まず、サテライトマネージャの [プロフィール] タブで、1番目のプロフィール（デフォルト）を選択します。

プロフィール名を、「会社設定」に変更します。

[基本] タブで会社の親機のネットワーク名を設定します。

ここで [OK] ボタンを押し、「会社設定」を保存します。

次に、再度サテライトマネージャの [プロフィール] タブで、2番目のプロフィール（プロフィール2）を選択します。

プロフィール名を、「自宅設定」に変更します。

[基本] タブで自宅の親機のネットワーク名を設定します。

ここで [OK] ボタンを押し、「自宅設定」を保存します。

上記のプロフィールを設定しておけばサテライトマネージャの「プロフィール」タブで、会社では「会社設定」、自宅では「自宅設定」を選択するだけで会社と自宅の親機の接続を切り替えて使用することができます。



お知らせ

ここでのプロフィールとはワイヤレスLANとして接続するワイヤレスアクセスポイントの設定のことです。アプリケーションプロフィールとは異なります。

基本設定をする

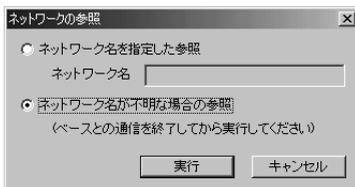
子機の基本設定をします。

チャンネル設定をします。
このチャンネルは、パソコン間通信を行う時に使用するチャンネルです。お互いの子機のチャンネルを割り当てることにより、パソコン間通信が可能となります。アクセスポイント通信の場合は、「自動選択」になります。



通信モードの設定をします。
 ・アクセスポイント通信：
親機と子機間で無線 LAN 接続する場合に使用します。
 ・パソコン間通信：
子機同士での無線 LAN 接続に使用します。

接続先のネットワーク名を入力してください。親機の出荷時設定は WARPSTAR-xxxxxx (xxxxxx は装置側面に貼られているラベルの WAN / PC (MAC アドレス) の MAC アドレスの下 6 桁) です。
ネットワーク名がわからない場合は、[ネットワークの参照] をクリックしてください。



通信モードが「パソコン間通信」の場合、ネットワークの参照は正しく動作しない場合があります。

[ネットワーク名が不明な場合の参照] にチェックを入れ、[実行] をクリックしてください。

親機で「ネットワーク名が不明な場合の参照を拒否」に設定している場合は、[ネットワーク名を指定した参照] にチェックを入れて、ネットワーク名を入力し、[実行] をクリックしてください。



接続先のネットワーク名をクリックして [OK] をクリックしてください。

データ保護 (暗号化) の設定をする

子機の日データ保護設定をします。設定方法については「6-1 セキュリティ対策をする」(P6-1) を参照してください。

❗ Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには

Windows® XP でサテライトマネージャをご利用になるには、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を停止する必要があります。

パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

[詳細設定] をクリックする

[Windows を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する] のチェックをはずす



[OK] をクリックする

以上の設定を行うと Windows® XP でサテライトマネージャが使用できるようになります。

続けて次の手順で通信する親機を設定します。

タスクトレイの [サテライトマネージャ] アイコンを右クリックする

[設定] をクリックする

[基本] タブをクリックする

[ネットワークの参照] をクリックする

親機で「ネットワーク名が不明な場合の参照を拒否」に設定している場合は、ネットワーク名を直接入力してください。

接続先のネットワーク名をクリックして、[OK] をクリックする

親機の出荷時設定は WARPSTAR-xxxxxx (xxxxxx は装置側面に貼られているラベルの WAN / PC (MAC アドレス) の MAC アドレスの下 6 桁) です。

[OK] をクリックする

Windows® XP でサテライトマネージャがご利用いただけるのは、WL54ACのみです。他の子機 WL11CA/WL11C/WL11U では Windows® XP でサテライトマネージャはご利用になれません。

6-3 ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど)を利用する

ネットワーク対応アプリケーション(ネットワークゲームなど)を利用するには、次の方法があります。

1. アプリケーションプロファイリングを使う
2. ポートマッピングを使う
3. PPPoEブリッジを使う
4. シングルユーザアクセスモードを使う
5. DMZホスティング機能

ここではアプリケーションプロファイリングを使う方法、ポートマッピングを使う方法、PPPoEブリッジを使用する方法を説明しています。シングルユーザアクセスモード、DMZホスティング機能については「機能詳細ガイド」(HTMLファイル)を参照してください。

アプリケーションプロファイリング

アプリケーションプロファイルでは、オンラインゲームなどのアプリケーションのTCP/UDPポートなどの複雑な設定をあらかじめ用意しました。

接続先ごとに使用するアプリケーションを設定できるので、利用時に接続先を選ぶことによって、自動的に設定を切り替えることができます。一度設定を行うとLAN上の中のパソコンからでもその接続先を利用することができます。接続時に行われた設定は、アクセスマネージャの切断操作で元に戻るのでセキュリティも安心です。また、該当するプロファイルがない場合や、回線を占有して利用したい場合には、一時的に全ポートを独占利用できる「シングルユーザアクセスモード」が利用できます。さらにDHCPサーバ機能とアプリケーションプロファイル機能を併用でき、回線接続を行ったパソコンに対して自動的に有効にするため、パソコン固定IPアドレスを設定しておく必要がありません。

「シングルユーザアクセスモード」では外部からのアクセスが可能な状態になりますので、利用時以外は回線切断することをお勧めします。

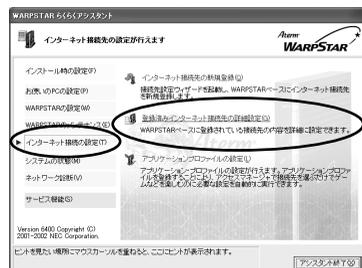


お知らせ

最新のプロファイルはホームページ Aterm Stationの「アプリケーションプロファイリングコーナー」よりダウンロードすることが可能です。

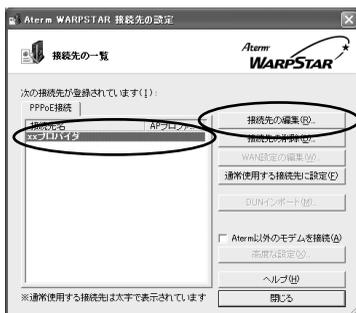
接続先のアプリケーションプロファイルの設定をする

- 1 しばらくアシスタントを起動する
- 2 [インターネット接続の設定]をクリックし、[登録済みインターネット接続先の詳細設定]をクリックする

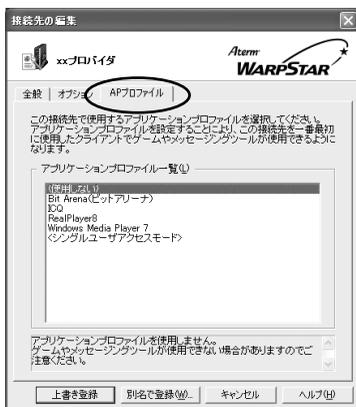


(次ページに続く)

3 編集する接続先を選択し、[接続先の編集] をクリックする



4 [AP プロファイル] タブをクリックする



(画面はADSL接続の例です。)

5 使用するプロファイルを選択する

設定されたアプリケーションプロファイルが表示されていない場合は、次項「アプリケーションプロファイルの更新」を行って登録します。

6 [上書き登録] または [別名で登録] をクリックする

接続先設定画面に戻ります。

[別名で登録] をクリックすると、別の接続先名で登録することができます。

7 [閉じる] をクリックする

アプリケーションプロファイルの更新

1 [インターネット接続の設定] をクリックし、[アプリケーションプロファイルの設定] をクリックする

2 [はい] をクリックする
以降この画面は表示されません。



3 親機に登録したいアプリケーションプロファイルを  にする



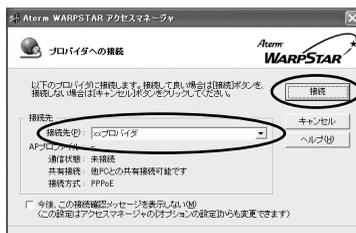
4 [OK] をクリックする
新しいアプリケーションプロファイルを読み込む場合は、[追加読込] をクリックし、ホームページ Aterm Station でダウンロードしたファイルを選択します。

アプリケーションプロファイルを設定した接続設定を利用する

1 [スタート] - [プログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [アクセスマネージャ] を選択し、アクセスマネージャを起動する

2 [アクセスマネージャ] アイコンを右クリックし、接続方法を選択する

3 登録した接続先を選択し、[接続] をクリックする



お知らせ

アプリケーションプロファイルの詳細については、アクセスマネージャのヘルプを参照してください。

ローカルルータモードでご使用の場合、接続するブロードバンドモデム (ADSL モデム / CATV モデム) の種類や設定、通信事業者のサービスによりオンラインによるアプリケーションがご使用になれない場合があります。詳しくは、ブロードバンドモデム (ADSL モデム / CATV モデム) の提供者か、通信事業者へご確認ください。

6

WARPSTARを
活用しよう

クイック設定 Web でポートマッピングを設定する

ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行います。

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

親機の IP アドレスを入力しても開き

ます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

3 ユーザ名に [admin] と入力し、パスワードを入力する
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [詳細設定] の ▼ をクリックし、[ポートマッピング設定] をクリックする

5 [編集する接続先] の ▼ をクリックし、編集する接続先を選択する

6 [NAT エントリ編集] 欄で設定する

[エントリ番号] で空いている番号を選択します。

最大 50 個設定できます。

[変換対象ポート] でポート番号を指定します。

[変換対象プロトコル] で TCP、UDP から選択します。

[宛先アドレス] で上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンの IP アドレスを入力します。

7 [編集] をクリックする

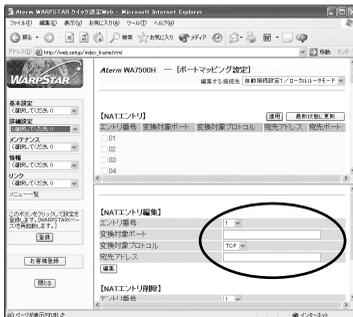
8 [最新状態に更新] をクリックする

9 [NAT エントリ] 欄で設定したエントリ番号を にする

10 [NAT エントリ] 欄で [適用] をクリックする

11 [登録] をクリックする

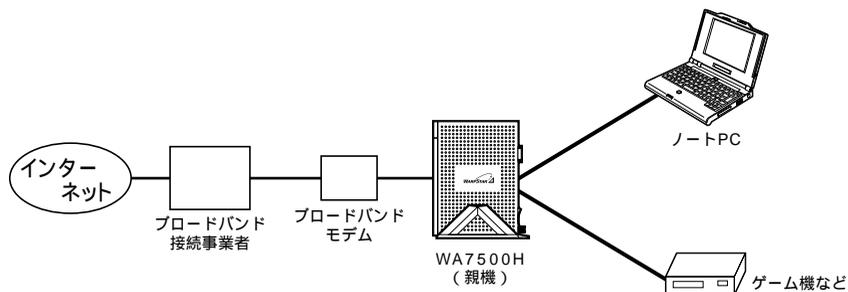
親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。



PPPoEブリッジ機能

PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルを搭載しているパソコンやゲーム機などを接続することができます。

親機が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは 1 台のみです。



PPPoEブリッジ機能でできること

1. PPPoEブリッジ機能を使うと次のことができるようになります。

(1) Windows® XPでサポートされている次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

利用確認アプリケーション
リモートデスクトップ
リモートアシスタンス

(2) PPPoE対応のゲーム機(Play Station®2など)を接続できます。

(3) PPPoEブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、親機のルータ機能やNAT機能を介さずに、直接親機に接続しているADSLモデムとPPPoEの処理を行うため、パソコンにグローバルIPアドレスを取得することができます。

6

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

2.準備

Windows® XP でサポートされている機能を PPPoE ブリッジ機能を使って実現するには次の条件が必要です。

- ・ PPPoE をサービスにしている事業者と契約（NTT のフレッツ・ADSL 等）し、PPPoE 接続していること
- ・使用する Windows® XP 搭載パソコンがグローバル IP アドレスを取得できること
- ・これらの機能を使って通信する相手も同様の環境であること

1) PPPoE の接続設定をする

2) パスポート登録をする（リモートデスクトップの場合は必要ありません）

3.利用できること

(1) リモートデスクトップ：パスポートへの登録不要

接続した相手側のパソコンを完全に操作することができます。

そのとき接続された方は、接続されていることを表示し、キー入力を拒否します。

(2) リモートアシスタント：以下すべてパスポートへの登録が必要です。

接続した相手の画面が現在どのように表示されているかを見ることができます。

4.使いかた

(1) PPPoE をサポートしている接続ソフト（広帯域接続）を用いてプロバイダにアクセスします。

(2) 各サービスに応じてサービスを起動します。

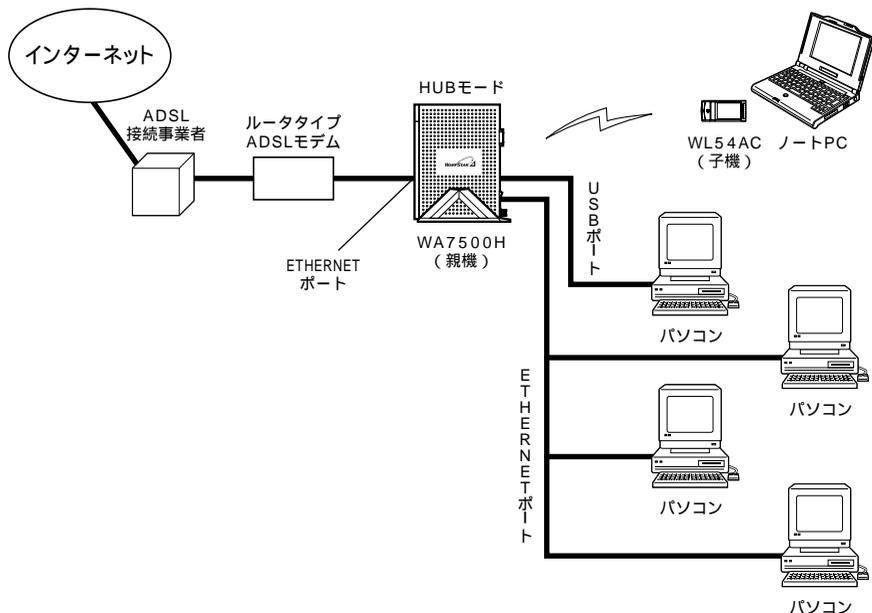


お知らせ

アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。

6-4 HUB として使う

本商品では、HUB（ハブ）モードを利用して、ルータタイプのADSLモデムや既存のハブに接続し、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。親機に子機を装着して使用します。本モードは「無線HUBモード」と同じです。



お願い

親機をHUBモードに設定すると、本商品独自の機能を利用できません。また、らくらくアシスタントやクイック設定Webによる各種設定もできなくなります。設定変更する場合は、ADSLモデムの接続をはずして、ディップスイッチの3を[OFF]にし、HUBモードを解除してかららくらくアシスタントやクイック設定Webで設定を変更してください。HUBモードをご利用になる場合は、あらかじめらくらくアシスタントやクイック設定Webで無線通信に関する設定を行った後、HUBモードに変更してください。



お知らせ

外付けルータタイプのモデムと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて使用するHUB（無線HUB）モードをご利用ください。

- ・ ADSLモデムと本商品のIPアドレスが競合していて、本商品と接続できないとき
- ・ 本商品の持つルータ機能を使用しないとき
- ・ ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

HUB モード設定の流れ

HUB モードを設定するときは次の流れで行います。

らくらくアシスタントをインストールする (● P3-1)



らくらくアシスタントでドライバをインストールする Step 1

親機の ETHERNET ポートに接続する場合 (● P3-6)

親機の USB ポートに接続する場合 (● P3-9)

子機で無線 LAN 接続する場合 (● P3-12)



HUB モードを設定する (● P6-23)



ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する (● P6-24)

HUBモードに設定する

ディップスイッチでHUBモードに変更します。

1 親機の電源を切る

2 親機側面の開閉カバーを開ける

3 ディップスイッチの3を「ON」にする
つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。



DIP SW3

ON : HUBモード

OFF : 通常モード

4 カバーを閉める

5 親機の電源を入れる

電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。

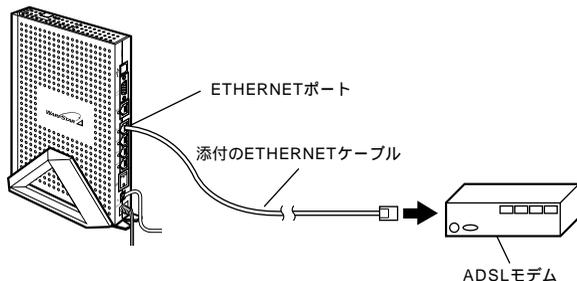
6

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

親機とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

- 1 親機の背面にある ETHERNET ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブル（ストレート）で接続し、それぞれ電源を入れる



- 2 親機の背面の ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯することを確認する
ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯すれば、LAN ポートは正しく接続されています。

お願い

HUB モードでは、ブロードバンド接続ポートはご利用になれません。ETHERNET ポートに接続してください。

ハブを接続する場合は、ハブのアップリンクポートに接続します。アップリンクポートがない場合は、クロス変換アダプタ/ケーブルを使用して ETHERNET ポートに接続してください。

インターネット接続を確認する

ルータタイプのブロードバンドモデム（ADSL モデム / CATV モデム）にネットワークで接続している場合は、アクセスマネージャは使えません。アクセスマネージャを終了させ、ブロードバンドモデム（ADSL モデム、CATV ケーブルモデム）の取扱説明書に従ってインターネット接続ができることを確認してください。また、パソコンのタスクトレイに常駐しているアクセスマネージャは Windows® 起動時にアクセスマネージャが起動しないように設定し、終了してください。

6-5 ダイアルアップ接続・マルチライン接続を利用する

親機に外付けTAやアナログモデムを接続して、ダイアルアップ接続を利用することができます。また、ブロードバンド接続とダイアルアップ接続を切り替えてインターネットする(マルチライン)ことができます。

設定は、次の手順で行います。

TA / アナログモデムを接続する (●P6-26)



らくらくアシスタントをインストールする (●P3-1)



らくらくアシスタントで設定する

Step 1

PCとWARPSTARベース(親機)間の通信を確立する (●P3-6)

Step 2

接続回線とWARPSTARベース(親機)の動作モードを設定する (●P6-27)

Step 3

インターネット接続先の登録 (●P6-28)



インターネットに接続する (●P4-1)

ブロードバンド接続とダイアルアップ接続を切り替えてインターネットする (●P6-31)

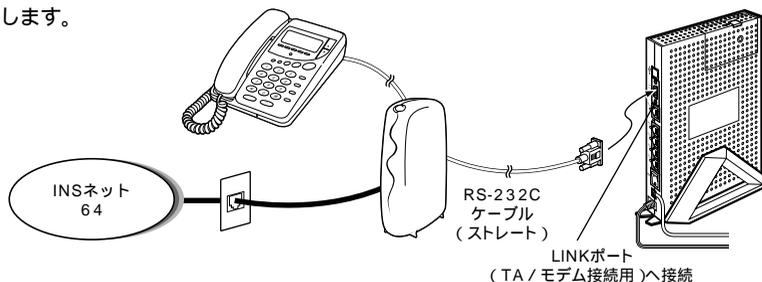
TA / アナログモデムを接続する

親機に外付けのTAやアナログモデムを接続する場合は、次の手順で接続します。親機と接続できるTAまたはアナログモデムはホームページ Aterm Stationで順次ご案内しますので、ご確認ください。

1 外付けTA（またはアナログモデム）がINSネット64（またはアナログ回線）に正しく接続されていることを確認する

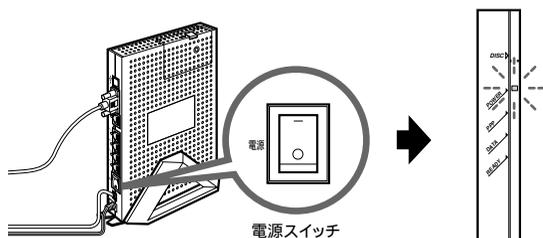
2 親機のLINKポート（TA / モデム接続用）とTAまたはアナログモデムのシリアルポートを接続する

TA / アナログモデムに添付されているRS-232Cケーブル（ストレート）を使って接続します。



3 親機の電源スイッチを入れる（「-」側を押す）

前面の各ランプが点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯します。



お願い

LINK ポートの RS-232C コネクタは、TA / アナログモデム接続用です。パソコンのシリアルポートは接続できません。

TA は INS ネット 64 の工事が完了し、外付け TA が利用できる状態になってから接続してください。外付け TA の INS ネット 64 回線への接続が完了していないと、本商品は使用できません。

電話機でご利用になれる機能は、外付け TA のアナログポート機能により異なります。電話がつかない場合や、電話機の使用方法については、ご利用の TA の取扱説明書を参照してください。

TA を接続して INS ネット 64 回線と ADSL 回線を併用すると、回線の干渉が発生し、ADSL 接続できなかつたり、十分なパフォーマンスが得られないことがあります。

らくらくアシスタントをインストールする

「3-1 らくらくアシスタントをインストールする」(●P3-1) を参照してらくらくアシスタントをインストールします。

らくらくアシスタントで設定する

らくらくアシスタントで Step1 から Step3 を設定します。

Step1 PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する

「3-2 Step1 PC と WARPSTAR ベース（親機）間の通信を確立する」(●P3-6) を参照してパソコンを接続し、設定を行います。

Step2 接続回線と WARPSTAR ベースの動作モードを設定する

「3-3 Step2 接続回線と WARPSTAR ベース（親機）の動作モードを設定する」(●P3-28) を参照して設定を行い、それぞれの接続回線の設定時に [ダイアルアップ] の接続を併用する] を選択します。

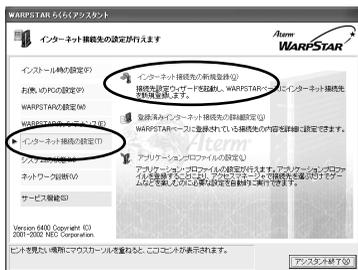


画面は ADSL 接続の例です。

Step3 インターネット接続先の登録

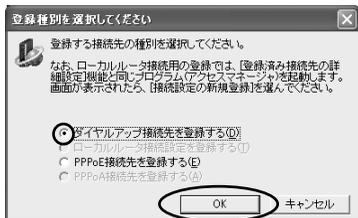
ダイヤルアップ接続先の登録は次の手順で行います。

- 1 [インターネット接続の設定] をクリックし、[インターネット接続先の新規登録] をクリックする



- 2 [ダイヤルアップ接続先を登録する] を選択し、[OK] をクリックする

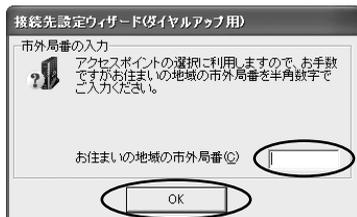
ここではダイヤルアップ接続用の設定の場合を説明しています。



お使いのモードによって表示される画面が異なります。

- 3 市外局番を入力し、[OK] をクリックする

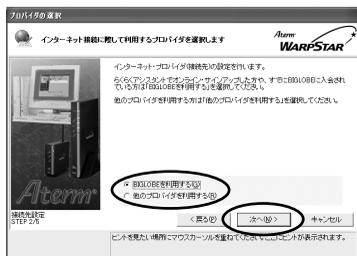
すでに市外局番の設定を行っている場合は、この操作は不要です。



- 4 [次へ] をクリックする



- 5 BIGLOBE を利用する場合は、[BIGLOBE を利用する] を、その他のプロバイダを利用する場合は [他のプロバイダを利用する] を選択し、[次へ] をクリックする



6

プロバイダ接続をするための情報を入力し、[次へ]をクリックする

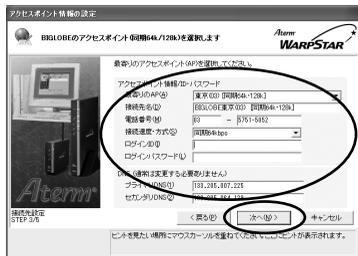
BIGLOBEの場合

所在地情報に基づいて最寄りのアクセスポイントが表示されます。他のアクセスポイントに変えるときは、[最寄りのAP]の▼をクリックして選択します。

[接続速度・方式]は通常、[同期64kbps]を選択します。

非同期のアクセスポイントは設定できません。アナログモデムの場合も同期64kbpsを選択してください。アナログモデムの場合、アクセスポイントはアナログ通信用のアクセスポイントを指定してください。

[ログインID](接続ユーザID)と[ログインパスワード]を入力します。



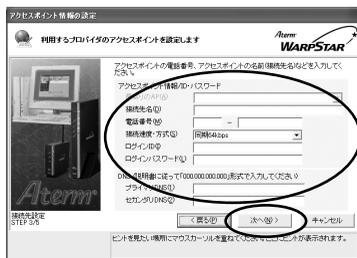
他のプロバイダの場合

[接続先名]にプロバイダの名称を、[電話番号]にアクセスポイントの番号を入力します。

[接続速度・方式]は通常、[同期64kbps]を選択します。

非同期のアクセスポイントは設定できません。アナログモデムの場合も同期64kbpsを選択してください。アナログモデムの場合、アクセスポイントはアナログ通信用のアクセスポイントを指定してください。

[ログインID](ユーザID)と[パスワード]、[プライマリDNS]、[セカンダリDNS]を半角英数字で入力します。



お願い

フレッツ・ISDNをご利用の場合
電話番号は市外局番なしで「1492」となりますが、ここではまだ設定できません。任意の電話番号を入力し、あとでアクセスマネージャから接続先の番号を変更してください。(P3-48)

6

WARFSTARを
活用しよう

7 設定内容を確認し、[実行]をクリックする



8 [設定終了]をクリックする らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。



9 らくらくアシスタントを終了するとき、[アシスタント終了]をクリックする

➡ 「インターネットに接続する」(P6-31)に進みます。

お知らせ

アクセスポイントや目的に合わせて、手順6の[接続速度・方式]を選択します。

アクセスポイント	ISDN 回線 64kbps (同期)	ISDN 回線 128kbps (同期)
目的	64kbps 同期通信	128kbps マルチリンク PPP 通信
接続速度・方式	同期 64kbps	同期 128kbps

フレッツ・ISDNは64kbpsのみの接続です。(2002年4月現在)

128kbps マルチリンク PPP 通信は、64kbps 通信を二重に行うことで128kbps 通信を行っています。通信料金、プロバイダのサービス料金は64kbps 通信ごとにかかります。接続できるTA / アナログモデムの機種種やアナログモデムでの設定方法は、ホームページ Aterm Stationでご確認ください。2002年7月現在のものは、添付のCD-ROMに収録されている「お困りのときには」をご参照ください。

インターネットに接続する

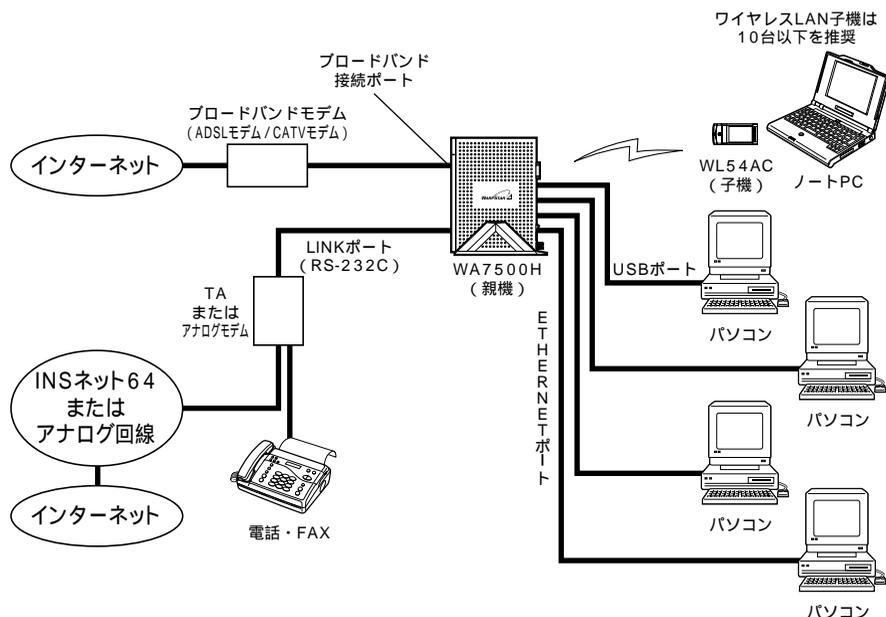
「4-1 インターネットに接続する」(●P4-1)を参照してインターネットに接続します。

ブロードバンド接続とダイアルアップ接続を切り替えてインターネットする(マルチライン)

マルチラインを使用するとダイアルアップ(ISDN / アナログ回線)接続とブロードバンド(ADSL / CATV)接続を用途に応じて使い分けることができます。

アクセスマネージャを利用してインターネットに接続する必要があります。

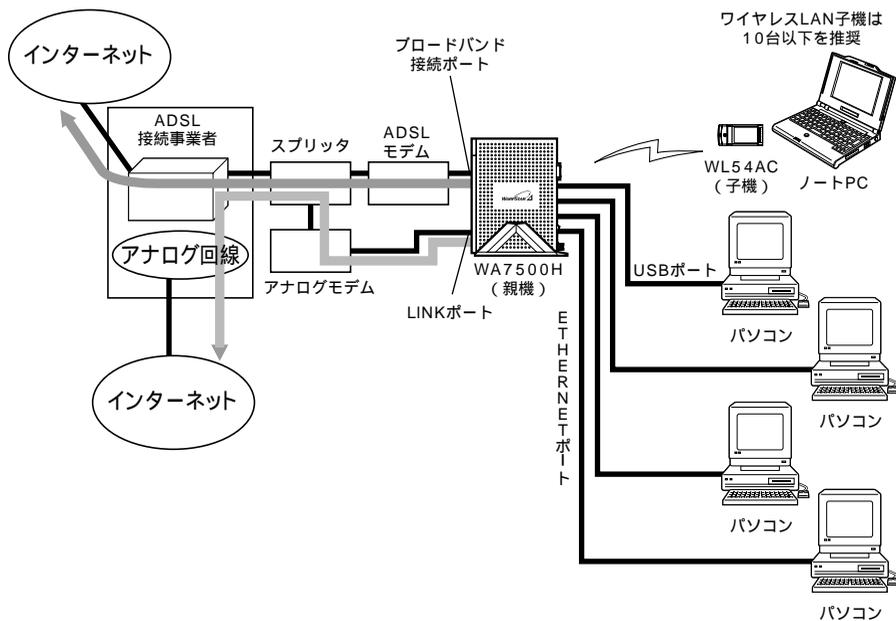
使用例1



お知らせ

ダイアルアップを併用してTAを利用する場合、回線干渉の問題があり、ADSLの通信速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。

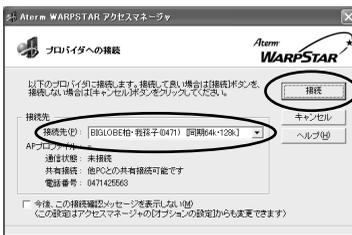
使用例2



1 [スタート] - [プログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [アクセスマネージャ] を選択し、アクセスマネージャを起動する

2 [アクセスマネージャ] アイコンを右クリックし、接続方法を選択する

3 接続先を確認し、[接続] をクリックする



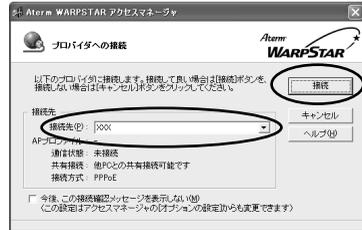
画面はダイアルアップ接続の例です。

4 接続中のアクセスマネージャを右クリックし、別の接続方法を選択する

1台のパソコンでブロードバンド通信網への接続中または、ダイアルアップ接続中にもう一方を選択すると、現在の接続を切断して、あらたに接続します。別のパソコンから接続するときは切断せずに接続を追加できます。

5 接続先を確認し、[接続] をクリックする

接続が切り替わります。



画面はダイアルアップ接続中に [PPPoE 接続] を選択した例です。

2 台目以降のパソコンから接続する

1 台目のパソコンでインターネット接続中に、別のパソコンから現在接続中の回線を共有して接続するか、新たにダイヤルアップを行うかを選択してインターネット接続できます。

- 1 [スタート] - [プログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [アクセスマネージャ] を選択し、アクセスマネージャを起動する
- 2 [アクセスマネージャ] アイコンを右クリックし、[ダイヤルアップ接続] を選択する
- 3 接続方法を選択する
[現在接続中の回線に乗り入れて共有使用する]
ほかのパソコンが使用している回線を共有して接続することができます。接続中の回線に関する情報が表示されているので、共有接続する場合は、こちらを選択します。
[新規に接続先を指定して接続する]
ほかのパソコンが接続している回線とは別に、ダイヤルアップを行うことができます。
新たにダイヤルアップを行う場合は、こちらを選択します。
- 4 [接続] をクリックする



お知らせ

ダイヤルアップ接続の接続先を新たに追加する場合は、らくらくアシスタントの [インターネット接続の設定] の [インターネット接続先の新規登録] で設定します。

6-6 TV電話をする(Windows Messengerを利用する)

本商品とパソコンのUPnP機能を利用して、TV電話をするなど、パソコンのWindows MessengerやMSN Messengerの次の機能をご利用になることができます。

○ : 使用できます。
× : 使用できません。

機能名	Windows Messenger Ver4.6 (Windows® XPをご利用の場合)	MSN Messenger Ver4.6 (Windows® Meをご利用の場合)
電話をかける		
インスタントメッセージ		
ファイル転送		
音声チャット		
ビデオチャット		機能なし
アプリケーション共有		機能なし
ホワイトボード		機能なし
リモートアシスタンス (ファイル転送機能)		機能なし

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」(HTMLファイル)を参照してください。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnPの設定をすることで、利用ができます。



お知らせ

UPnP機能は、Windows® XPまたはWindows® Meのパソコンでのみご利用になれます。

Windows® 95/98/2000/NT4.0で、MSN Messenger4.6をご使用の場合、「電話をかける」、「インスタントメッセージ」はご使用頂けず。

「電話をかける」サービスは、別途ADSL接続事業者とのご契約が必要です。

フレッツ・ADSLなどのPPPoEが利用できる環境では、PPPoEブリッジを使用することで、1台のパソコンのみで利用ができます。

6-7 親機をバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、親機に新しい機能を追加したり、場合によっては、親機の動作を改善します。

[用語] ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

お願い

Aterm Station からファームウェアやユーティリティをダウンロードする際の通信費は、お客様のご負担となります。

ファームウェアやユーティリティのバージョンを確認する

らくらくアシスタントで確認する

【ファームウェアのバージョン情報】

- 1 らくらくアシスタントの [システム状態] をクリックする
一覧の中にファームウェアのバージョン情報が状態に表示されます。

【ユーティリティのバージョン情報】

- 1 らくらくアシスタントのバージョン情報はらくらくアシスタント左下にある Version xxxx (x は数字を示します) で確認する



お知らせ

Windows® の場合は、らくらくアシスタントの「お使いのPCの設定」からも確認することができます。[ユーティリティのファイルバージョン情報] をクリックしてください。



(画面は一例です。x は画面のバージョンの数値を示します。)

クイック設定 Web で確認する

- 1 「情報」のプルダウンメニューから「現在の状態」をクリックする
ファームウェアのバージョンを確認することができます。

アクセスマネージャで確認する (Windows® のみ)

- 1 タスクトレイ (Windows® XP の場合は「通知領域」) にあるアクセス
マネージャを右クリックする
- 2 [ヘルプ] の [バージョン情報] を選択する
アクセスマネージャのバージョン情報と親機のファームウェアのバージョン情報が表
示されます。



(画面の x.xx はバージョンの数値を示します。)



お知らせ

ファームウェアとユーティリティを個々にバージョンアップしたい場合は、次項以降の手順で Aterm Station のホームページのバージョンアップコーナーから必要なユーティリティやファームウェアをダウンロードして、個別にバージョンアップしてください。

オンラインバージョンアップする (Windows® のみ)

Aterm Stationにオンラインユーザ登録し取得したIDを本商品に登録すると、最新のユーティリティやファームウェアをAterm Stationからダウンロードし、インストールやバージョンアップまで、一連の作業を自動的に行います。

お願い

オンラインバージョンアップを行う前に、Aterm Stationにオンラインユーザ登録をし、取得したIDを本商品に登録してください。

(「オンライン・ユーザ登録」・「取得したユーザIDの入力」)

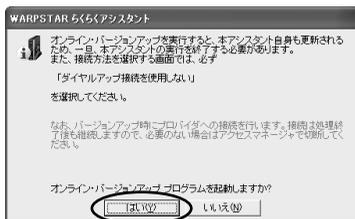
バージョンアップ中は絶対に本商品の電源を切らないでください。

バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ (Windows® XP の場合は「通知領域」) などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

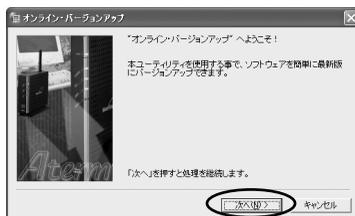
1 らくらくアシスタントの [サービス機能] をクリックする

2 [オンライン・バージョンアップ] をクリックする

3 内容をよく読んで [はい] をクリックする



4 [次へ] をクリックする



5 インターネットへ接続するための接続先を選択し、[次へ] をクリックする

6 以降は画面に従ってバージョンアップする

バージョンアップが終了すると、POWERランプが緑点灯します。

? こんなときには

- POWERランプがずっと赤点滅したままになっている -

バージョンアップに失敗しています。その場合には、NEC保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理は、すべて持ち込み修理となります。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

Aterm Station からダウンロードしてきた最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。クイック設定 Web の「メンテナンス」のプルダウンメニューから「ファームウェア更新」で行うこともできます。

お願い

バージョンアップ中は絶対に本商品の電源を切らないでください。

ファームウェアをバージョンアップするときは、現在使用しているユーティリティでバージョンアップしてください。そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。

お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。

バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ (Windows® XP の場合は「通知領域」) などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

1 Aterm Station (<http://121ware.com/aterm/>) にアクセスする

2 バージョンアップの項目からお使いの機種と OS を選択し、[GO] をクリックする

3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする

4 ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する

5 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

インストールが始まります。
詳細は、各ユーティリティのセットアップのページや Aterm Station の説明をお読みください。

? こんなときには

- POWER ランプがずっと赤点減したままになっている -

バージョンアップに失敗しています。その場合には、NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理は、すべて持ち込み修理となります。



お知らせ

親機のファームウェアのバージョンアップは「クイック設定 Web」で行うこともできます。バージョンアップの方法については、「機能詳細ガイド」(HTML ファイル) を参照してください。

6

W
A
R
P
S
T
A
R
を
活
用
し
よ
う

CD-ROM のファームウェアにバージョンを戻す

CD-ROM のファームウェアのバージョンに戻すこともできます。

お願い

バージョンアップ中は絶対に本商品の電源を切らないでください。

ユーティリティも CD-ROM のバージョンに戻してください。ファームウェアのバージョンに合わないユーティリティのバージョンを使用していると、一部の動作や機能が使用できません。

ファームウェアのバージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ (Windows® XP の場合は「通知領域」) などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

1 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

ユーティリティ集の画面が表示された時は [終了] をクリックします。

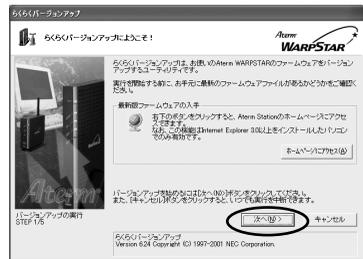
2 しばらくアシスタントを起動し、[WARPSTAR のメンテナンス] をクリックする

3 ファームウェアのバージョンアップをクリックする

Macintosh をご使用の場合は、次の画面が表示されたら [WARPSTAR 本体バージョンアップ] をクリックしてください。



4 [次へ] をクリックする



5 [次へ] をクリックする



(画面に表示されている x.xx はバージョンの数値を示します。以降の画面も同様です。)

6 [参照]をクリックする



7 CD-ROM ドライブから FW フォルダにあるファームウェアファイルを選択し、[開く]をクリックする



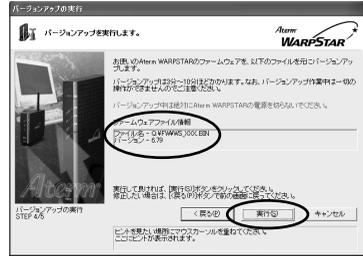
8 [次へ]をクリックする



(この画面では、QはCD-ROMドライブを表示しています。)

9 画面の表示を確認して[実行]をクリックする

バージョンアップを開始します。
バージョンアップ中は本商品のPOWERランプが橙色に点灯します。バージョンアップが終了すると、POWERランプが緑色に点灯します。



10 バージョンアップが終了すると次の画面が表示されるので[終了]をクリックする



11 Windows® の場合は [終了] をクリックする (Macintosh の場合は [Close] をクリックする) CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。



? こんなときには

- POWERランプがずっと赤点滅したままになっている -
- バージョンアップに失敗しています。その場合には、NEC保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理は、すべて持ち込み修理となります。

6

WARPSTARを
活用しよう

6-8 子機を増設する

あとから子機を増設するには、次の手順で設定を行ってください。

親機に暗号化 (WEP)、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク名の設定を行っている場合は、「6-1 セキュリティ対策をする」(●P6-1)を参照して設定を解除してください。



らくらくアシスタントをインストールする (●P3-1)



らくらくアシスタントで設定する

「3-2 Step1 PCと親機間の通信を確立する」(●P3-6)のみ行ってください。

Step2以降は、1台目のパソコンから設定した内容が親機に書き込まれています。



親機との通信状態を確認する (●P3-25)



増設した子機からのインターネット接続を確認する (●P4-4)



親機に暗号化 (WEP)、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク名の設定を行っていた場合は、「6-1 セキュリティ対策をする」(●P6-1)を参照して、増設した子機 親機の順にセキュリティの設定を行ってください。

ご参考

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

7章 お困りのときには	7-1
7-1 トラブルシューティング	7-1
7-2 親機を初期化する	7-24
7-3 自己診断	7-27
8章 付録	8-1
8-1 製品仕様	8-1
8-2 別売りオプション	8-6
8-3 お問い合わせ・アフターサービス	8-7
8-4 用語解説	8-15
8-5 索引	8-17

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

本書の他に、添付 CD-ROM 収録の電子マニュアル「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。(●P 前文-17) 該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、親機を初期化し(●P7-24) 初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が消去されますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

親機前面の POWER ランプは点灯していますか？

はい

いいえ

(a 参照 ●P7-2)

親機背面のブロードバンド状態表示 LED は点灯していますか？

はい

いいえ

(b 参照 ●P7-2)

親機と正しく接続できていますか？

ETHERNET ポート
接続の場合

背面の ETHERNET ポート状態表示 LED
は点灯していますか？

いいえ

(c 参照 ●P7-3)

USB-LAN 接続、子
機からの接続の場合

親機と正しく接続されていますか？(らくらく
アシスタントで「親機が見つかりません」と
表示される場合は正しく接続されていません)

いいえ

(d 参照 ●P7-3)

はい

パソコンに IP アドレスが設定されていますか？

(確認方法は、7-5 ページを参照してください)

はい

いいえ

(e 参照 ●P7-5)

親機の設定が行えますか？

WWW ブラウザ (クイック設定 Web) で設定画面が表示でき
ますか？

いいえ

(f 参照 ●P7-6)

らくらくアシスタントが使用できますか？

いいえ

(g 参照 ●P7-7)

はい

< PPPoE モードの場合 >

設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？

いいえ

(h 参照 ●P7-7)

< ローカルルータモードの場合 >

・ WAN 側 IP アドレスが正しく表示されていますか？
・ クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] - [状態表示]
で WAN 側 IP アドレスが表示されていますか？

いいえ

(i 参照 ●P7-8)

【らくらくアシスタント】「アクセスマネージャ」のメニューの [状態]
] - [ブロードバンド] タブを表示させ IP アドレスを確認する

はい

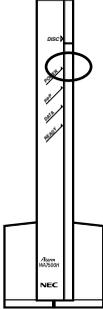
インターネットに接続できましたか？

いいえ

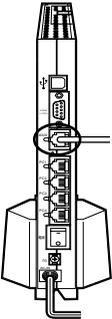
(j 参照 ●P7-9)

ローカルルータモードの場合は、PPP ランプは点灯しません。

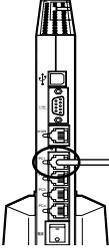
a.親機前面の POWER ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
<p>POWER ランプが点灯しない</p> 	<p>電源が入っていません。 電源コードがはずれている 電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 電源スイッチが入っていない 電源スイッチの [I] (オン) 側を押してください。 電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると親機に供給されている電源も切れてしまいます。 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントからはずしてお買い上げいただいた販売店や NEC 保守サービス受付拠点にご相談ください。 親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。</p>

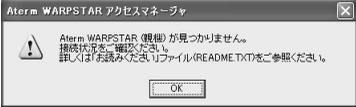
b.親機背面のブロードバンド状態表示 LED が点灯しない

症 状	原因と対策
<p>ブロードバンド接続ポートの状態表示 LED が点灯しない。</p> 	<p>ADSL モデムの電源が入っていない。 ADSL モデムの電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 CATV ケーブルモデムの電源が入っていない。 CATV ケーブルモデムの電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 HUB モードになっていて、CATV ケーブルモデムとブロードバンド接続ポートを接続していると点灯しません。</p>

c. 親機背面の ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯しない

症 状	原因と対策
ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯しない 	ご利用の LAN ケーブルのストレート/クロスが違っている可能性があります。クロス変換アダプタ/ケーブルを使って接続するか、市販の LAN ケーブル（クロスケーブル）を使って接続してください。 LAN ケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。基本的には、パソコン-HUB 間はストレートケーブルを利用し、HUB-HUB 間、パソコン-パソコン間はクロスケーブルを利用します。通常は親機とパソコンの間はストレートケーブルで接続してください。ただし、利用している LAN ボード等、環境によって異なる場合があります。

d. らくらくアシスタントで「親機が見つかりません」と表示されている

症 状	原因と対策
らくらくアシスタントで「親機が見つかりません」と表示されている 	USB-LAN ポート接続の場合は、USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 親機の READY ランプが緑に点灯していることで確認できます。点灯しない場合は、USB ドライバが正しくインストールされていない場合があります。USB ドライバをいったんアンインストールして、再度設定を行ってください。(●P3-23)。また、パソコンに LAN カードや LAN ボードが実装(内蔵)されている場合、LAN カード機能を停止させないと USB-LAN ドライバが使用できないことがあります。その場合は、LAN カード機能を使用しない設定にしてください。(●P3-24、3-25)。 子機(WL54AC)からの接続の場合は、サテライトマネージャで無線が正しく通信できているか確認してください。(●P3-26)。 通信状態が範囲外または使用不可の場合サテライトマネージャの設定を確認してください。また、パソコンに LAN カードや LAN ボードが実装(内蔵)されている場合、LAN カード機能を停止させないと USB-LAN ドライバが使用できないことがあります。その場合は、LAN カード機能を使用しない設定にしてください。(●P3-24、3-25)。 らくらくアシスタントなどでモードの変更、接続先の登録や更新等、ファームウェアのバージョンアップを行った場合などにも、親機が一時的に機能停止状態になるため、このメッセージが表示されます。 親機、子機間でのデータ保護(WEP)の設定が双方にされていない 親機と子機の設定を確認してください。(●P6-4、6-6)

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
<p>らくらくアシスタントで「親機が見つかりません」と表示されている（つづき）</p> 	<p>データ保護（WEP）の暗号化キーが親機、子機間で一致していない 親機と子機の設定を確認してください（P6-4、6-6） お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイヤウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 ファイヤウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ファイヤウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートを空ける。 （アドレス：192.168.0.*、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161） で改善しない場合は、ファイヤウォールソフトを停止またはアンインストールしてください。</p>
<p>親機とワイヤレス子機間の電波状態が悪い</p>	<p>別売りのワイヤレス LAN 外部アンテナ（WL54AC 用）（PA-WL/ANT2）〔121ware（http://121ware.com/）で購入可能〕をご使用ください。ただし、周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、改善状態は異なります。（改善できないこともあります。）</p>

e. パソコンにIPアドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	<p>パソコンの設定で「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。</p> <p>パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する。</p> <p>b. 次の手順でIPアドレスを取り直す</p> <p>< Windows® XPの場合 > [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] キーを押します。 IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p> <p>< Windows® Me/98の場合 > [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。 「winipcfg」と入力して[OK]をクリックします。 Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから、使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 [解放]をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。 「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは[OK]をクリックします。 [書き換え]をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p> <p>< Windows® 2000 Professionalの場合 > [スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 「ipconfig /renew」と入力して[Enter] キーを押します。 IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p>

f. WWW ブラウザで設定画面が表示されない (クイック設定 Web が起動しない)

症 状	原因と対策
<p>WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない</p>	<p>プロキシの設定をしていませんが プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックします。 [プロキシサーバを使用する] の [詳細] をクリックして、例外に「web.setup」を入れてください。 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。親機の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります (●P1-17)。</p>
<p>クイック設定 Web で設定したが、インターネットに接続できない</p>	<p>パソコンのタスクトレイにアクセスマネージャが常駐している アクセスマネージャがパソコンのタスクトレイに常駐しているとアクセスマネージャの接続/切断が優先されるため、クイック設定 Web での接続はできません。 アクセスマネージャで設定した接続先とクイック設定 Web で設定した接続先は共通でないため、自動接続のためにはクイック設定 Web での設定が必要です。クイック設定 Web で設定できるのは、PPPoE モード、ローカルルータモードでの 1 か所の接続先のみです。</p>
<p>WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求される</p>	<p>WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求されます。 ユーザ名には、[admin] を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで親機に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。 ただし、らくらくアシスタントから親機に対して、パスワードを登録した場合は、そのパスワードを入力してください。</p>
<p>ページが正常に開けない</p>	<p>Javascript を無効に設定されている WWW ブラウザの設定で Javascript を有効に設定してください。</p>

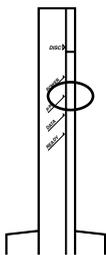


症 状	原因と対策
[設定] ボタンを押しても、状態が反映されない	登録ボタンを押していない 各設定項目において、設定ボタンを押しても状態は反映されません。 左側フレーム内の [登録] ボタンを押し、親機を再起動する必要があります。
[登録] ボタンを押した後に、「ページを表示できません」と表示される	親機が再起動しているためです。 [登録] ボタンを押すと、親機が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。
クイック設定 Web が開かない	ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。

g. らくらくアシスタントが使用できない

症 状	原因と対策
パソコンのネットワークの設定が正しくされていない	「パソコンのネットワークの設定」の手順で設定を確認してください。(●P1-13)
らくらくアシスタントの [Step1 PC と WARPSTAR ベース間の通信を確立する] が正常に終了しない(●P3-8)	ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。

h. PPPoE モードで親機前面の PPP ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない 	パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが速い点滅をしている 	ブロードバンドモデムの WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプが点灯します。LINE ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対策してください。 対策後、パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
<p>PPP ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している</p> 	<p>プロバイダ等から送られてくるユーザID、パスワードが正しいことを確認してください。ユーザID、パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。ユーザID、パスワードが間違っている一般的に下記が区別されますのでご注意ください。</p> <p>ユーザID（ログイン名）：半角、全角 パスワード：半角、全角、大文字、小文字をあわせてください。</p>

i.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

症 状	原因と対策
<p>クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない</p>	<p>ブロードバンドモデムの WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている場合、ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと本商品の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ケーブルモデムの電源を一旦切って、電源を入れ直すことで回避できる場合があります。</p> <p>つなぎ方によっては本商品 WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] で [IP の解放] をクリックしてから [IP 取得] をクリックして IP アドレスを更新してください。</p> <p>CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。</p> <p>接続事業者を確認してクイック設定 Web の [WAN 側自動接続設定 (ローカルルータ)] からドメイン名やホスト名を入力してください。</p> <p>CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。</p> <p>接続事業者を確認してクイック設定 Web の [WAN 側自動接続設定 (ローカルルータ)] からゲートウェイやネームサーバを入力してください。</p> <p>CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。</p>

j. インターネットに接続できない

ADSL 接続に関するトラブル

症 状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください(●P1-17)。
アクセスマネージャで接続できるように見えているが、実際には WWW ブラウザ閲覧やメールができない	ADSL モデムが正しく接続されていない。 ブロードバンド接続ポート(100BASE-TX/10BASE-T)状態表示 LED が緑点灯していれば、正しく接続されています。 IP アドレスや DNS サーバアドレス、ホスト名などが設定されていない。 事業者およびプロバイダによっては、IP アドレスや DNS サーバが指定されていたり、指定のホスト名を設定する必要がある場合があります。 ローカルルータモードの場合は、「接続先の詳細設定」の「WAN 設定の編集」で IP アドレス、DNS サーバアドレスやホスト名を設定してください。 ダイヤルアップモードや ADSL (PPPoE) モードの場合は、「接続先の詳細設定」の宛先を選択後に「接続先の編集」で IP アドレスや DNS サーバアドレスを設定してください。また、事業者によってはプロキシサーバの指定がある場合もあります。 この場合は、WWW ブラウザソフトの「LAN の設定」などにある「プロキシサーバ」の設定をしてください。
インターネット接続中に回線が切断される	ダイヤルアップモードおよび ADSL (PPPoE) モードの場合、無通信監視タイマで自動切断される場合があります。 無通信監視タイマはらくらくアシスタントの「接続先の詳細設定」で「接続先の編集」の中の「オプション」タブで設定できます。
外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない	WAN 側と LAN 側の IP アドレスが同じになっている。 次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 IP アドレスを確認します。 WAN 側：アクセスマネージャの「状態」「ローカルルータ接続」の「ゲートウェイ」が"192.168.0.1"になっている LAN 側(本商品)：パソコンの IP アドレスを確認する IP アドレスを変更します。 らくらくアシスタントの「WARPSTAR の設定」-「WARPSTAR の詳細設定」「LAN 設定」タブの「IP アドレス欄」で変更します。 "192.168.2.1"など下から 2 桁目を変更して、[OK] ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。

症 状	原因と対策
<p>外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない (つづき)</p>	<p>WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。</p> <p>アクセスマネージャのメニュー [状態] で [ブロードバンド] タブを表示させ、[詳細] 表示の IP アドレスを確認してください。</p> <p>IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 再取得] ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。</p> <p>[IP 再取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。</p> <p>外付けルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。</p> <p>ADSL モデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。</p> <p>次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。</p> <p>(1) IP アドレスを確認します。</p> <p>WAN 側：アクセスマネージャの「状態」「ローカルルータ接続」の「ゲートウェイ」が「192.168.0.1」になっている</p> <p>LAN 側（本商品）：パソコンの IP アドレスを確認する</p> <p>(2) IP アドレスを変更します。</p> <p>らくらくアシスタントの「WARPSTAR の設定」 - 「WARPSTAR の詳細設定」「LAN 設定」タブの「IP アドレス欄」で変更します。</p> <p>「192.168.2.1」など下から 2 桁目を変更して、[OK] ボタンをクリックします。</p> <p>パソコンを再起動します。</p> <p>次の手順で親機を HUB モードに設定して接続できるか確認してください。</p> <p>親機の電源を切る</p> <p>ディップスイッチの 3 を ON にする</p> <p>親機の電源を入れる</p> <p>親機のブロードバンド接続ポートと ADSL モデムを接続しているケーブルを外す</p> <p>親機の ETHERNET ポートと ADSL モデムを接続する</p> <p>それでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。</p>
<p>ADSL (PPPoE) 接続できない</p>	<p>ユーザ ID とパスワードが間違っている</p> <p>ADSL インターネット接続のユーザ ID は、「*****@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザ ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。</p> <p>アクセスマネージャが常駐しているが、インターネット接続していない。</p> <p>アクセスマネージャで接続を行ってください。</p>

症 状	原因と対策
ADSL (PPPoE) 接続できない (つぶき)	<p>使用する親機の動作モードは正しいですか。 外付け ADSL モデムに接続して使用する 場合、お使いの ADSL モデムによって本 商品の動作モードが異なります。あらかじ め ADSL モデムのタイプを確認してくだ さい。</p> <p>パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それ を使用していませんか。または、Windows[®] XP の PPPoE 機能を使用していませんか。</p> <p>パソコンの PPPoE 機能を使用すると ADSL サービスによっては、パソコンを 1 台しか接続できません。複数のパソコンを 同時に接続できる ADSL サービスを契約 せずに、同時に 2 台以上接続したい場合は、 ADSL モデム用の PPPoE 接続専用ソフト ウェアをパソコンからアンインストールし たり、Windows[®] XP の PPPoE 機能の 使用は止めて、再度、本商品のユーティリ ティで設定し直してください。</p> <p>フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、本商品の再起動 において、一定時間（最大で 5 分間程度）接 続できない場合があります。一定時間経過後 再接続してください。</p> <p>エラー 149 が表示される場合は、ID とパス ワードが間違っています。ADSL 接続事業者 やプロバイダなどから与えられた ID とパス ワードをご確認ください。</p> <p>エラー 146 が表示される場合は、ADSL モ デムとの接続ができていません。ランプが緑 点灯していない場合、ETHERNET ケーブル が正しく接続されているか、ケーブルは正し いか確認してください。</p> <p>エラー 99/100 の場合は、本商品がローカ ルルータモードになっています。らくらくア シスタントで「ADSL (PPPoE) モード」 を選択してやり直してください。</p>
ADSL (PPPoE) 接続に成功してもホーム ページが開けない	<p>IP アドレス、ネームサーバアドレスが間違っ ている</p> <p>自動取得できないプロバイダの場合、プロ バイダから指定された IP アドレスやネー ムサーバアドレスを接続先の設定画面で入 力してください。</p> <p>アクセスマネージャの接続操作タイミングや インターネットからの応答遅延によっては最 初のトップページが開けない場合があります。 この場合は、「更新」ボタンで再表示し てください。</p> <p>アクセスマネージャアイコンを右クリックし て、「オプションの設定」の「接続確認」タ ブで「インターネットへの接続を自動検出す る」のチェックをはずし、自動接続モード (接続確認をしないモード) にすると改善す る場合があります。</p>

症 状	原因と対策
<p>ローカルルータモードで「IP アドレスの取得が正しく行われていない可能性があります。」というメッセージが出て、接続できない</p>	<p>ブロードバンドモデムの電源が切れたりケーブルが抜けたりした場合など一時的に IP アドレスが解放される場合があります。</p> <p>アクセスマネージャの「状態」をクリックして、IP アドレスが正しく取得できているか確認してください。異常がある場合は、「IP 解放」をクリックしたあとに「IP 再取得」をクリックして正しく IP を取得し直してください。</p> <p>WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。</p> <p>アクセスマネージャのメニュー [状態] で [ブロードバンド] タブを表示させ、[詳細] 表示の IP アドレスをご確認ください。</p> <p>IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 再取得] ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。</p> <p>[IP 再取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。</p>
<p>HUB モードで使用しているが、インターネット接続できない</p>	<p>ADSL モデムをブロードバンド接続ポートに接続していませんか。 HUB モードではブロードバンド接続ポートは使用できません。</p>

CATV 接続に関するトラブル

症 状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	<p>回線側の IP アドレスが取得できていない。 アクセスマネージャの状態表示で IP アドレス他詳細情報を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん「IP 解放」をクリックしてから「IP 再取得」をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。</p> <p>他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたケーブルモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。</p> <p>CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。</p>
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	<p>ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者を確認して WAN 設定の編集からドメイン名やホスト名を入力してください。</p> <p>ゲートウェイ、ネームサーバが指定されていない。 CATV 事業者によってはゲートウェイやネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。事業者を確認して WAN 設定の編集からゲートウェイやネームサーバを入力してください。</p> <p>アクセスマネージャの接続操作タイミングやインターネットからの応答遅延によっては最初のトップページが開けない場合があります。この場合は、「更新」ボタンで再表示してください。</p> <p>アクセスマネージャアイコンを右クリックして、「オプションの設定」の「接続確認」タブで「インターネットへの接続を自動検出する」のチェックをはずし、自動接続モード（接続確認をしないモード）にすると改善する場合があります。</p>

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
WAN 側 IP アドレスが取得できない	<p>WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。</p>
しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、「0.0.0.0」になってしまう	<p>アクセスマネージャのメニュー [状態] で [ローカルルータ接続] タブを表示させ、[詳細] 表示の IP アドレスをご確認ください。</p>
ローカルルータモードで「IP アドレスの取得が正しく行われていない可能性があります。」というメッセージが出て、接続できない	<p>IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 再取得] ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。</p>
	<p>[IP 再取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデムがエラー表示していないか、または親機背面のブロードバンド状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。</p>
	<p>CATV 接続事業者によっては、ルータからの IP アドレス取得の要求があると IP アドレスがクリアされてしまう場合があります。「アクセスマネージャ」アイコンを右クリックし、「接続先の設定」の「WAN 設定の編集」で「IP アドレスの自動取得要求を行う」のチェックを外します。</p>
	<p>クイック設定 Web で設定した接続先の場合は、「WAN 側自動設定」で「IP アドレスの自動取得」の「使用する」のチェックを外します。</p>

ユーティリティに関するトラブル

らくらくアシスタントに関する問題

症 状	原因と対策
Windows® XP/2000 で、らくらくアシスタントがインストールできない	Administrator 権限のあるユーザでログインしていない。 「Administrator」権限のあるユーザでログインしてください。「Administrator」権限のないユーザではインストールが行えません。
らくらくアシスタントのメニューボタンに押せないものがある	親機の電源が入っていない 親機の電源が入っているか確認してください。 インストール時の設定が完了されていない場合は、一部のボタンは使えません。 ドライバのインストールが正しく行われていない場合は、最初に「ドライバのアンインストール」を実行して古いドライバを削除してから、らくらくアシスタントを起動してドライバのインストールと基本の設定をやり直してください。 らくらくアシスタントはお使いの機種によっては無効となる機能（ボタン）があります。
Windows® XP で子機のドライバがインストールできない	ご使用のパソコンに Windows® XP に付属の無線 LAN ドライバが組み込まれている場合は、ドライバが自動的に組み込まれます。 以降の設定は、Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定で行ってください。 Windows® XP で子機をご利用の場合はサテライトマネージャを使用できません。
「WARPSTAR ベースの詳細設定」が起動しない	親機を起動して、設定の途中でキャンセルすると、終了後の約 10 秒間は「WARPSTAR ベースの詳細設定」が開けなくなります。しばらく待ってから操作してください。
バージョンアップに失敗して、親機の POWER ランプが緑点灯しない	フラッシュ ROM に書かれているプログラム（ファームウェア）が消えています。 NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります。
管理者パスワードを忘れてしまった	親機を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます（●P7-24）。 ただし、らくらくアシスタントの「WARPSTAR のメンテナンス」- 「設定値の確認・保存・復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復旧させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。
本商品やユーティリティのバージョンを確認したい	アクセスマネージャで確認することができます。 タスクトレイの「アクセスマネージャ」アイコンを右クリックする 【ヘルプ】の「バージョン情報」を選択する

サテライトマネージャに関する問題

症 状	原因と対策
<p>子機が使えない</p> <p>[サテライトマネージャ] アイコンが使えない状態 (青表示) にならない 通信状態が「範囲外」となる</p>	<p>親機の電源が入っているか確認してください。</p> <p>通信モードがあっているか確認してください。親機との通信は「アクセスポイント通信」で使用します。</p> <p>通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「設定」を選択して、「基本設定」で確認します。</p> <p>ネットワーク名 (ESSID) があっているか確認してください。</p> <p>親機の設定値は、らくらくアシスタントの「WARPSTARの設定」 - 「WARPSTARの詳細設定」の「無線LAN設定」内の「アクセスポイント設定」で確認できます。</p> <p>親機の出荷時設定は、WARPSTAR-xxxxxxx (xxxxxxxはWAN/PC (MAC アドレス) の下6桁) です。</p> <p>通信モードが「パソコン間通信」の場合は、チャンネル番号が一致しているか確認してください。</p> <p>通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「設定」を選択して、「基本」で確認します。</p> <p>親機との距離が離れすぎているか確認してください。</p> <p>子機のランプのつき方 (●P1-9) を確認してください。</p> <p>消灯している場合は子機が親機を正しく認識していません。らくらくアシスタントの [インストール時の設定] - [PCとWARPSTARベース間の通信を確立する] で親機との通信の設定をやり直してください。</p>
<p>[サテライトマネージャ] は使える状態 (青表示) になるが親機に接続できない</p>	<p>データ保護を有効にしている場合は、親機とキーが一致しているか確認してください (●P6-4、6-6)。</p>
<p>ネットワーク名を忘れてしまった</p>	<p>有線LAN (ETHERNETポート、USB-LAN) のパソコンから、設定し直してください (●P6-2)。</p> <p>サテライトマネージャの設定画面の「ネットワークの参照」で、「ネットワーク名が不明な場合の参照」をクリックして親機を検索してください。ネットワーク名とアクセスポイント名で本体を識別できます。</p> <p>本体側面の開閉カバーを開けてディップスイッチ設定による初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください (●P7-26)。</p> <p>出荷時のネットワーク名の設定は「WARPSTAR-xxxxxxx」になっています (xxxxxxxは本体側面のWAN (MACアドレス) の下6桁) です。</p>

症状	原因と対策
<p>子機が使えない (つづき)</p> <p>「ネットワークの参照」で親機が見つからない</p>	<p>電波状態により「ネットワークの参照」で親機の電波を検出できない場合があります。このような場合は、「ネットワークの参照」で「ネットワーク名を指定して参照」に直接ネットワーク名(ESSID)を入力して検索し直してください。</p> <p>らくらくアシスタントの[WARPSTARの設定] - [WARPSTARベースの詳細設定] - [無線LAN設定]の「子機の接続制限」で「ネットワーク名が不明な場合の参照を拒否する」に設定している場合は、親機の電源を入れてから指定した時間しか「ネットワークの参照」にตอบสนองしません。</p> <p>親機の電源を入れ直して検索し直すか、ETHERNET接続またはUSB-LAN接続のパソコンから「子機の接続制限」をはずして、「ネットワークの参照」で検索してください。</p> <p>子機が親機の拡張カードスロットに入っていることを確認してください。</p> <p>子機のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。</p> <p>Ethernetインターフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボードの機能を停止させないと子機のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードおよびLANボードの機能を停止させてから、らくらくアシスタントの設定を行ってください(●P3-24、3-25)。</p>
<p>データ保護設定(暗号化)のキーを忘れてしまった</p>	<p>ETHERNETポートまたはUSB-LANポートに接続したパソコンから、設定し直してください(●P6-4)。</p> <p>親機を工場出荷状態に戻してください。暗号化がすべてクリアされます(●P7-26)。</p>

アクセスマネージャに関する問題

症 状	原因と対策															
<p>アクセスマネージャが起動しない</p>	<p>WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない WWW ブラウザやメールソフトを起動したときに、アクセスマネージャの [プロバイダへの接続] が起動せずにダイヤルアップ接続が起動してしまう場合は、WWW ブラウザやメールソフトの設定がダイヤルアップ接続する設定になっています。 LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください(●P1-17)。</p>															
<p>アクセスマネージャの切断コードについて</p>	<p>アクセスマネージャでインターネットに接続した場合、切断の際に次のようなエラーコードが表示されます。 以下に代表的なエラーコードを示します。エラーコードの詳細については、添付の CD-ROM に収録されている「お困りのときには」(HTML ファイル)を参照してください。</p> <table border="1" data-bbox="557 667 988 1185"> <thead> <tr> <th data-bbox="557 667 650 697">エラーコード</th> <th data-bbox="650 667 781 697">切断理由</th> <th data-bbox="781 667 988 697">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="557 697 650 831">144</td> <td data-bbox="650 697 781 831">正常切断</td> <td data-bbox="781 697 988 831">(正常切断) 回線を切断しました。 無通信監視タイマによる切断の使用可否は接続先設定のオプションをご確認ください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 831 650 898">146</td> <td data-bbox="650 831 781 898">ディスカバリースタージで相手応答せず</td> <td data-bbox="781 831 988 898">接続先が応答しないため、回線を接続できませんでした。(応答無し)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 898 650 1032">147</td> <td data-bbox="650 898 781 1032">相手無応答</td> <td data-bbox="781 898 988 1032">回線を切断しました。(PPP) 接続先からの応答がありませんでした。 しばらく待ってから接続し直してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1032 650 1185">149</td> <td data-bbox="650 1032 781 1185">認証失敗</td> <td data-bbox="781 1032 988 1185">回線が切断されました。(PPP) ID / パスワードが間違っている可能性があります。 接続先設定をご確認ください。</td> </tr> </tbody> </table>	エラーコード	切断理由	説明	144	正常切断	(正常切断) 回線を切断しました。 無通信監視タイマによる切断の使用可否は接続先設定のオプションをご確認ください。	146	ディスカバリースタージで相手応答せず	接続先が応答しないため、回線を接続できませんでした。(応答無し)	147	相手無応答	回線を切断しました。(PPP) 接続先からの応答がありませんでした。 しばらく待ってから接続し直してください。	149	認証失敗	回線が切断されました。(PPP) ID / パスワードが間違っている可能性があります。 接続先設定をご確認ください。
エラーコード	切断理由	説明														
144	正常切断	(正常切断) 回線を切断しました。 無通信監視タイマによる切断の使用可否は接続先設定のオプションをご確認ください。														
146	ディスカバリースタージで相手応答せず	接続先が応答しないため、回線を接続できませんでした。(応答無し)														
147	相手無応答	回線を切断しました。(PPP) 接続先からの応答がありませんでした。 しばらく待ってから接続し直してください。														
149	認証失敗	回線が切断されました。(PPP) ID / パスワードが間違っている可能性があります。 接続先設定をご確認ください。														
<p>「Aterm WARPSTARが見つかりません。・・・」と表示される</p>	<p>らくらくアシスタントなどでモードの変更、接続先の登録や更新等、ファームウェアのバージョンアップを行った場合などにも、親機が一時的に機能停止状態になるため、このメッセージが表示されます。</p>															
<p>アクセスマネージャで設定した接続先と違う接続先に接続される</p>	<p>アクセスマネージャが常駐されていない場合に WWW ブラウザなどを起動すると、クイック設定 Web で設定された自動接続先に自動接続します。 アクセスマネージャを起動し、アクセスマネージャでの接続を行ってから WWW ブラウザなどを起動してください。</p>															

ダイヤルアップ接続に関するトラブル

症 状	原因と対策
INS ネット 64 回線またはアナログ回線を使用した回線に関する問題	<p>回線が混雑している。 時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。</p> <p>回線が空いていない。 電話機を 2 台同時に使用するなどして、回線が空いていない場合、接続できません。少し待って回線が空いてから接続し直してください。</p> <p>回線を使うアプリケーション（通信ソフトなど）がほかに起動している。 回線を使うアプリケーションを起動していると、通信できないことがあります。そのアプリケーションを終了してください。</p>
プロバイダの設定に関する問題	<p>アクセスポイントの電話番号が間違っている。 INS ネット 64 接続用の電話番号を別に設けているプロバイダが多くあります。ISDN 回線用の電話番号かどうか確認してください。</p> <p>同期 64 kbps と非同期のアクセスポイントは異なることが多くあります。 LAN ポート（無線、ETHERNET ポート、USB-LAN）から接続するときは、同期 64Kbps のアクセスポイントに接続してください。</p> <p>ユーザ ID とパスワードが間違っている。 プロバイダから発行されたユーザ ID やパスワードを確認してください。 通常は半角で入力します。 フレックス・ISDN の場合は「ID@ドメイン名」で入力しているか確認してください。</p> <p>DNS サーバアドレスの番号が間違っている。 プロバイダが推奨する DNS サーバの IP アドレスを設定してください。</p>
インターネット接続に失敗する（149 切断する）	<p>ユーザ ID とパスワードが間違っている。 プロバイダからのユーザ ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。</p>
インターネット接続に成功してもホームページが開けない	<p>IP アドレス、ネームサーバアドレスが間違っている。 自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスやネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。</p> <p>アクセスマネージャの接続操作タイミングやインターネットからの応答遅延によっては最初のトップページが開けない場合があります。この場合は、「更新」ボタンで再表示してください。自動接続モード（接続確認をしないモード）にすると改善する場合があります。</p>
アクセスマネージャの中でダイヤルアップ接続モードがない	<p>ダイヤルアップ接続をしない設定になっている アクセスマネージャの[オプションの設定] で [ダイヤルアップ接続を併用する] を選択して設定ください。</p>

ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
時々通信が切れる	ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特にADSLモデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
途中から通信速度が遅くなった	
通信が切断されることがある	
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<p>[OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。</p> <p>< IP アドレスの再取得 ></p> <p>< Windows[®] XP の場合 ></p> <p>[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>< Windows[®] Me/98 の場合 ></p> <p>[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。</p> <p>「winipcfg」を入力して [OK] をクリックします。</p> <p>Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択します。</p> <p>[解放] をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になることを確認します。</p> <p>「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、[OK] をクリックしてへ進んでください。</p> <p>[書き換え] をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>< Windows 2000[®] Professional の場合 ></p> <p>[スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p>

症 状		原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE モード、ローカルルータモード共通)		<p>本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れなくてください。 5 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。</p> <p>パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。</p> <p>下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、上記を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。</p> <p>b. 上記の「IP アドレスの再取得」を行ってください。</p>
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE モードの場合)		<p>ブロードバンドモデムの電源が入っていることを確認してください。</p> <p>ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。</p>
前回はできたのにインターネット接続ができない (ローカルルータモードの場合)		<p>ブロードバンドモデムの電源が入っていることを確認してください。</p> <p>ブロードバンドモデムと本商品の電源投入順序によっては本商品の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] で [IP の解放] をクリックしてから [IP 取得] をクリックして IP アドレスを更新してください。</p>
本商品が正常に動作しないが、原因がわからない	設定に誤りがある	<p>設定に誤りがある場合があります。</p> <p>以下のようにして、現在の設定内容を表示、または印刷して確認してみてください。</p> <p>らくらくアシスタントを起動する [WARPSTAR のメンテナンス] - [設定値の確認・保存・復元] をクリックする 設定内容の一覧が表示されます。</p> <p>設定内容を印刷する場合は、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックし、印刷条件を指定して [OK] をクリックする</p> <p>どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。</p>

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
<p>らくらくアシスタントが使用できない</p>	<p>使用可能状態において突然、「Aterm WARPSTARが見つかりません。・・・」と表示される</p> <p>[OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。</p> <p><Windows® Me/98SE の場合></p> <p>「スタート」「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。</p> <p>"winipcfg" を入力して [OK] をクリックします。</p> <p>使用している Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから親機と接続しているアダプタ名 ("Aterm WL USB Network Adapter"、NEC Aterm WL54AC (PA-WL/54AC) Wireless Network Module) を選択します。</p> <p>「解放 (S)」をクリックして、IP アドレスが 0.0.0.0 になることを確認します。</p> <p>「IP アドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、[OK] をクリックして へ進んでください。</p> <p>「書き換え (N)」をクリックして、IP アドレスが "192.168.0.xxx" になることを確認します。</p> <p><Windows® 2000 Professional の場合></p> <p>「プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」をクリックします。</p> <p>"ipconfig /renew" を入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが "192.168.0.xxx" になることを確認します。</p> <p><Windows® XP の場合></p> <p>「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」をクリックします。</p> <p>"ipconfig /renew" を入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが "192.168.0.xxx" になることを確認します。</p>

添付の CD-ROM に関するトラブル

症 状	原因と対策
メニュー画面を表示したくない	<p>CD-ROM をセットすると、メインメニュー画面が表示されるように設定されています。</p> <p>表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。</p> <p>不要な場合はメニューの [終了] をクリックします。</p> <p>Windows® XP/Me/2000 Professional/98 の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。</p> <p>Windows® Me/98 の場合、CD-ROM を入れたときに最初の画面が表示されないようにできます (ただし、本商品だけでなく、ほかの CD-ROM でも表示されなくなります)。</p> <p>[コントロールパネル] の [システム] をダブルクリックする</p> <p>[デバイスマネージャ] タブの [CD-ROM] をダブルクリックする</p> <p>使用する CD-ROM ドライブをクリックし、[プロパティ] をクリックする</p> <p>[設定] タブをクリックする</p> <p>[オプション] の [自動挿入] または [挿入の自動通知] のチェックをはずす</p> <p>[OK] をクリックし、Windows® Me/98 を再起動する</p>

7-2 親機を初期化する

初期化とは、親機に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。親機がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、親機を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

- らくらくアシスタントで初期化する（●下記）
- クイック設定 Web で初期化する（●P7-25）
- ディップスイッチで初期化する（●P7-26）

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした親機のファームウェアはそのまます。

らくらくアシスタントで初期化する

らくらくアシスタントを起動して初期化を行います。

1 らくらくアシスタントを起動する

[スタート] - [プログラム] - [Aterm WARPSTARユーティリティ] - [らくらくアシスタント] をクリックします。

2 [WARPSTARの設定] をクリックし、[WARPSTARベースの詳細設定] をクリックする

3 [設定値の初期化] をクリックする

4 [はい] をクリックする
前面の各ランプが点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

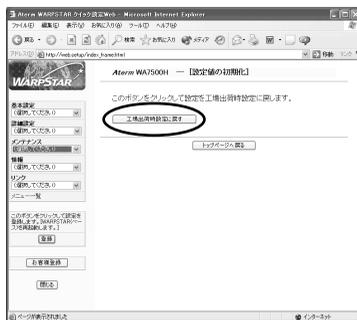
お願い

親機の設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。

クイック設定 Web で初期化する

- 1 パソコンを起動する
- 2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
親機の IP アドレスを入力しても開きます。(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：http://192.168.0.1/
- 3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 [メンテナンス] の ▼ をクリックし、[設定値の初期化] を選択する

- 5 [工場出荷時設定に戻す] をクリックする



- 6 [OK] をクリックする
親機前面の各ランプが点滅して、親機が再起動します。

ディップスイッチで初期化する

親機のディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、側面の開閉カバーを開けた中にあります。

1 親機の電源を切る

2 開閉カバーを開ける

3 ディップスイッチの 4、5 を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。



4 親機の電源を入れる

前面ランプが交互に点滅したあと、POWERランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

5 親機の電源を切る

6 ディップスイッチの 4、5 を「OFF」に戻す



7 開閉カバーを閉じる

8 親機の電源を入れる

お願い

親機の設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。

電源を入れ直すときは、10秒以上の間隔をあけてください。

自己診断を行うと、親機のハードウェアに異常がないかを確認することができます。

お願い

自己診断中は、電源を切らないでください。電源を切ると、設定内容が正しく保持されないことがあります。

自己診断を行う

1 親機の USB-LAN ポート、ETHERNET ポート、ブロードバンド接続ポートに接続されているケーブルを取りはずす

2 親機の電源を切る

3 開閉カバーを開ける

4 ディップスイッチの 4 を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。



5 親機の電源を入れる
自己診断を開始します。
<診断中のランプ表示>
POWER ランプが橙色に点灯します。

正常に終了すると「ピピピ...」とブザーが鳴り、POWER ランプが橙色 / 緑色と交互に点滅します。

6 親機の電源を切る

7 ディップスイッチの 4 を「OFF」に戻す



8 開閉カバーを閉じる

9 親機の電源を入れる
電源を入れ直すときは、10 秒以上の間隔をあけてください。

10 取りはずしたケーブルを接続する

② 異常が発見されたときは

自己診断の手順 5 で、正常に終了せず、異常が発見されたときは、最寄りの NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。(P8-10)

8-1 製品仕様

WA7500H (親機) ハードウェア仕様

項目		諸元および機能	備考
WAN インタ フェース	インタフェース	ブロードバンド接続ポート (100BASE-TX/10BASE-T)	
	データ転送速度	100Mbps/10Mbps	
リンク ポート インタ フェース	インタフェース	RS-232C [D-sub 9ピン]	アナログモデム/ TA 接続用、利用 機種制限あり
	データ転送速度	115.2/230.4kbps	
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 4ポート	
		USB × 1ポート	
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T、USB	
	伝送速度	100BASE-TX/10BASE-T : 100Mbps/10Mbps、USB : 12Mbps	
	スイッチング HUB	ストア&フォワード方式、 Macアドレス数 : 1024 (自動学習)	
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重	自動切換
ヒューマン インタ フェース	状態 表示 ランプ	POWER	電源通電時点灯
		PPP	PPPセッション確立時点灯
		DATA	データ通信時点灯
		READY	USB-LANリンクアップ時点灯
		DISC	WAN側と接続中点灯
拡張カードスロット		同梱の「WL54AC」、または別売の 「WL11CA」装着用	
動作環境		温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90%	結露しないこと
外形寸法		約 25(W) × 157(D) × 215(H) mm	突起部分を除く
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力		最大 13W	
質量 (本体のみ)		0.6kg	
VCCI		VCCIクラス B	

表示の速度は規格による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

WA7500H (親機) ソフトウェア仕様

項 目		諸元および機能
ルータ 機能	WAN プロトコル	PPPoE (PPP over Ethernet) [PPPoE 利用時複数固定 IP サービス利用可能(unnumbered)]
	PPP 認証	相手先に合わせる / PAP / CHAP / 認証なし
	PPP 接続 / 切断	手動接続 / 自動接続(常時、通信開始時) / 自動切断 / 手動切断
	ルーティング 方式	ソースアドレスルーティング、デフォルトルート設定可
	セキュリティ	不正アクセス検出機能、アクセスログ機能、DMZ ホスティング機能
	DHCP サーバ	あり
	DHCP クライアント	あり (ローカルルータモード時)
	DNS フォワーディング	あり (DNS 代理応答)
	IP パケット フィルタリング	プロトコル種別、パケット方向、送信元 / 宛先ポート番号範囲 指定、送信元 / 宛先 IP アドレス範囲指定
	アドバンスド NAT (IP マスカレード)	あり (アドバンスド NAT オプション [静的 IP マスカレード] あり) 最大 4096 セッション
	マルチライン対応	あり (アクセスマネージャ利用時)
	アプリケーション プロファイリング	あり (アクセスマネージャ利用時)
VPN	PPTP パススルー機能	
ユニバーサルプラグ アンドブレイ	Windows® Messenger 利用可能 (一部に制限あり)	
ユーティリティ	らくらくアシスタント、アクセスマネージャ、サテライトマネージャ	
WWW ブラウザ設定	クイック設定 Web	
システムログ機能	アクセスログ	
ファームウェア バージョンアップ機能	あり	

WA7500H のディップスイッチ

開閉カバーを開けるとディップスイッチ (DIP SW) が見えます。ディップスイッチは以下の ~ の場合にのみ変更してください。それ以外のときは変更しないで工場出荷時の設定でお使いください。

自己診断するとき (●P7-27)

購入したときの状態に戻すとき (●P7-26)

HUB モードを利用するとき (●添付 CD-ROM 「機能詳細ガイド」
(HTML ファイル) 「HUB モード」)

ディップスイッチ工場出荷時の設定



■ は、工場出荷時の状態です。

ディップスイッチの変更

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	内容
OFF	通常									
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	自己診断
OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	購入したときの状態に戻す
OFF	OFF	ON	OFF	HUB モード						

■ は、工場出荷時の状態です。

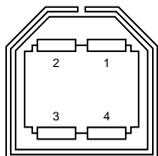


お知らせ

電源を入れたままでディップスイッチを変更したときは、電源をいったん切って再び入れ直すとディップスイッチの設定が有効になります。

WA7500HのUSBポートインタフェース

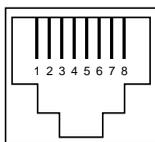
コネクタ形状



ピン番号	略称
1	Vcc
2	- D
3	+ D
4	GND

WA7500HのETHERNETポートインタフェース

コネクタ形状



ETHERNETポート
(100BASE-TX / 10BASE-T)

ピン番号	略称	機能
1	RD +	受信データ +
2	RD -	受信データ -
3	TD +	送信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD -	送信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD +	送信データ +
2	TD -	送信データ -
3	RD +	受信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD -	受信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

WL54AC (子機)仕様

項目		諸元
端末インタフェース		Card Bus・PC CARD TYPE
無線 LAN インタフェース	規格	IEEE802.11a (無線 LAN 標準プロトコル) ARIB STD-T71 (小電力データ通信システム規格)
	周波数帯域/ チャンネル	5.2 GHz 帯 (5150 ~ 5250MHz) / 34/38/42/ 46ch
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度	54/48/36/24/18/12/6Mbps (自動フォールバック)
	伝送距離	クローズド (屋内見通し) : 12m (54Mbps) ~ 90m (6Mbps) (環境により変動)
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵) 外部アンテナ (オプション・PA-WL/ANT2) 取り付け可能
	セキュリティ	SSID、64/128/152bit WEP、 MAC アドレスフィルタリング (WA7500H に装着時のみ)
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED x 2
利用可能端末		Card Bus 準拠の PC カードスロットを装備した PC98- NX、PC-AT 互換機 (CPU300MHz 以上、メモリ 128MB 以上を推奨)
利用可能 OS		Windows® XP 日本語版 Windows® Millennium Edition 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® 98 Second Edition 日本語版
電源		DC3.3V x 600mA (パソコンから給電)
消費電力		約 2.0W (最大)
外形寸法		約 54(W) x 5(H) x 119(D) mm (突起部を除く)
質量		約 0.05kg
動作環境		温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90% (結露しないこと)

表示の速度は規定による速度を示すものであり、ご利用環境や接続機器などにより、実効速度は異なります。

屋外での使用は電波法により禁じられています。

日本国外では使用できません。

IEEE802.11b 準拠のワイヤレス LAN 機器、Bluetooth 機器との通信はできません。

本製品は WA7500H 以外の WARPSTAR シリーズ親機への装着はできません。

WL54AC を Windows® 98 Second Edition の環境でご使用の場合、マイクロソフト社の Windows Management Instrumentation (WMI) をインストールしておく必要があります。

8-2 別売りオプション

ワイヤレスLANセットのオプションとして次の製品を別売りしています。

ワイヤレスLANカード

Aterm WL54AC (PA-WL/54AC)

親機 (WA7500H) の子機として増設できます。

WA7500H に装着することで無線機能をご利用になれます。

ワイヤレスLAN 外部アンテナ WL54AC 用 (PA-WL/ANT2)

電波状態が悪いときなど、親機に接続して使用します。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

8-4 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付のCD-ROM(「ユーティリティ集」)に収録されている「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速(下り 1.5 ~ 9Mbps)で安価な常時接続環境を提供する。
AtermStation (エータームステーション)	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は http://121ware.com/aterm/ (平成 14 年 7 月現在)。
BIGLOBE (ビッグローブ)	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒あたりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像 / 音声のをせるテレビ放送。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレス等必要な情報を自動的に割り振る方法です。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能です。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。 光ファイバでは最大で毎秒 100Mbps のスピードでコンピュータのデータ、映像、音声などの情報を流すことが可能です。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する(例: 192.168.0.10)。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoA	<p>PPP over ATMの略。高速交換システムで使用されるATM (Asynchronous Transmission Mode) の上でPPP通信を行うための接続方式です。ATM上でダイヤルアップ接続 (PPP接続) と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行います。</p> <p>ADSLでもPPPoEと並び使用される通信方式です。</p>
PPPoE	<p>PPP over ETHERNETの略。ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術です。ETHERNET上でダイヤルアップ接続 (PPP接続) と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行います。</p>
UPnP	<p>Universal Plug & Play (ユニバーサルプラグアンドプレイ) の略で、XML技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式です。</p> <p>ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) とは、デバイスのプラグアンドプレイ (PNP) 機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にするものです。</p>

【あいうえお順】

【あ行】

アップリンクポート	<p>カスケード接続用ポートとも呼びます。100BASE-TX/10BASE-Tの接続の方向を示すもので、インターネットやWANなどの上位ハブを接続する方向をアップリンクといいます。アップリンクがないハブではクロス変換アダプタ/ケーブルを使ったり変換コネクタを使って切り替えます。</p>
-----------	--

【か行】

クライアント	<p>LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス (ファイル/データベース/メール/プリンタなど) を受けるコンピュータ。</p>
--------	---

【さ行】

サーバ	<p>LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス (ファイル/データベース/メール/プリンタなど) を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。</p>
-----	--

【は行】

プロトコル	<p>通信規約。システム (コンピュータやネットワーク) 同士が正しく通信できるようにするための約束事。</p>
-------	--

【ら行】

ルータ	<p>複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。</p>
-----	--

[A ~ Z]

- ACT ランプ 1-10
- ADSL モデム (PPPoE 利用
ブリッジタイプ) 接続 3-29
~ でインターネット接続先を
登録 3-42
- ADSL モデム (ルータタイプ) 接続 3-32
~ でインターネット接続先を
登録 3-44
- Aterm Station 8-7
- B フレッツ 3-37
- CATV ケーブルモデム接続 3-35
~ でインターネット接続先を
登録 3-44
- CD-ROM 前文-17、1-7
- DATA ランプ 1-8
- DHCP クライアント機能 3-44
- DISC スイッチ 1-8
~ で回線を切断する 4-7
- DISC ランプ 1-8
- DNS
プライマリ / セカンダリ ~ 3-44
- ESSID 6-2
- ETHERNET ポート 1-9
~ にパソコンを接続する 3-6
ハブと接続する 3-7
- ETHERNET ポート状態表示 LED
..... 1-9、3-6
- FG 端子 1-9、2-4
- FTTH 回線終端装置に接続 2-5
- FTTH ・ 光ファイバ接続 3-37
~ でインターネット接続先を
登録 3-42、3-44
- HUB モード 6-21
~ を設定する 6-23
- IP アドレス 3-44
WAN 側 ~ が正しく設定されて
いない場合 3-47
ブロードバンドモデムの ~ と親機の
IP アドレスが同じとき 3-47
- LAN カード機能 / LAN ボード機能
~ を停止する 3-24、3-25
- LINK ポート 1-9、6-26
- Macintosh の TCP/IP 設定 3-5
- MAC アドレス
~ を登録する 6-9、6-10
~ セキュリティ機能 6-9
- PC カードコネクタ 1-10
- PC カードスロット 3-12
- PC クリーンスポット 8-8
- POWER ランプ 1-8、2-5
- PPPoE ブリッジ機能 6-19
- PPP ランプ 1-8
- PWR ランプ 1-10
- READY ランプ 1-8
- TCP/IP 3-5
- TV 電話 6-35
- USB-LAN ポート 1-9、1-12
~ にパソコンを接続する 3-9
- WA7500H (親機) 1-8
~ に無線カード (WL54AC) を
取り付ける 2-3
~ を設置する 2-2
~ とパソコンを接続する 3-6、3-9
~ の動作モードを設定する 3-28
~ の USB ドライバを
アンインストールする 3-11
- WL54AC (親機装着用 ・ 子機用) 1-10
~ を Windows® 98SE に
接続する 3-27
~ を親機に取り付ける 2-3
~ をパソコンに取り付ける 3-12
~ を増設する 6-42
- WEP 6-4
128bit / 152bit ~ 6-4

[ア行]	
アクセスマネージャ	1-18、4-1、4-5
~でインターネットを切断する.....	4-6
~で接続状態を確認する.....	4-5
アフターサービス.....	8-7
アプリケーションプロファイリング	6-15
アンインストール	
子機のドライバの~	3-23
USBドライバの~	3-11
暗号化キー.....	6-4
インストール	
USBドライバの~	3-9
子機のドライバの~	3-12
らくらくアシスタントを~	3-1、3-3、6-27
インターネット	
~を切断する.....	4-6
~に2台目以降のパソコンから	
接続する.....	4-4
~に接続する	4-1、4-3、5-7、6-31
インターネット接続先の登録	
.....	3-42、3-44、6-28
クイック設定 Web	5-4
インタフェース.....	8-4
インフォメーションサービス.....	8-7
お問い合わせ先.....	8-7
オプション.....	8-6

[力行]	
回線契約	1-11
外部アンテナキャップ	1-10
開閉カバー	1-9、2-3
拡張カードスロット.....	1-9
~に無線カードを取り付ける.....	2-3
確認する	
親機と子機の通信状態を~	3-25
インターネット接続先の設定を~/	
変更	3-48

インターネット接続状態を~	4-5、6-24
ファームウェアのバージョンを~	6-36
管理者用パスワード	3-30、3-33、3-35、3-37、3-40
~を忘れた場合	3-31、3-34、3-36、3-37、3-41
起動	
サテライトマネージャを~	3-26、6-11
らくらくアシスタントを~	3-2、3-3
機能	
~詳細ガイド.....	前文-15
利用できる~	1-2
クイック設定 Web	1-18、5-1
~で初期化する	7-25
~で設定する	5-2、5-4、6-3、6-5、6-10、6-18
ゲートウェイアドレス	3-44
購入時の状態に戻す(初期化)	7-24

[サ行]	
サスペンド機能.....	3-9
サテライトマネージャ	1-18
Windows® XP で~を	
利用する	3-17、6-14
~を起動する	3-26、6-11
タスクトレイに~が表示された	
場合	3-16
~で子機の通信の設定をする	6-11
~で親機との通信状態を確認する	3-26
自己診断	7-27
修理先一覧	8-10
修理について.....	8-9
初期化	7-24
製品仕様.....	8-1
セキュリティ機能.....	6-1
接続構成.....	1-1

- 接続する
- FTTH 回線終端装置を～2-5
 - TA / アナログモデムを～6-26
 - インターネットに～4-1、
5-7、6-31
 - ハブを～3-7、6-24
 - ブロードバンド (ADSL/CATV)
 モデムを～2-5
 - 無線 LAN ～3-12
 - ルータタイプの ADSL
 モデムを～6-24
- 設定
- 既存のネットワークに本商品を
 追加するための～をする3-39
 - クイック設定 Web5-1
 - 接続回線と親機の動作モードを～する
 3-28、3-29、3-32、
 3-35、3-37、3-39、
 - 設定値の初期化7-24
 - セットアップの流れ2-1、5-1
- [タ行]
- ダイヤルアップ接続4-1、4-3、6-25
 - ～でインターネット接続設定
 をする6-28
 - 縦置きスタンド2-2
 - 停止
 - LAN カードおよび LAN ボード
 機能を～3-24、3-25
 - ディップスイッチ1-9、6-23、
 7-26、8-3
 - ～で初期化する7-26
 - 電源を接続する2-4
 - 電源コード1-9
 - 電源スイッチ1-9、2-5
 - 電子マニュアル前文-17
 - 動作モード3-28
 - 登録
 - インターネット接続先の～3-42、
 3-44、6-28
 - ドメイン名3-45
 - トラブルシューティング7-1
- [ナ行]
- ネットワーク
 - 既存の～に接続する3-39
 - パソコンの～の設定1-13
 - ネットワークゲーム6-15
 - ネットワーク対応アプリケーション6-15
 - ネットワークの表示3-15
 - ネットワーク名3-15、3-20、6-2
- [ハ行]
- バージョンアップ6-36
 - オンライン～6-38
 - CD-ROM のファームウェアに
 バージョンを戻す6-40
 - パソコンの準備1-12
 - パソコンを接続する
 - 親機に～3-6、3-9
 - 子機に～3-12
 - ブラウザ1-17、1-18
 - ブロードバンドインターネット1-1
 - ブロードバンド接続ポート1-9、2-5
 - ブロードバンド接続ポート
 状態表示 LED1-9、2-5
 - ～が点灯しないとき2-6
 - プロバイダ1-11
 - 別売りオプション8-6
 - 訪問サポート8-8
 - ホスト名3-45
- [マ行]
- マルチライン6-25、6-31
 - 無線 LAN3-12
 - 無線カード (WL54AC)2-3
 - ～を親機に取り付ける2-3
 - ～をパソコンに接続する3-12

[ヤ行]

ユーティリティ	1-18
用語解説	8-15

[ラ行]

らくらくアシスタント	1-18
Mac OS Xのクラシックモード	
で利用する	3-4
~を起動する	3-2、3-3
~で初期化する	7-24
~で設定する	3-8、3-10、3-13、 3-18、6-2、6-4、6-9、6-27
~のインストール	3-1、3-3
ルータ機能	3-32

[ワ行]

ワイヤレスLAN	2-3
~ネットワーク内の セキュリティ機能	6-2

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本製品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

ご注意

Aterm Stationホームページアドレス
掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。
安心の保守サービス体制

お問い合わせ先 Aterm(エーターム)インフォメーションセンター

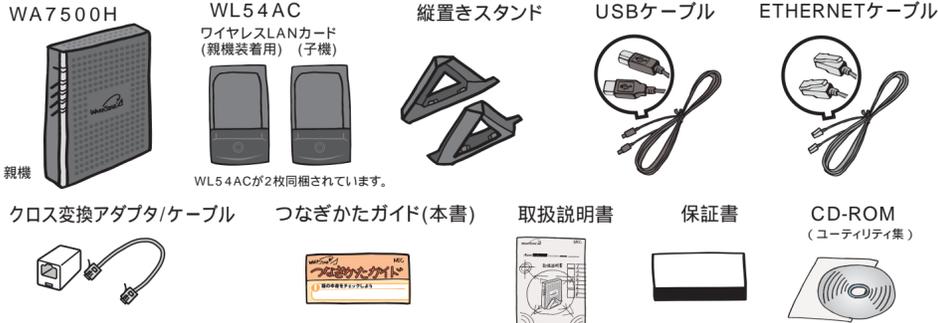
この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

つながりかたガイド

取扱説明書 **P~** は本商品の取扱説明書をご覧ください。
本書では、WA7500Hを親機、WL54ACを子機と呼びます

1 箱の中身をチェックしよう

不足しているものがありませんか、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。



2 回線契約とプロバイダを確認しよう

本商品をお使いの前にあらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。

回線の契約

ADSL接続の場合

ADSL接続事業者 / プロバイダとの契約 (フレッツ・ADSL、アック・ネットワークス、イーアクセス、YahooBB!など) 本商品の設定に必要な情報を契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。

- IPアドレスなどの設定情報
- ADSL接続のためのプロバイダからのユーザID / パスワード

CATV接続の場合

CATV接続事業者との契約 本商品の設定に必要な情報を契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。

- IPアドレスなどの設定情報

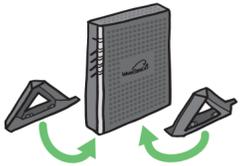
FTTH接続の場合

FTTH接続事業者との契約 本商品の設定に必要な情報を契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。

- ブロードバンドモデム / 回線端末装置は別途ご用意ください

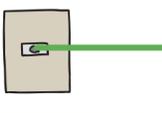
3 接続しよう

1 縦置きスタンドを取り付ける

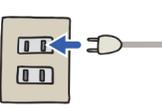


2 アース線を接続する

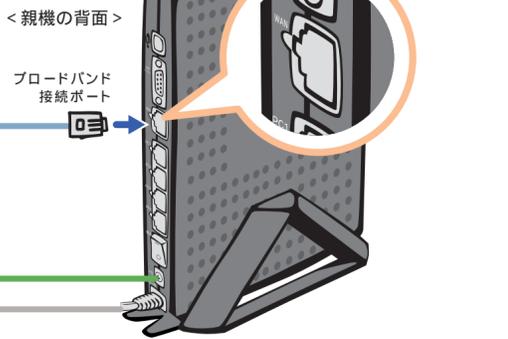
アース線は添付されていません。別途購入してください。



3 電源コードを接続する



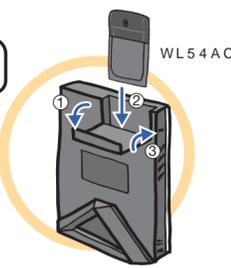
4 ブロードバンドモデムに接続する



5 WL54ACを取り付ける

親機の電源を切った状態で取り付けてください。

- ① 親機側面のカバー(拡張カードスロットカバー)を開ける
- ② 子機を拡張カードスロットに奥までしっかり入れる
- ③ 拡張カードスロットカバーを元に戻す



パソコンの接続は?

らくらくアシスタントで画面が表示されるまで接続しないでください。誤って接続した場合、パソコンにウィザード画面が出ていますので「キャンセル」をクリックしてください。

4 電源を入れよう

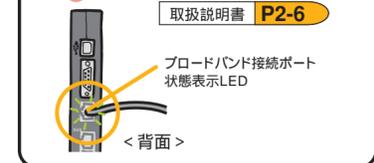
1 電源スイッチの「-」側を押す



2 しばらくすると、POWERランプが緑色に点灯する

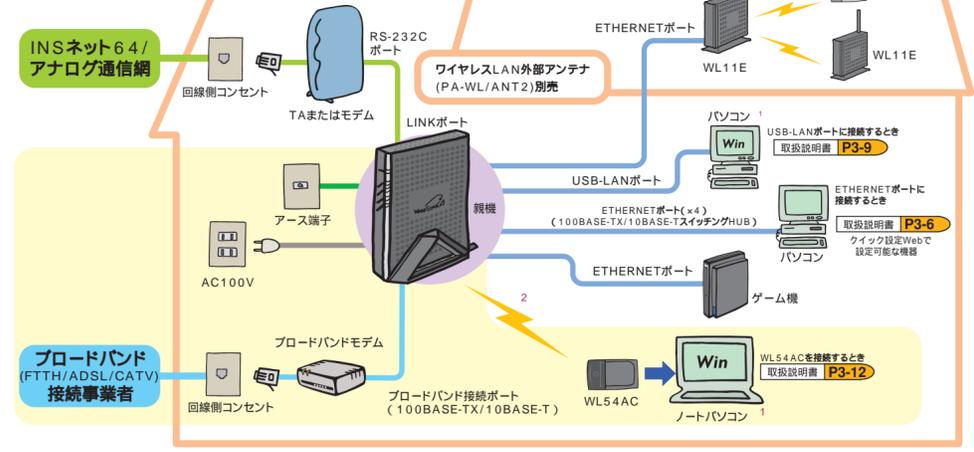


外付けでブロードバンドモデムを接続する場合、ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑色に点灯することを確認してください。緑色に点灯しない場合は、③を再度確認してください。



つながりかたいろいろ

お買い上げいただいた本商品には、全部でこれだけつなぐことができます。この「つながりかたガイド」では、一部の接続方法について説明しています。その他の接続方法については取扱説明書をご覧ください



接続できるパソコンは全部で32台までです。10台以下のご使用を推奨します。

1 これらのパソコンはWindows® XP/Me/2000/98SEのみ対応です。
2 親機にWL54ACを装着するときは、無線LAN通信が利用できます。パソコン側には、別子機(WL54AC)を装着します。親機からWL54ACに電源が流れるのは、電源が通じ始めるまでです(通常より遅くなります)。電源が流れるときは、別売のワイヤレスLAN外部アンテナWL54AC(別売)をご利用ください。ただし、周囲の電波状況や電線の構造(鉄筋、防音壁、断熱壁)などにより、改善状況は異なります。

5 インストールの前に確認しよう

パソコンの準備

- LANポートの準備
ETHERNETポートで接続する場合は、パソコンにLANポートが必要です。装備されていない場合は、市販のLANカード/LANボードを購入して、取り付けを行ってください。
- パソコンのネットワークの設定
本商品を設定する際は、パソコンのネットワークの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」になっている必要があります。確認のしかた **取扱説明書 P1-13**
- ファイアウォールなど、全てのソフトの停止
本商品設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトは一旦停止してください。停止しない(起動したまま)と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- WWWブラウザの設定
WWWブラウザ(Internet Explorer等)をLANの設定(ダイヤルアップしない)にしておいてください。 **取扱説明書 P1-17**

設定方法を選ぶ

本商品の設定は次の2通りの方法で行えます。本書では、「らくらくアシスタント」での設定方法を説明しています。ご使用の環境に合わせて、それぞれの方法で設定を行ってください。

- らくらくアシスタントで設定する
本商品を使用できるように設定するユーティリティです。USB-LANポートや子機に接続する場合のドライバのインストールを行ったり、インターネット接続設定、アクセスマネージャを利用したインターネット接続などを行うことができます。▶▶▶ **7**へ
以下のOSでご使用になれます。
・Windows® XP/Me/2000 Professional/98(日本語版)
・Mac OS 8.6J/9J/9.1J/9.2J/OS X(クラシックモード)
- クイック設定Webで設定する
WWWブラウザのWeb画面で、ドライバのインストール以外の本商品の設定が行えます。ゲーム機などを使用する場合は、必ずクイック設定Webで設定してください。 **取扱説明書 P5-1**
クイック設定Webアドレス (http://web.setup)
以下のWWWブラウザでご使用になれます。
・Internet Explorer 4.0以上(推奨5.5以上)
・Netscape Communicator 4.0以上(推奨6.1以上)
・Net Front for (株式会社ACCESS X* PlayStation 2 対応WWWブラウザ)

6 らくらくアシスタントのインストール

本商品を設定するためのユーティリティ「らくらくアシスタント」をパソコンにインストールします。ここではWindows® XPの例を説明しています。

Windows® XPの場合 **取扱説明書 P3-1** Windows® Macintosh **取扱説明書 P3-3**

- 1 Windows®を起動する
- 2 添付のCD-ROM(ユーティリティ集)をCD-ROMドライブにセットする
メニュー画面が表示されます。メニューが表示されないときは **取扱説明書 P3-2**
- 3 [らくらくアシスタントのインストール]をクリックする
- 4 [次へ]をクリックする
- 5 [次へ]をクリックする
- 6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする
- 7 [すべて]を選択し、[次へ]をクリックする
- 8 表示されたインストール先へインストールする場合は[次へ]をクリックする
インストール先を変更する場合は[参照]をクリックして変更してください。
- 9 [はい]をクリックする
インストールが開始されます。
- 10 [はい]をクリックする
- 11 [READMEの表示]にチェックが入っている(☑)ことを確認し、[完了]をクリックする
- 12 READMEをよく読み、[README]画面を閉じる
インストールが完了し、らくらくアシスタントが起動します。
- 13 メニュー画面の[終了]をクリックする
- 14 CD-ROMをパソコンから取り出す

裏面につづく

7 らくらくアシスタントで設定する

ここでは、子機にWindows® XPのパソコンを接続してご利用になる場合を例に説明しています。親機の他のポートや他のOSに接続する場合は取扱説明書をご覧ください。

STEP 1 PCとWARPSTARベース(親機)との通信を確立する

ETHERNETポートの場合 [取扱説明書 P3-6](#)

USBポートの場合 [取扱説明書 P3-9](#)

子機 WL54ACの場合

- らくらくアシスタントを起動する
- [次へ]をクリックする
- [インストール時の設定][Step 1 PCとWARPSTARベース間の通信を確立する]をクリックする
- [次へ]をクリックする
- [ワイヤレスLAN(カード)で接続]を選択し、[次へ]をクリックする
- [WL54AC]を選択し、[次へ]をクリックする
- [実行]をクリックする
- 次の画面が表示されたら、子機をパソコンに取り付ける
- [Windows XPで設定]を選択し、[次へ]をクリックする
- 152bit WEPを使用する場合は、[サテライトマネージャで設定]を選択し、[次へ]をクリックする。
- 10 下図のような画面が表示されたら、この画面を残したまましておく
- パソコンの画面右下の通知領域に下図のようなバレーンが表示される
- パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるネットワークの表示]をクリックする
- 「利用できるネットワーク」を選択する
お買い上げ時のネットワーク名は、「WARPSTAR-XXXXX」(XXXXXXは、親機の側面に記載されているWAN/PC(MACアドレス)の下6桁)です。
- [接続]をクリックする
- 17 らくらくアシスタントのメニュー画面のStep 1に がつきます

こんなときは
次の画面に が表示されたときは、親機との通信が確立できていません。取扱説明書を参照してください。
[取扱説明書 P3-23](#)

WEP(暗号化)などのセキュリティの設定をする場合は取扱説明書を参照してください。
[取扱説明書 P6-1](#)

Step 1が完了すると以降の設定をスイッチ設定Webで行うこともできます
[取扱説明書 P5-1](#)

STEP 2 接続回線とWARPSTARベース(親機)の動作設定(PPPoEモードの例)

ここでは、外付けADSLモデム(PPPoEブリッジタイプ)に接続する場合を説明しています。他のブロードバンドモデムを接続する場合は下記の表を参照してください。 [取扱説明書 P3-28](#)

- [Step 2 接続回線の選択とWARPSTARベースの動作設定]をクリックする
- [次へ]をクリックする
- セキュリティの設定を入力する
①[管理用パスワード]にパスワードを入力します。パスワードには任意の半角英数字64文字まで入力できます。管理用パスワードは、あとで親機を設定する際に必要となりますので覚えておいてください。
管理用パスワード：
②[装置名]には親機の名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。
- [次へ]をクリックする
- [ADSL接続]を選択し、[次へ]をクリックする
- [外付けADSLモデムを使用する]と[PPPoEモード]を選択する
ダイヤルアップ接続を併用するマルチラインの場合は、[ダイヤルアップ接続を併用する]に します。
- [次へ]をクリックする
- 設定内容を確認し、[実行]をクリックする
設定内容を親機に登録します。
- [設定終了]をクリックする
- らくらくアシスタントのメニュー画面のStep 2に がつきます

接続事業者(例)	親機の動作モード	取扱説明書
FTTHの場合 NTT東日本/西日本 Bフレッツ 東京電力 TEPCOひかり ケイ・オプティコム eoホームファイバー IP接続で接続する事業者の場合	PPPoEモード ローカルルータモード	P3-37 P3-37
ADSL接続の場合 フレッツ・ADSL イー・アクセス アッカ・ネットワークス Yahoo! BB CATV接続の場合	PPPoEモード ローカルルータモード または無線HUBモード ローカルルータモード ローカルルータモード	P3-29 P3-32 P6-21 P3-35

ADSLモデムのルータ機能を利用する場合は無線HUBモードでご使用いただけます。

STEP 3 インターネット接続先の登録

ここでは、親機の動作モードが[PPPoEモード]の場合を説明しています。ローカルルータモードの場合は、取扱説明書を参照してください。 [取扱説明書 P3-44](#)

- [Step 3 インターネット接続先の登録]をクリックする
- [次へ]をクリックする
- プロバイダに接続するための情報を入力し、[次へ]をクリックする
①[接続先名]にプロバイダの名称を任意に入力します。
②接続事業者/プロバイダからの情報に従って「ログインID」(接続ユーザID)(例: XXXX@biglobe.ne.jpなど)と「パスワード」を入力します。[プライマリDNS]、[セカンダリDNS]を半角英数字で入力します。
- 設定内容を確認し、[実行]をクリックする
- [設定終了]をクリックする
- らくらくアシスタントのメニュー画面のStep 3に がつきます
- らくらくアシスタントを終了するとき、[アシスタント終了]をクリックする

8 アクセスマネージャーでインターネットに接続しよう

Macintoshの場合 [取扱説明書 P4-3](#)

Windows® XPの場合

- タスクトレイの[アクセスマネージャ]アイコンを右クリックする
- メニューから[PPPoE接続]または[ダイヤルアップ接続]、[ローカルルータへ接続]をクリックする
ここではADSL(PPPoE)モードの場合を例に説明します。[ローカルルータへ接続]または[ダイヤルアップ接続]の場合も手順は同じです。
- [接続]をクリックする
インターネット接続が開始されます
- インターネット接続が開始し、接続が完了すると[アクセスマネージャ]アイコンの表示が次のようになる
- WWWブラウザ(Internet Explorer等)のアプリケーションを起動する
接続を切断するときは、タスクトレイの[アクセスマネージャ]アイコンを右クリックし、[切断]をクリックします

こんなときは
アクセスマネージャアイコンが次のようになっている場合は、親機との通信が確立できていません。トラブルシューティングを参照してください。
[取扱説明書 P7-1](#)

インターネットに接続できないときは
[取扱説明書 P7-9](#) **CD-ROM お困りのときは**

お困りのときは

本商品取扱説明書[お困りのときには]や添付CD-ROMの電子マニュアル[お困りのときには]を参照してください。本商品の機能や取り扱い方法などのお問い合わせ先については取扱説明書を参照してください。

[取扱説明書 P8-7](#)